
京田辺市
子ども・若者意識調査アンケート調査
報告書

令和6（2024）年8月

目次

I	調査概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査の実施について	1
3.	調査票の回収状況	1
4.	留意点	1
II	調査結果	2
1.	基本属性	2
2.	生活習慣	4
3.	あなた自身の現状・将来	7
4.	就学・就労状況	28
5.	悩み・相談先	30
6.	求める居場所	39
7.	結婚・出産	40
8.	行政に求める施策	49
III	調査結果からの分析	55
1.	生活習慣	55
2.	あなた自身の現状・将来	55
3.	就学・就労状況	55
4.	悩み・相談先	55
5.	求める居場所	55
6.	結婚・出産	56
7.	行政に求める施策	56

I 調査概要

1. 調査の目的

「(仮称) 京田辺市こども計画」の策定に向け、また、子ども・若者育成支援施策を効果的に推進するにあたり、子ども・若者の現状と課題を的確に把握する必要があるため、「子ども・若者意識調査」を実施しました。

2. 調査の実施について

調査対象者	京田辺市にお住まいの 15 歳から 39 歳の 3,000 名（無作為抽出）
調査期間	令和 6（2024）年 6 月 21 日（金）～ 令和 6（2024）年 7 月 12 日（金）
調査方法	郵送による配布、Web による回答

3. 調査票の回収状況

調査票	調査対象者数（配布数）	有効回収数	有効回収率
15 歳から 39 歳	3,000 名	526 件	17.5%

4. 留意点

分析結果をみる際の留意点は以下のとおりとなっています。

- ① 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
- ② 単数回答の場合、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記しています。このため、百分率の合計が 100.0%とならない場合があります。
- ③ 複数回答の場合、図中に MA（Multiple Answer＝いくつでも）、3LA（3 Limited Answer＝3 つまで）、5LA（5 Limited Answer＝5 つまで）と記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。
- ④ 表内において、全体・属性ごとに最も高い項目を紺色、2 番目に高い項目を水色としています。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合には△、10 ポイント以上低い場合には▼の記号を付けています。

Ⅱ 調査結果

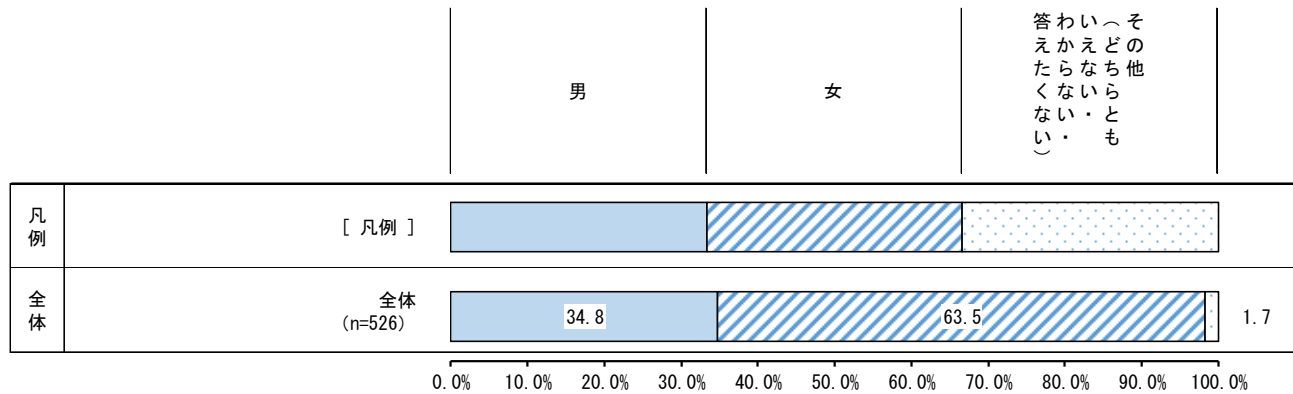
1. 基本属性

問1 あなたの性別を教えてください。

【全体】

- 性別について、「女」が 63.5%で最も多く、次いで「男」が 34.8%、「その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）」が 1.7%となっています。

【性別】

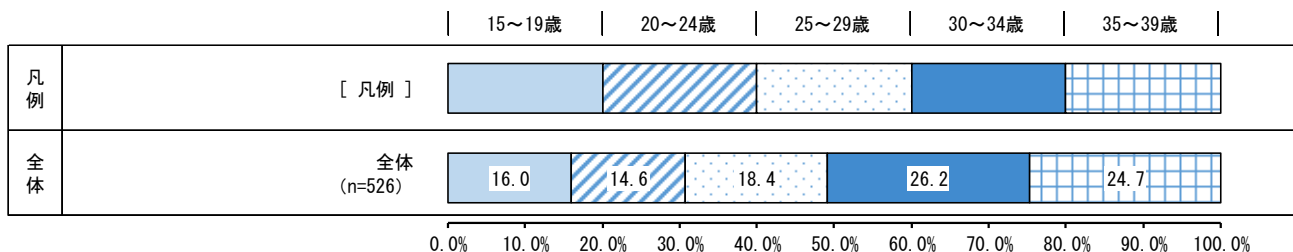


問2 あなたの年齢を教えてください。

【全体】

- 年齢について、「30～34 歳」が 26.2%で最も多く、次いで「35～39 歳」が 24.7%、「25～29 歳」が 18.4%となっています。

【年齢】

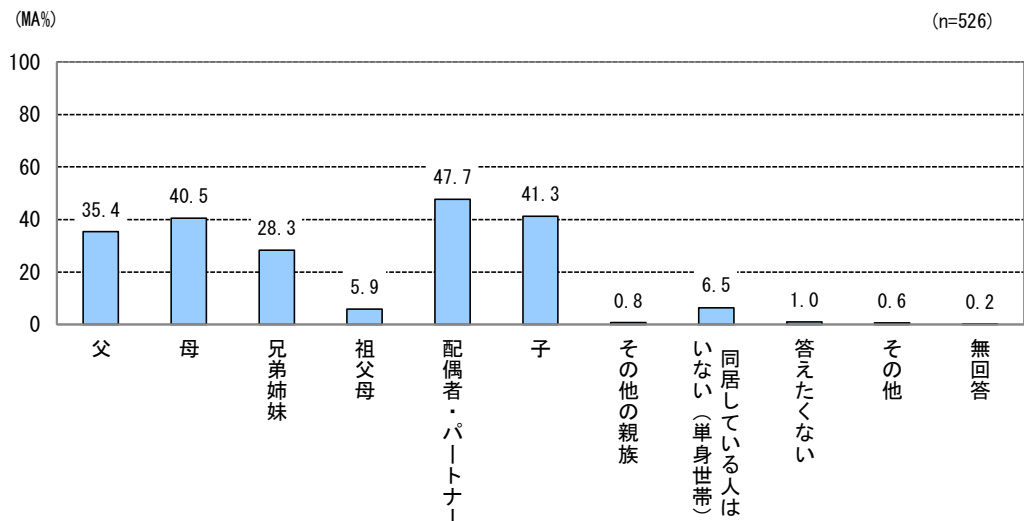


問3 あなたは誰と一緒に住んでいますか。(MA)

【全体】

- 一緒に住んでいる人について、「配偶者・パートナー」が 47.7%で最も多く、次いで「子」が 41.3%、「母」が 40.5%となっています。

【一緒に住んでいる人(MA)】

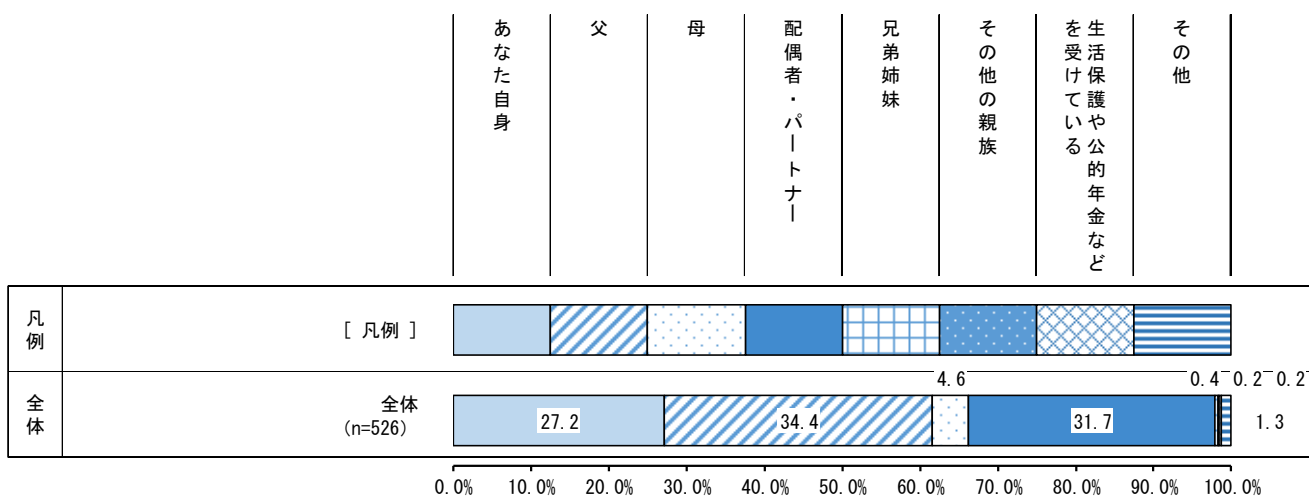


問4 あなたの家の生計を立てている方はどなたですか。

【全体】

- 家の生計を立てている人について、「父」が 34.4%で最も多く、次いで「配偶者・パートナー」が 31.7%、「あなた自身」が 27.2%となっています。

【家の生計を立てている人】



問5 現在、あなたの暮らしの状況をどのように感じていますか。

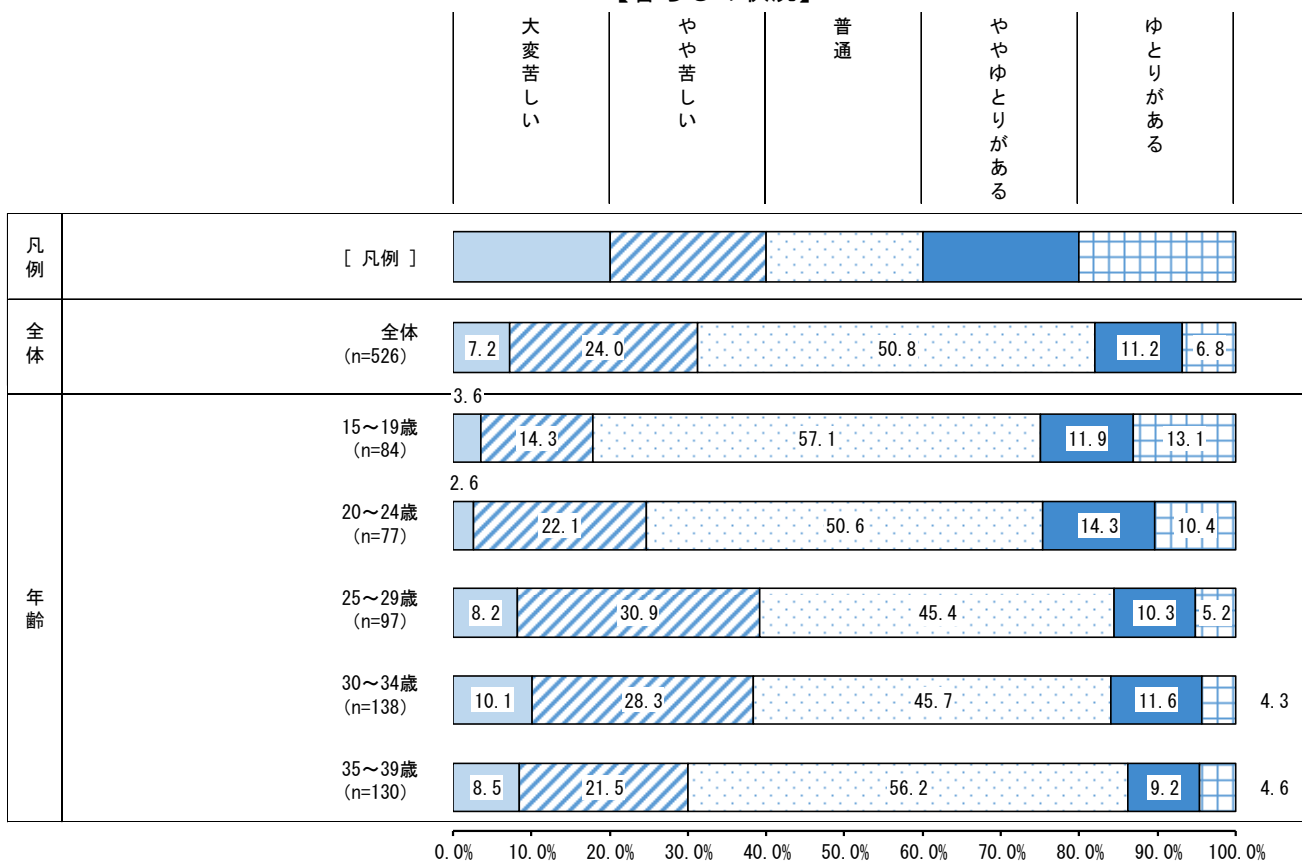
【全体】

- 暮らしの状況について、「普通」が 50.8%で最も多く、次いで「やや苦しい」が 24.0%、「ややゆとりがある」が 11.2%となっています。
- 「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい人”は 31.2%となっています。
- 「ややゆとりがある」「ゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある人”は 18.0%となっています。

【年齢】

- “苦しい人”は 25～29歳が 39.1%、30～34歳が 38.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【暮らしの状況】



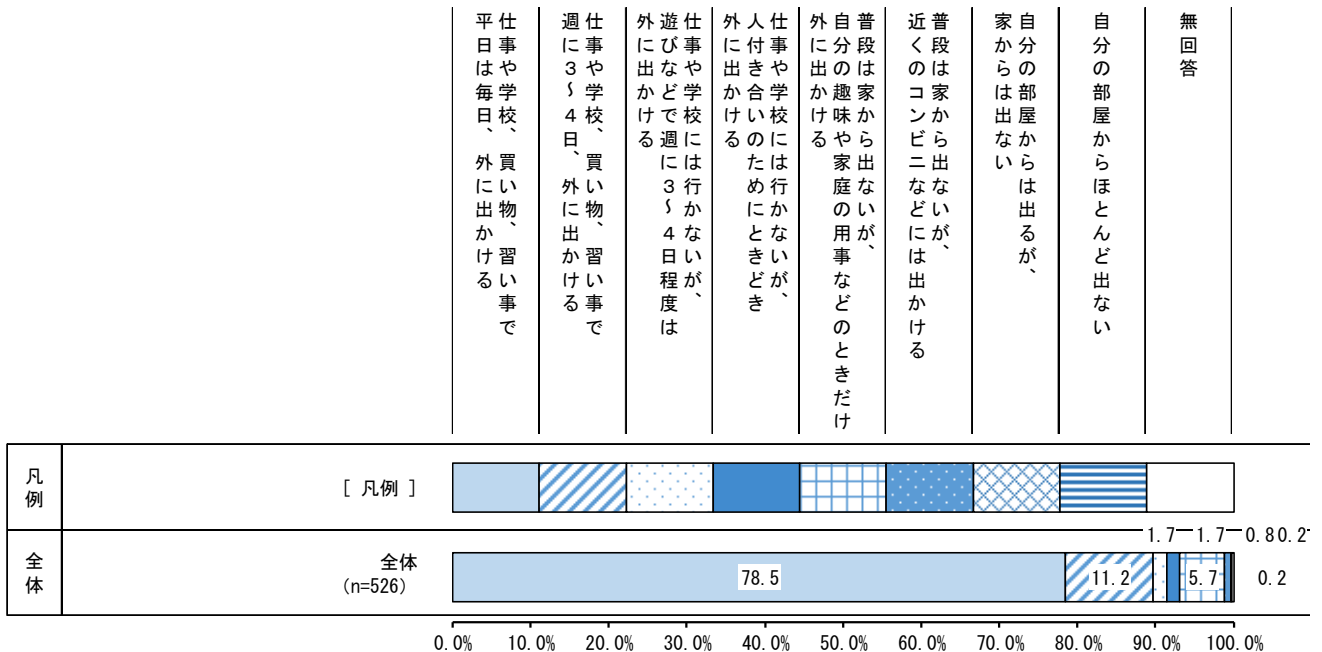
2. 生活習慣

問6 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。

【全体】

- 現在の外出頻度について、「仕事や学校、買い物、習い事で平日は毎日、外に出かける」が 78.5%で最も多く、次いで「仕事や学校、買い物、習い事で週に3～4日、外に出かける」が 11.2%、「普段は家から出ないが、自分の趣味や家庭の用事などのときだけ外に出かける」が 5.7%となっています。

【現在の外出頻度】

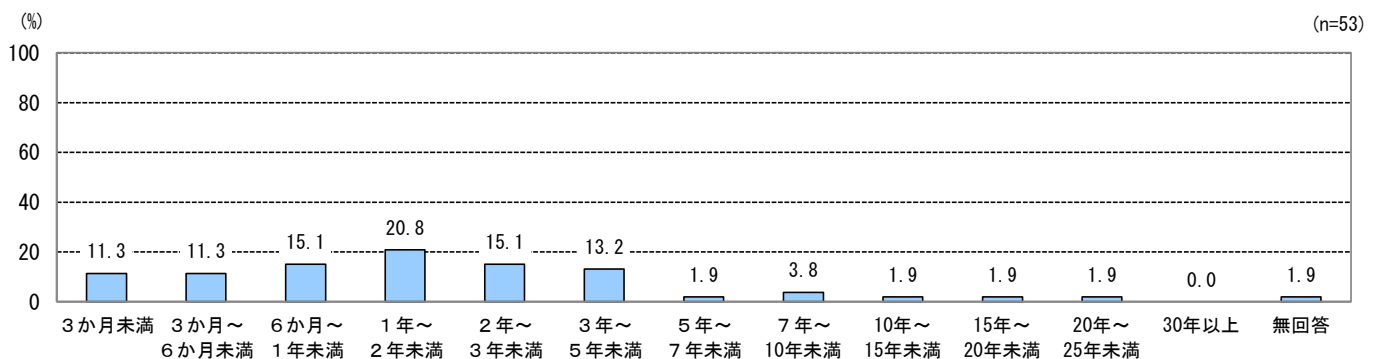


問7 あなたの外出状況が今のようになってから、どのくらい経ちますか。(問6で「3. 仕事や学校には行かないが、遊びなどで週に3～4日程度は外に出かける」から「8. 自分の部屋からほとんど出ない」を選んだ方)

【全体】

- 現在の外出状況になった期間について、「1年～2年未満」が 20.8%で最も多く、次いで「6か月～1年未満」「2年～3年未満」が 15.1%、「3年～5年未満」が 13.2%となっています。「3か月未満」「3か月～6か月未満」「6か月～1年未満」を合わせた「1年未満」は 37.7%となっています。

【現在の外出状況になった期間】

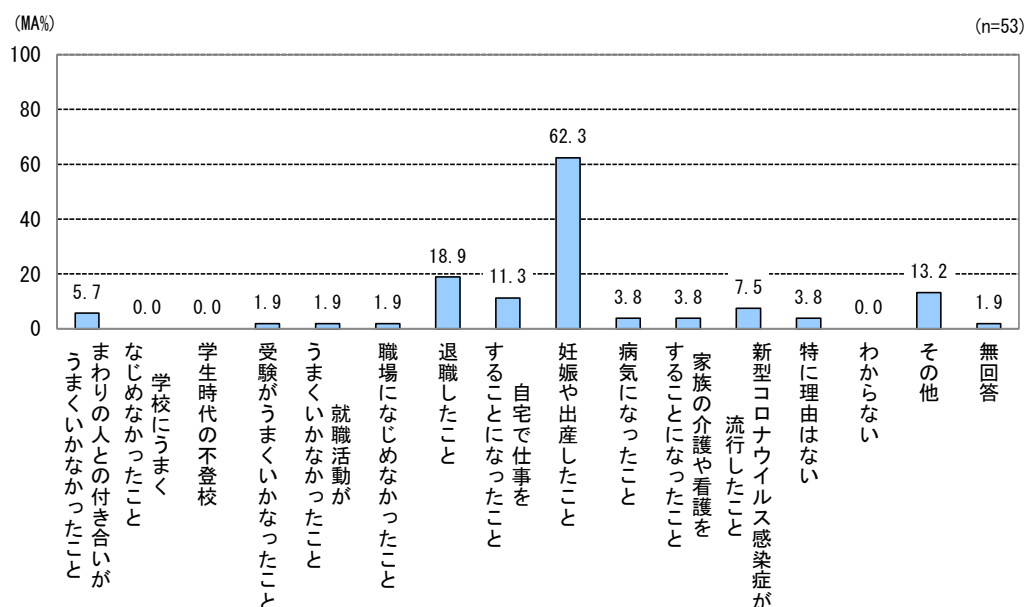


問8 あなたの外出状況が今ようになった主な理由は何ですか。(MA) (問6で「3. 仕事や学校には行かないが、遊びなどで週に3～4日程度は外に出かける」から「8. 自分の部屋からほとんど出ない」を選んだ方)

【全体】

- 現在の外出状況になった主な理由について、「妊娠や出産したこと」が62.3%で最も多く、次いで「退職したこと」が18.9%、「その他」が13.2%となっています。
- その他の内訳として、結婚や家庭の事情、病気・ケガ、仕事の事情などが挙がっています。

【現在の外出状況になった主な理由(MA)】

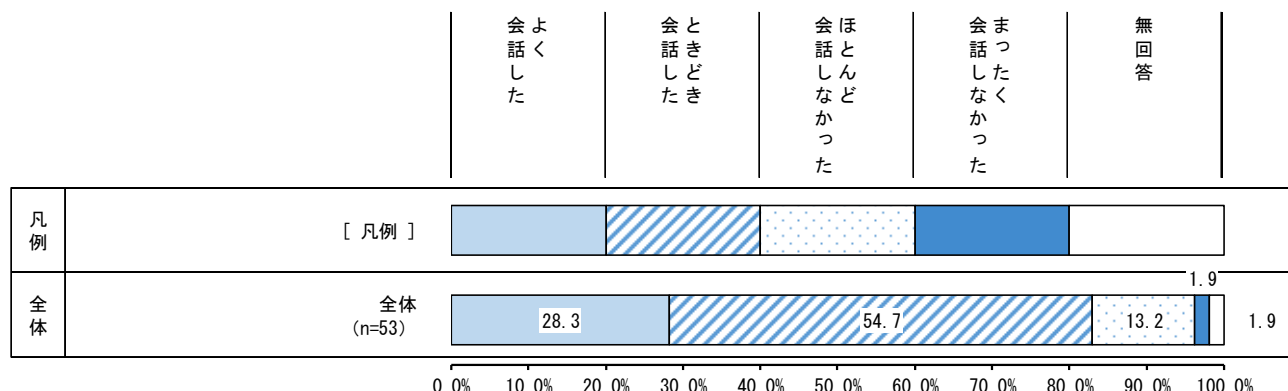


問9 最近6か月間に、家族以外の人と会話をしましたか。(問6で「3. 仕事や学校には行かないが、遊びなどで週に3～4日程度は外に出かける」から「8. 自分の部屋からほとんど出ない」を選んだ方)

【全体】

- 最近6か月間に、家族以外の人と会話をしたかについて、「ときどき会話をした」が54.7%で最も多く、次いで「よく会話をした」が28.3%、「ほとんど会話をしなかった」が13.2%となっています。

【最近6か月間に、家族以外の人と会話をしたか】

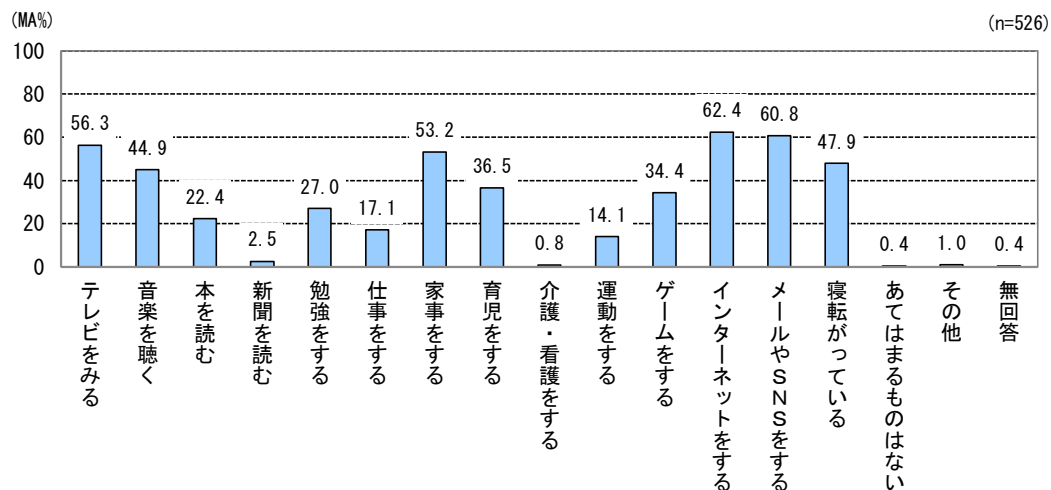


問10 あなたが普段自宅（暮らしている場所）にいるときによくしていることは何ですか。（MA）

【全体】

- 普段自宅（暮らしている場所）にいるときによくしていることについて、「インターネットをする」が62.4%で最も多く、次いで「メールやSNSをする」が60.8%、「テレビをみる」が56.3%となっています。

【普段自宅（暮らしている場所）にいるときによくしていること（MA）】



3. あなた自身の現状・将来

問11 あなたが今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったことがあったと思いますか。または、現在ありますか。

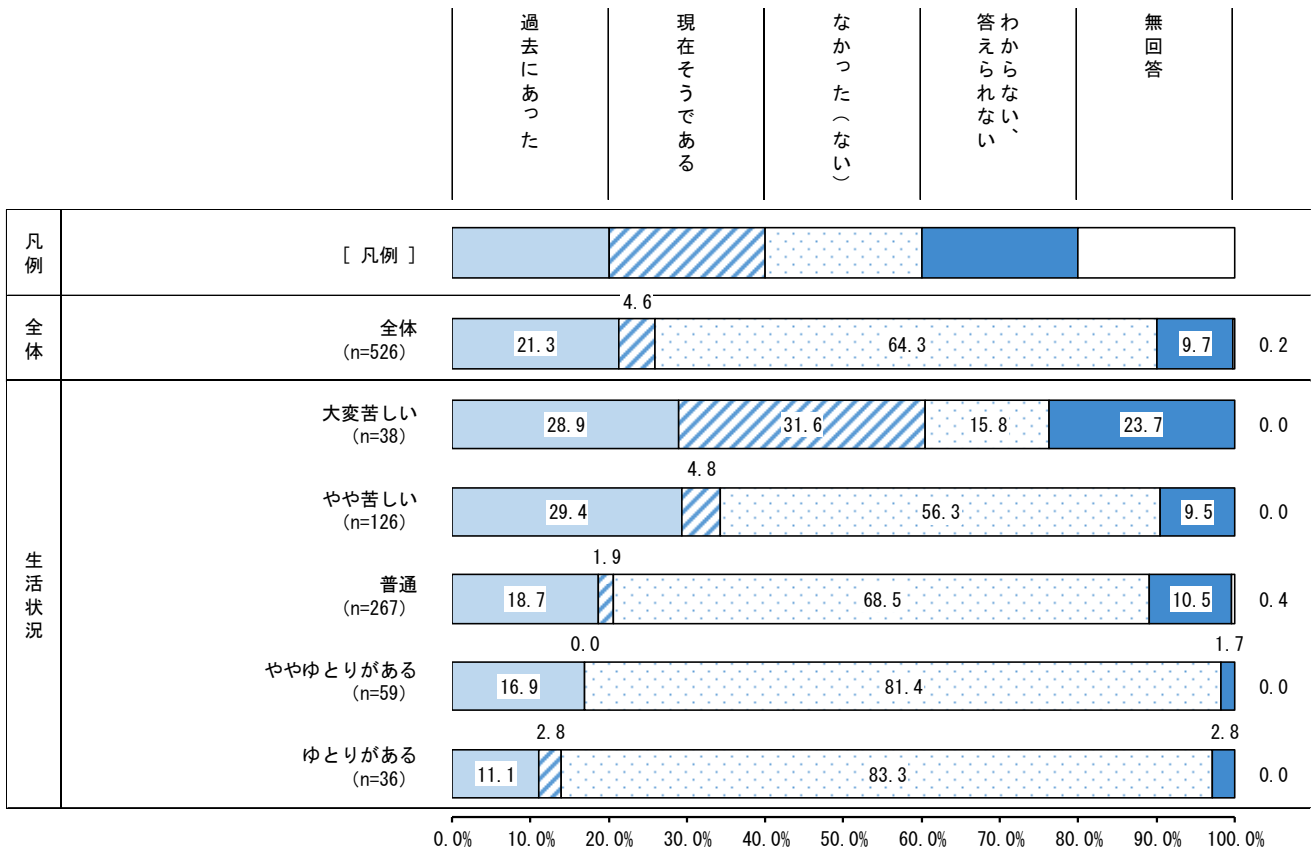
【全体】

- 社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態について、「なかった（ない）」が 64.3%で最も多く、次いで「過去にあった」が 21.3%、「わからない、答えられない」が 9.7%となっています。

【生活状況】

- 「過去にあった」はやや苦しいが 29.4%、大変苦しいが 28.9%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「現在そうである」は大変苦しいが 31.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態】

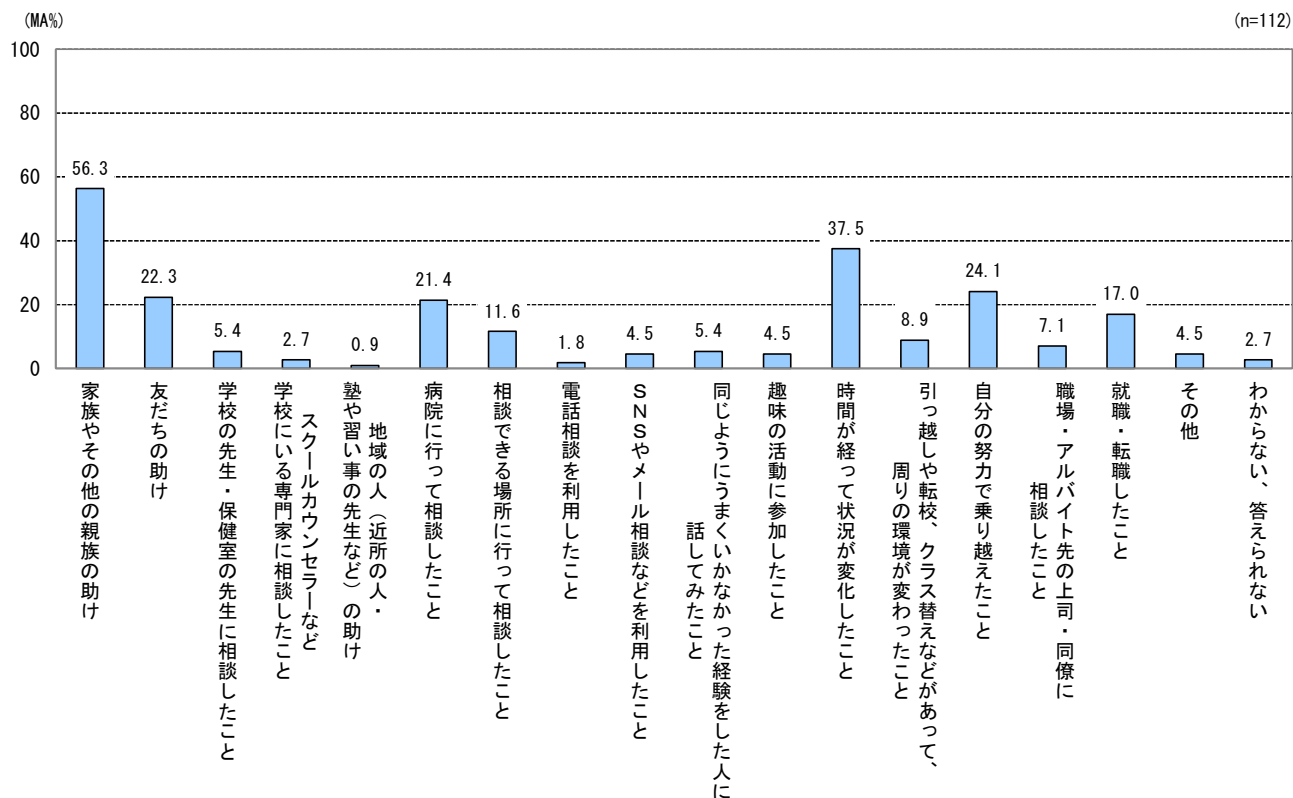


問12 状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思いますか。(MA) (問11で「1. 過去にあった」を選んだ方)

【全体】

- 状態が改善したきっかけや改善に役立ったことについて、「家族やその他の親族の助け」が 56.3%で最も多く、次いで「時間が経って状況が変化したこと」が 37.5%、「自分の努力で乗り越えたこと」が 24.1%となっています。

【状態が改善したきっかけや改善に役立ったこと (MA)】



問13 あなたは今、自分が幸せだと思いますか。

【全体】

- 自分が幸せだと思うについて、「そう思う」が 49.6%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 41.1%、「どちらかといえばそう思わない」が 6.1%となっています。
- 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う人”は 90.7%となっています。
- 「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない人”は 9.1%となっています。

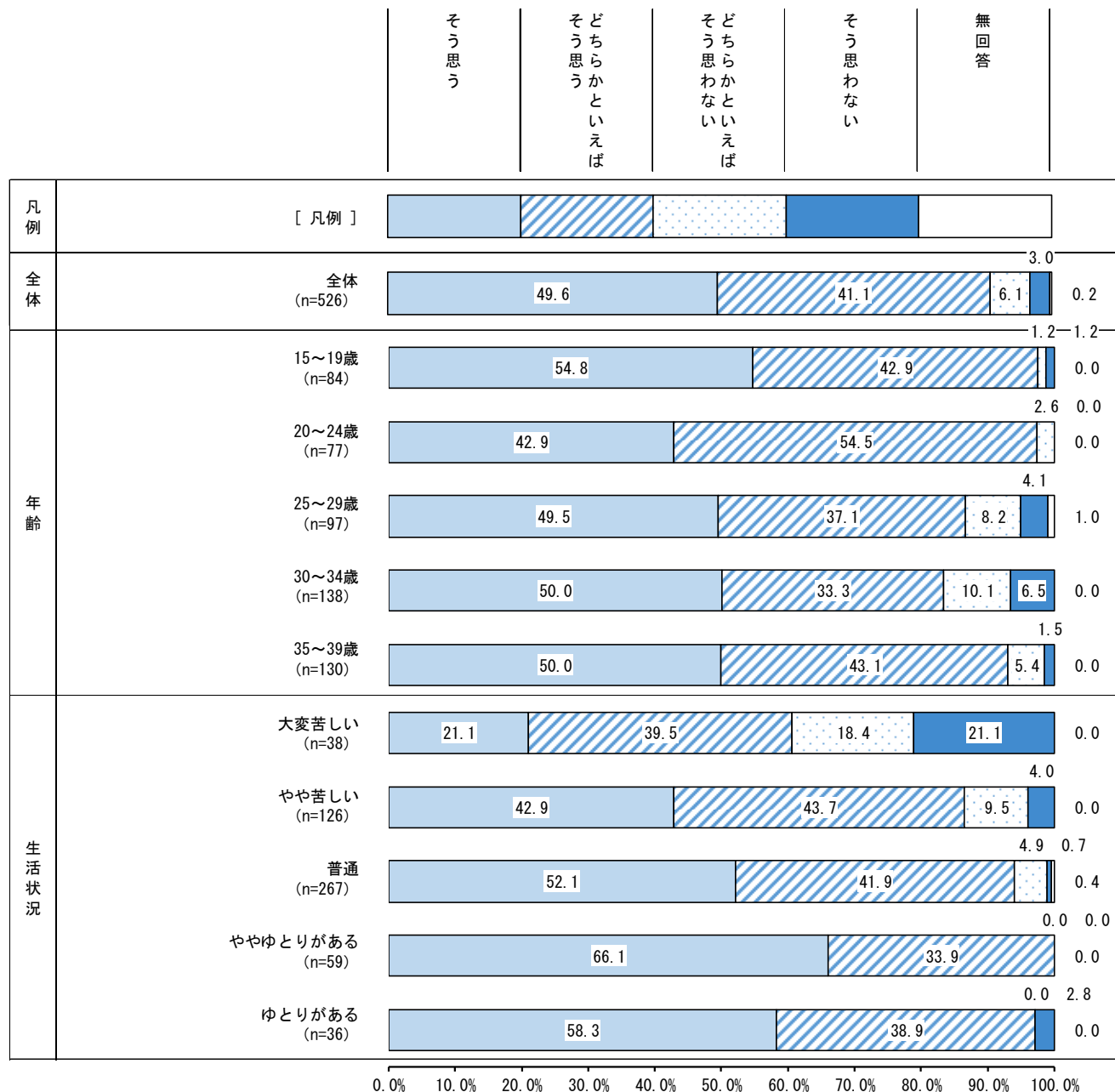
【年齢】

- “そう思わない人”は30～34歳が 16.6%、25～29歳が 12.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【生活状況】

- “そう思わない人”は大変苦しいが 39.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【自分が幸せだと思う】



問14 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思っていますか。

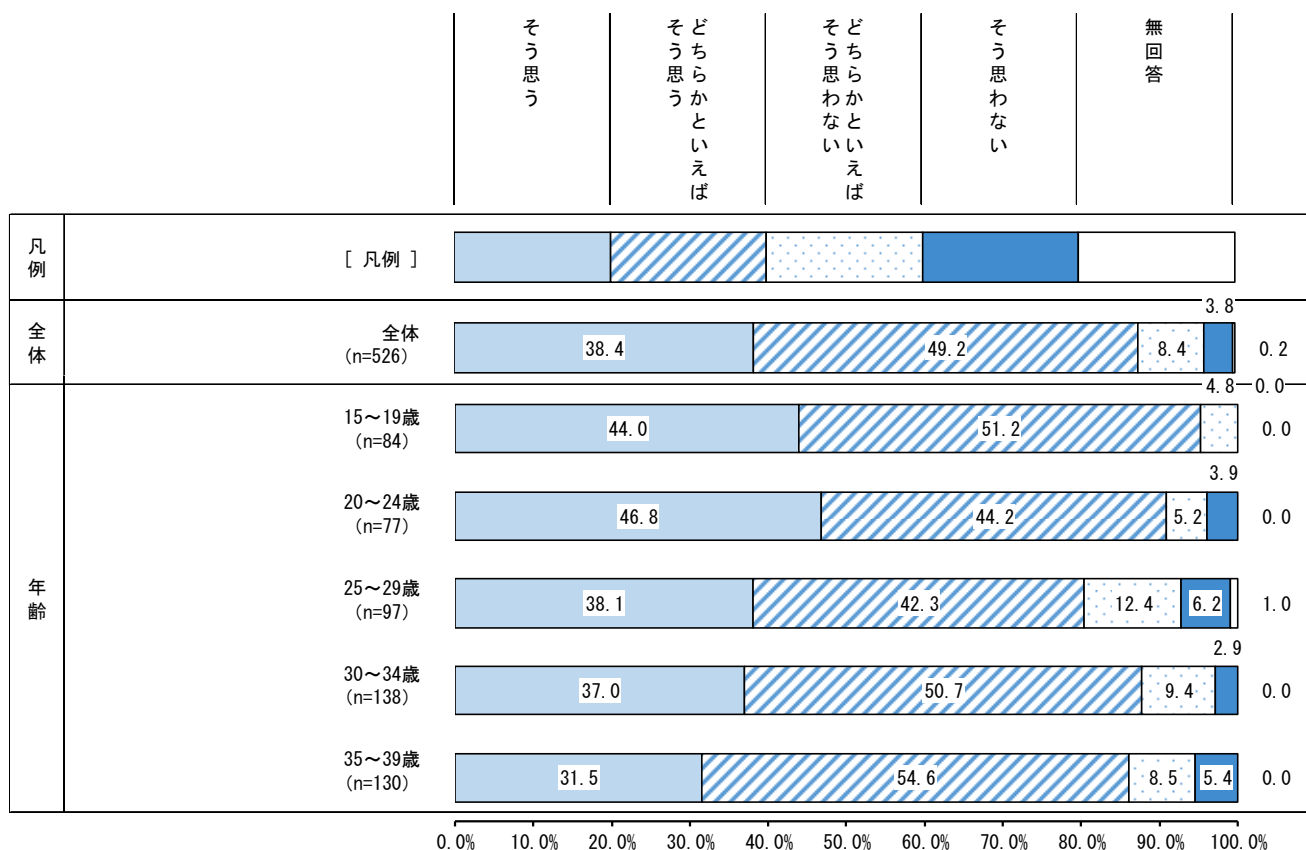
【全体】

- 「社会のために役立つことをしたい」と思うについて、「どちらかといえばそう思う」が 49.2%で最も多く、次いで「そう思う」が 38.4%、「どちらかといえばそう思わない」が 8.4%となっています。
- 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う人”は87.6%となっています。
- 「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない人”は 12.2%となっています。

【年齢】

- “そう思わない人”は25～29歳が18.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【「社会のために役立つことをしたい」と思う】



問15 あなたは、自分の将来について明るい希望がありますか。

【全体】

- 自分の将来に明るい希望があるについて、「どちらかといえば希望がある」が46.8%で最も多く、次いで「希望がある」が29.1%、「どちらかといえば希望がない」が18.3%となっています。
- 「希望がある」「どちらかといえば希望がある」を合わせた“希望がある人”は75.9%となっています。
- 「どちらかといえば希望がない」「希望がない」を合わせた“希望がない人”は24.0%となっています。

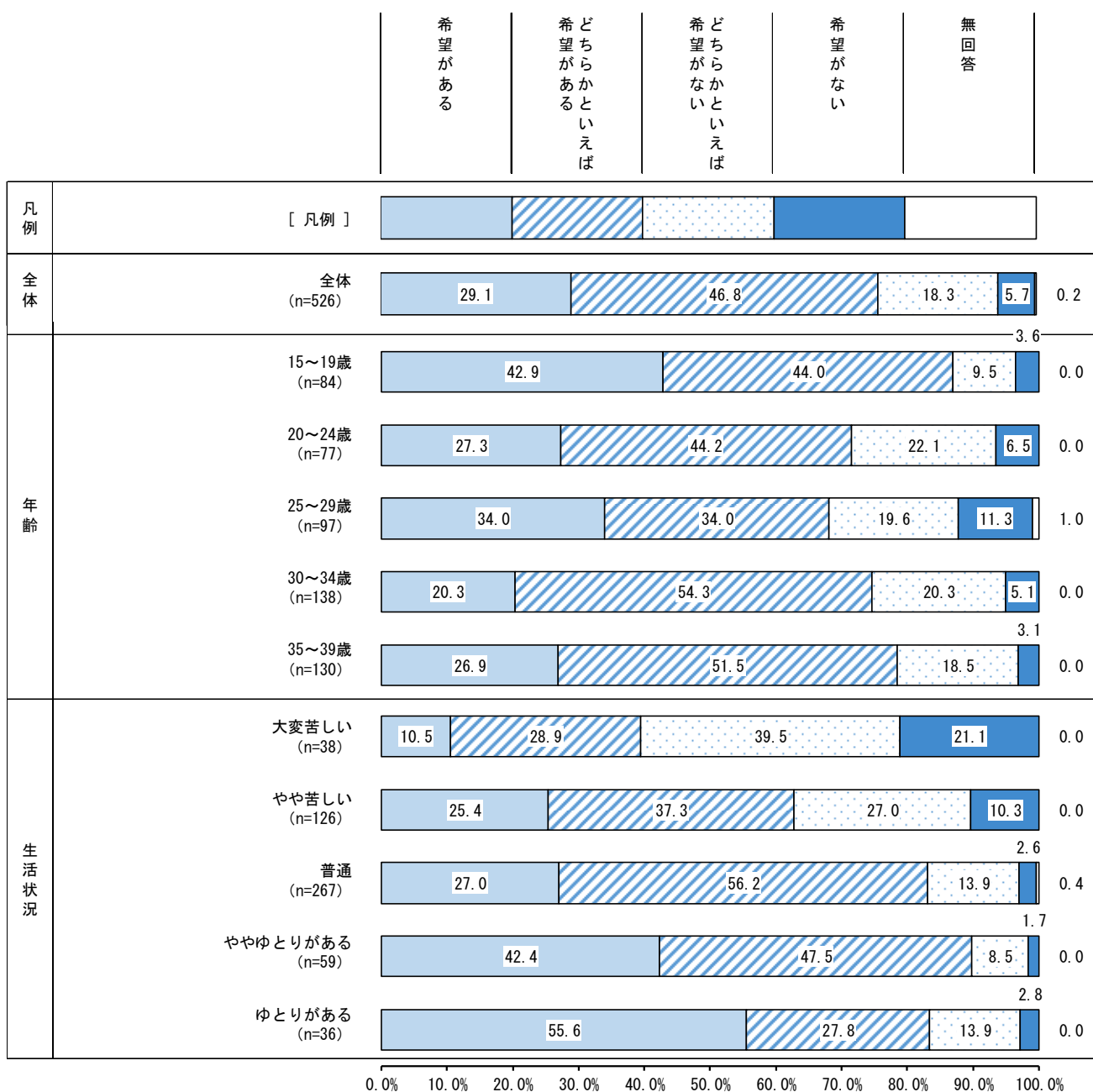
【年齢】

- “希望がある人”は15～19歳が86.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【生活状況】

- “希望がない人”は大変苦しいが60.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【自分の将来に明るい希望がある】

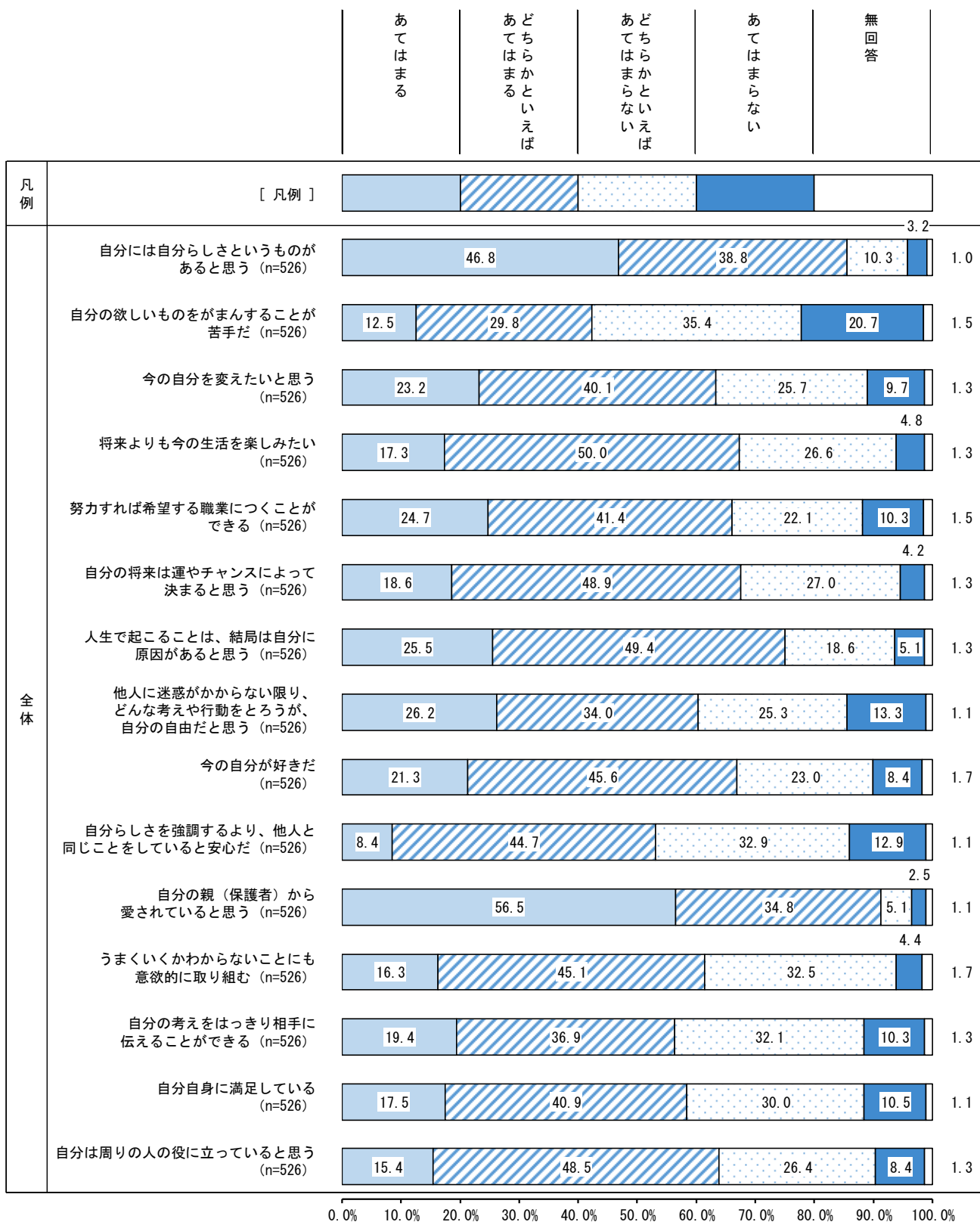


問16 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。

【全体】

- あてはまることについて、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる人”は自分の親（保護者）から愛されていると思うが 91.3%と他の選択肢と比べて多くなっています。
- 「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」を合わせた“あてはまらない人”は自分の欲しいものをがまんすることが苦手が 56.1%と他の選択肢と比べて多くなっています。

【あてはまること】



問16（１） 自分には自分らしさというものがあると思いますか。

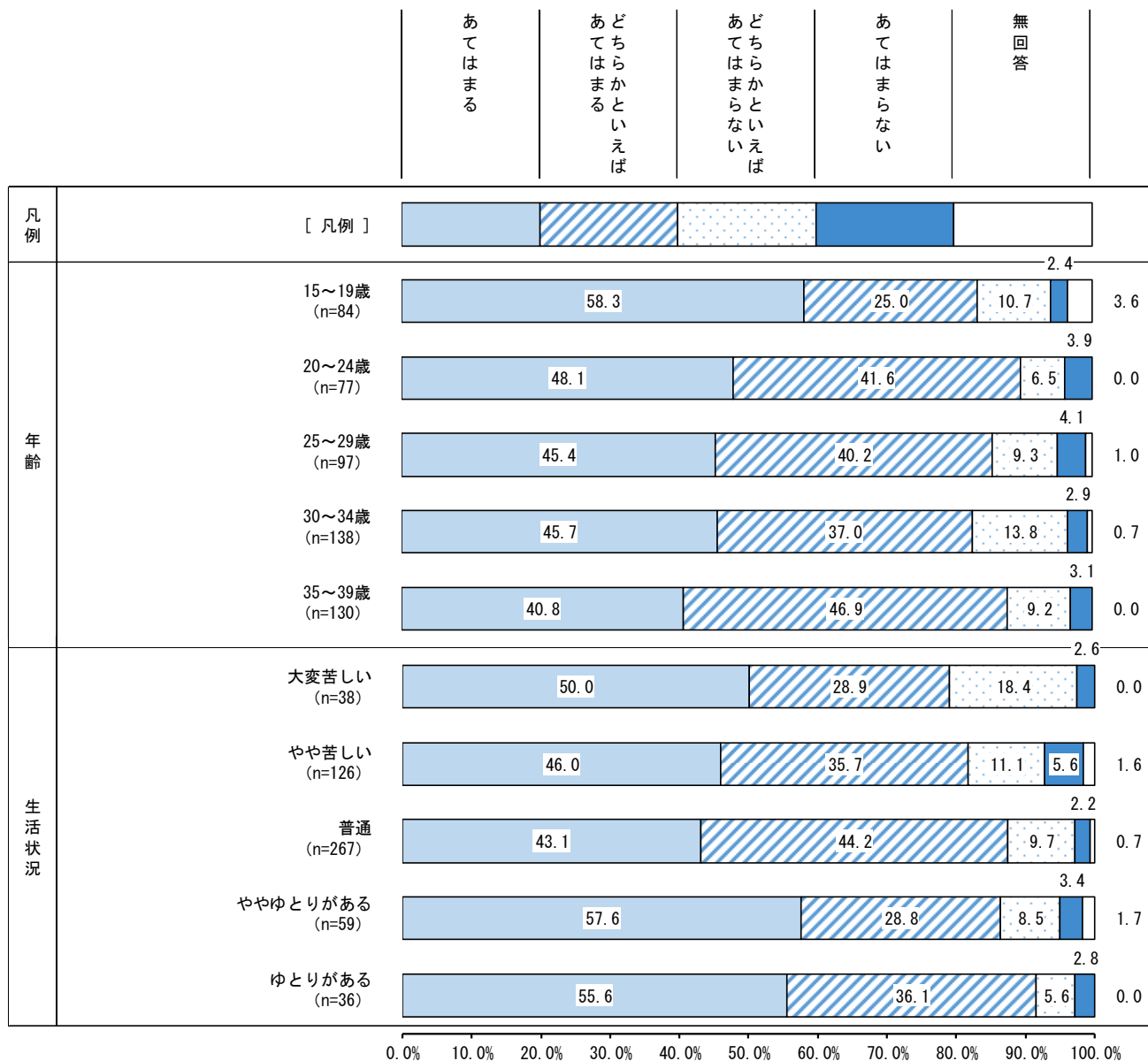
【年齢】

- 「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」を合わせた“あてはまらない人”は 30～34 歳が 16.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【生活状況】

- “あてはまらない人”は大変苦しいが 21.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【自分には自分らしさというものがあると思う】



問16（2） 自分の欲しいものをがまんすることが苦手ですか。

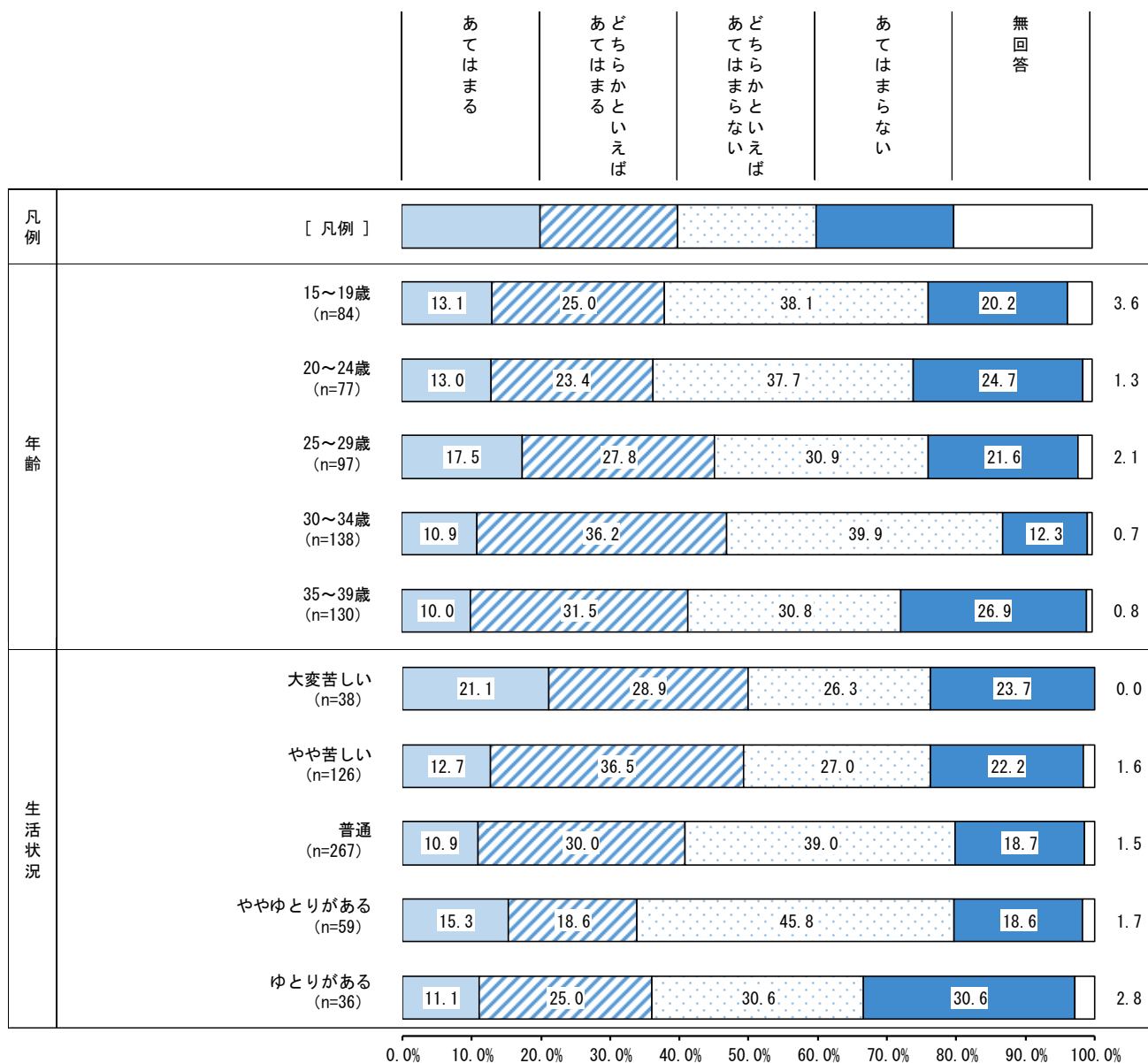
【年齢】

- 「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる人”は 30～34 歳が 47.1%、25～29 歳が 45.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【生活状況】

- “あてはまる人”は大変苦しいが 50.0%、やや苦しいが 49.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【自分の欲しいものをがまんすることが苦手】



問16（3） 今の自分を変えたいと思いますか。

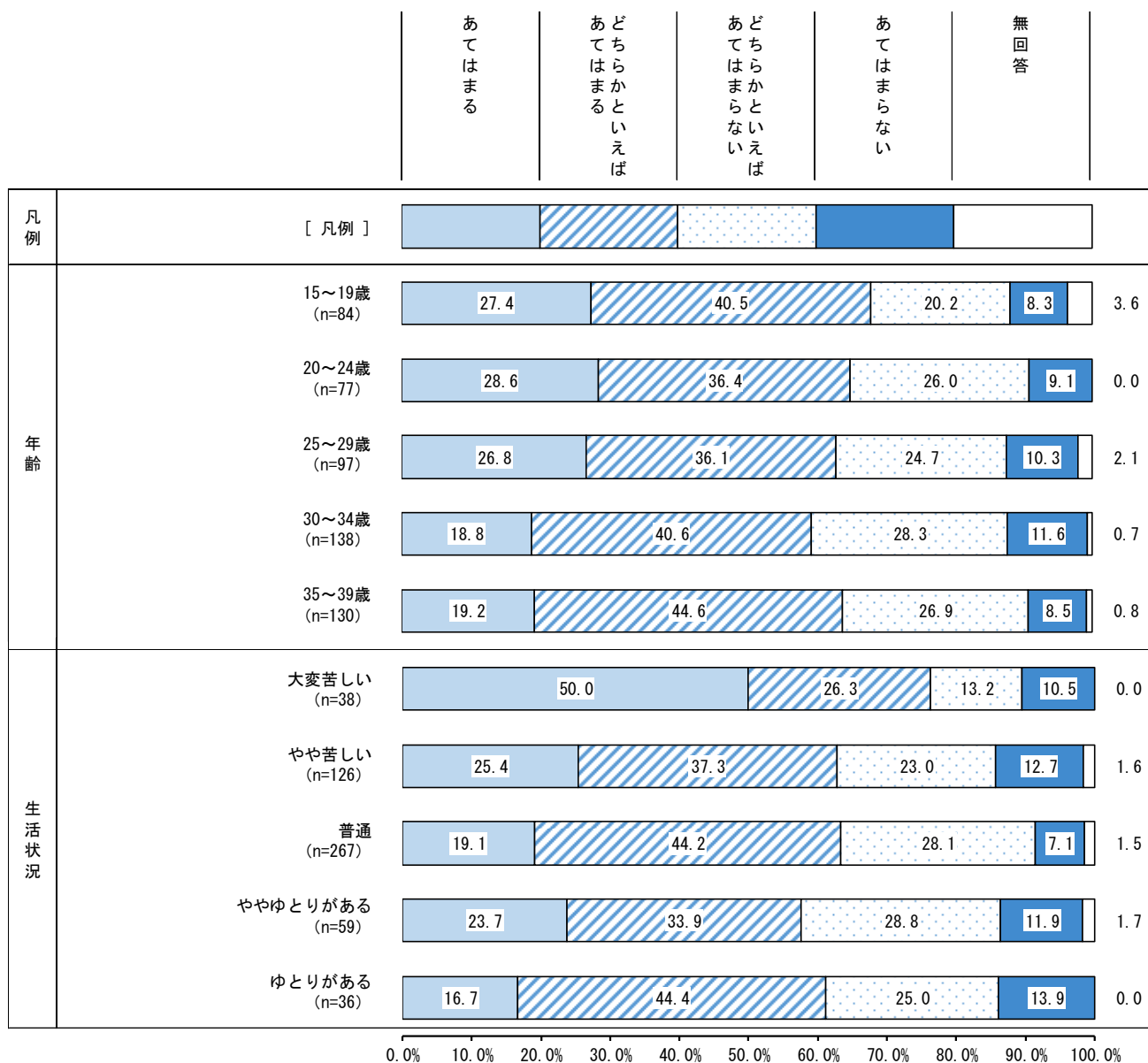
【年齢】

- 「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる人”は30～34歳が59.4%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」を合わせた“あてはまらない人”は15～19歳が28.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

【生活状況】

- “あてはまる人”は大変苦しいが76.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【今の自分を変えたいと思う】



問16（４） 将来よりも今の生活を楽しみたいですか。

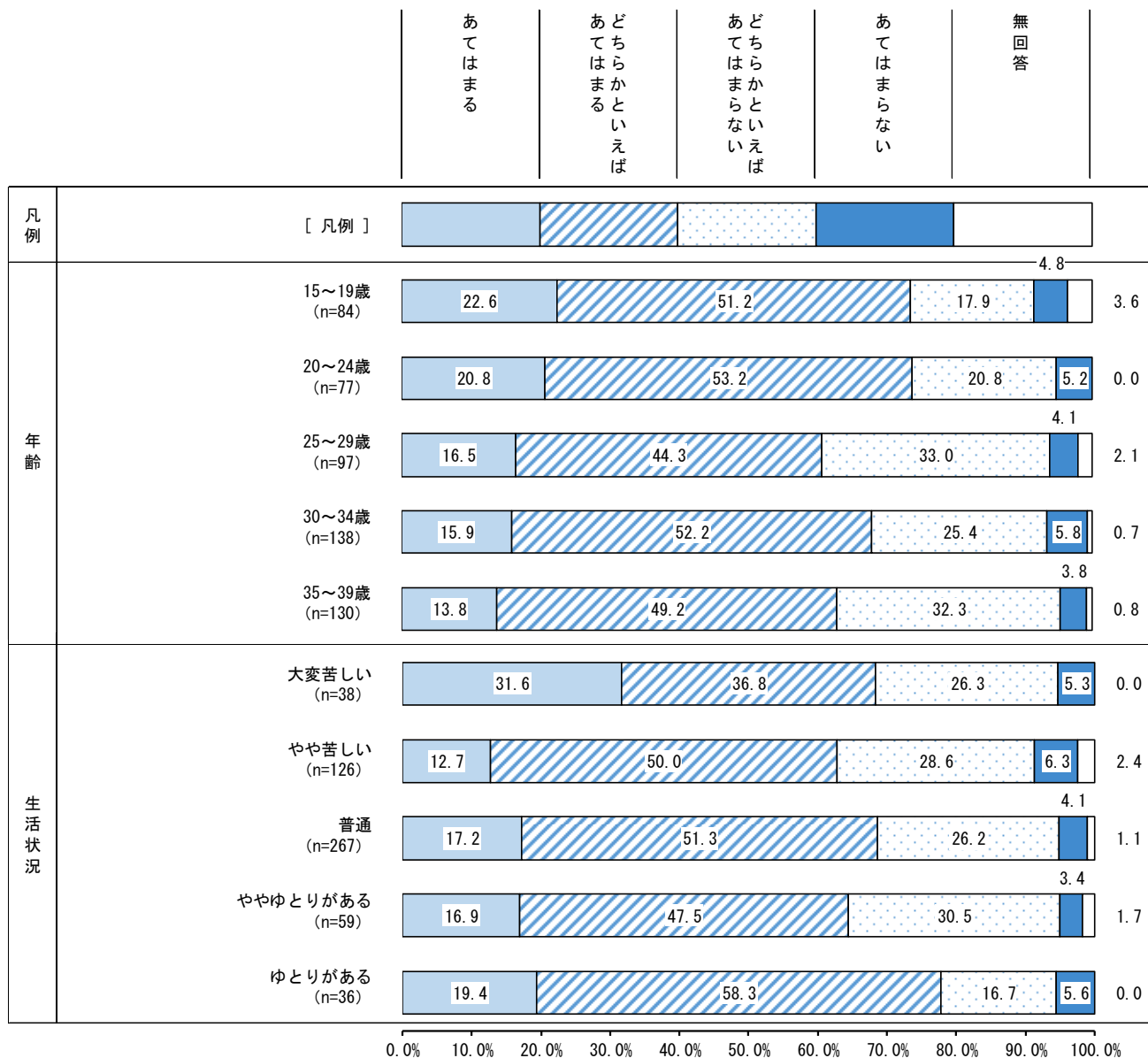
【年齢】

- 年齢が低いほど「あてはまる」が多くなる傾向がみられます。

【生活状況】

- 「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる人”はゆとりがあるが77.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【将来よりも今の生活を楽しみたい】



問16（５） 努力すれば希望する職業につくことができると思いますか。

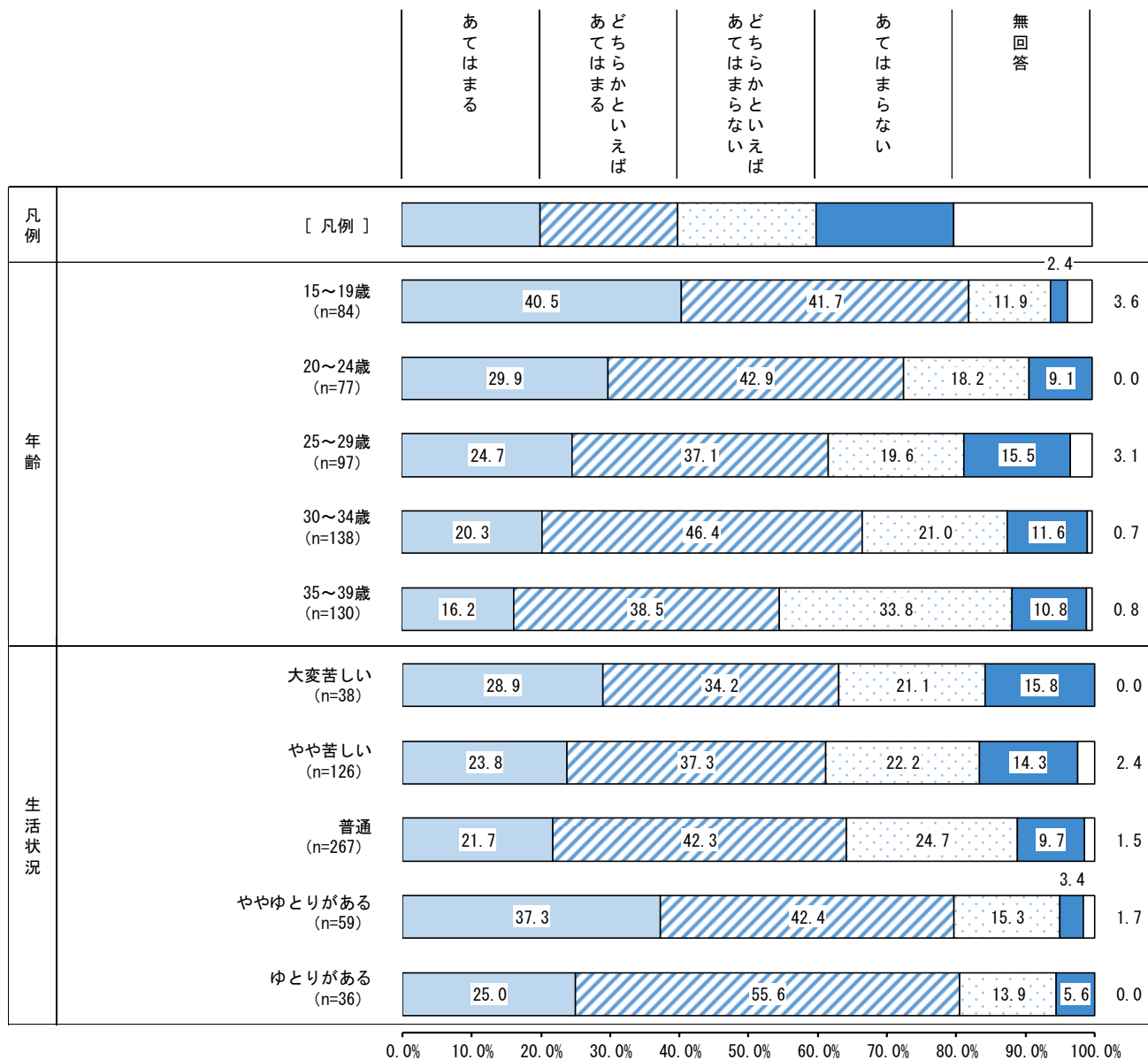
【年齢】

- 年齢が低いほど「あてはまる」が多くなる傾向がみられます。

【生活状況】

- 「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる人”はゆとりがあるが80.6%、ややゆとりがあるが79.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【努力すれば希望する職業につくことができると思う】



問16（6） 自分の将来は運やチャンスによって決まると思いますか。

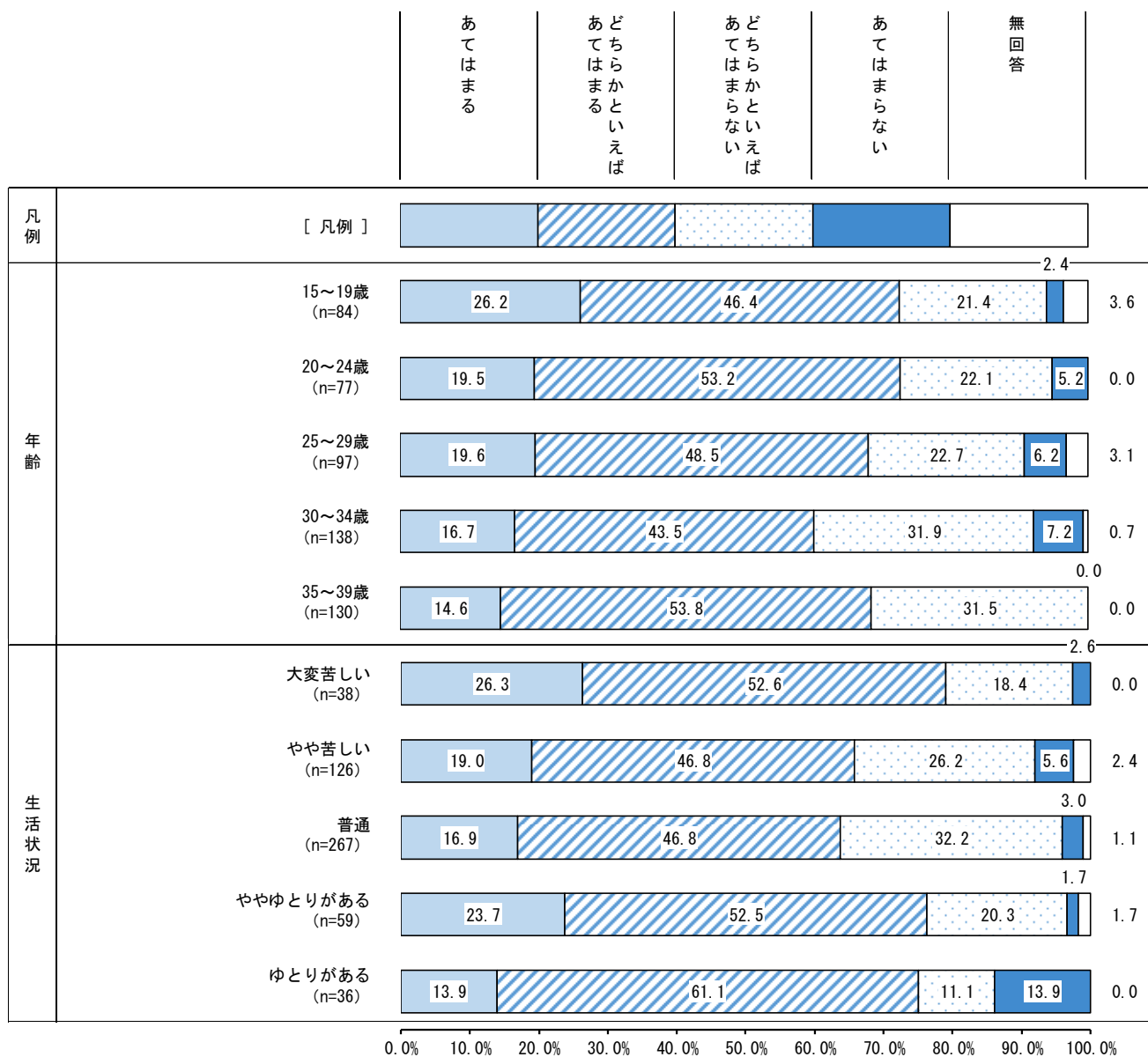
【年齢】

- 「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」を合わせた“あてはまらない人”は 30～34 歳が 39.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【生活状況】

- “あてはまらない人” はやや苦しいが 31.8%、普通が 35.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【自分の将来は運やチャンスによって決まると思う】



問16（7） 人生で起こることは、結局は自分に原因があると思いますか。

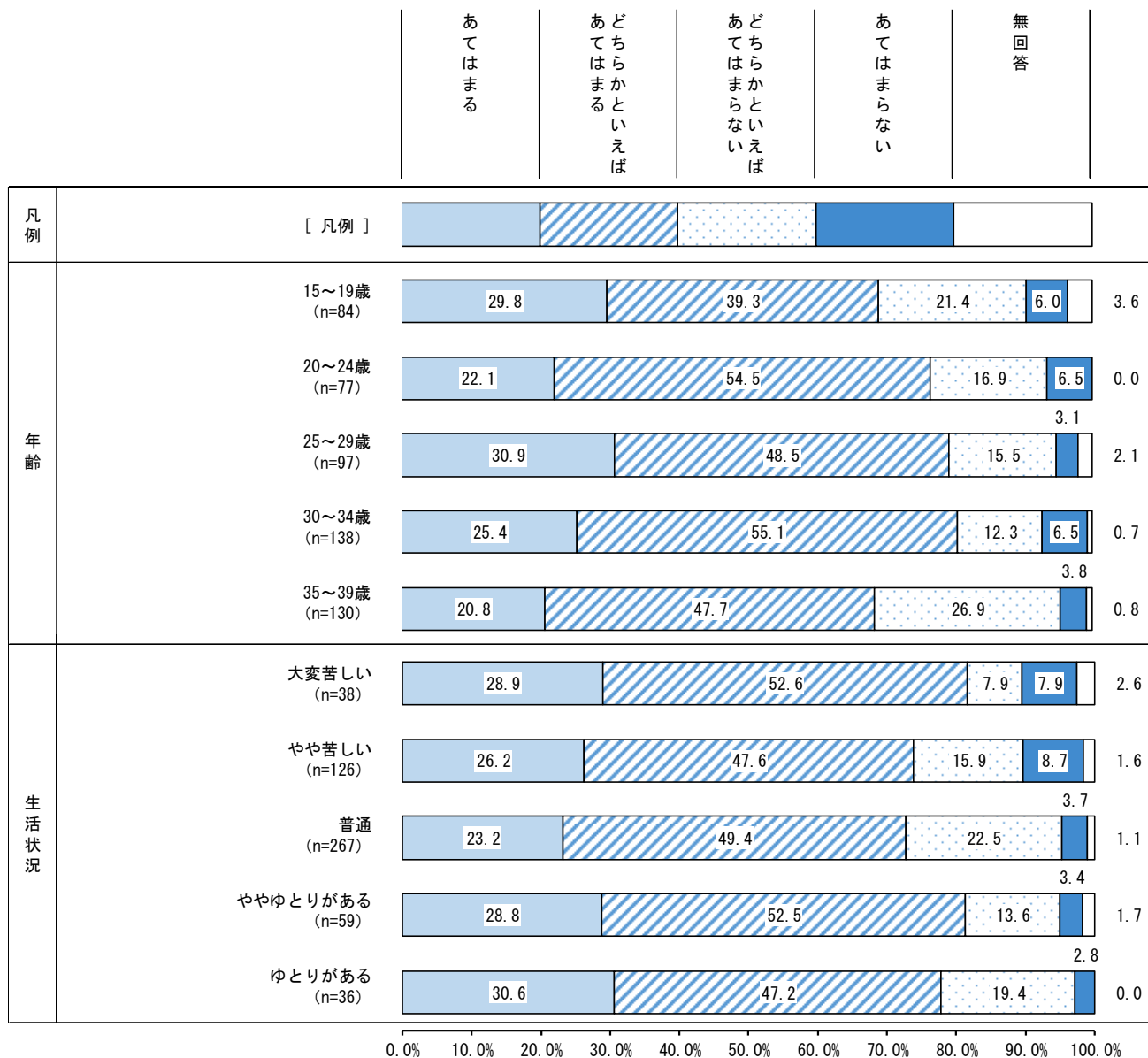
【年齢】

- 「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる人”は 15～19 歳が 69.1%、35～39 歳が 68.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

【生活状況】

- “あてはまる人”はやや苦しいが 73.8%、普通が 72.6%と他の区分に比べて少なくなっています。

【人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う】



問16（８） 他人に迷惑がかからない限り、どんな考えや行動をとろうが、自分の自由だと思いますか。

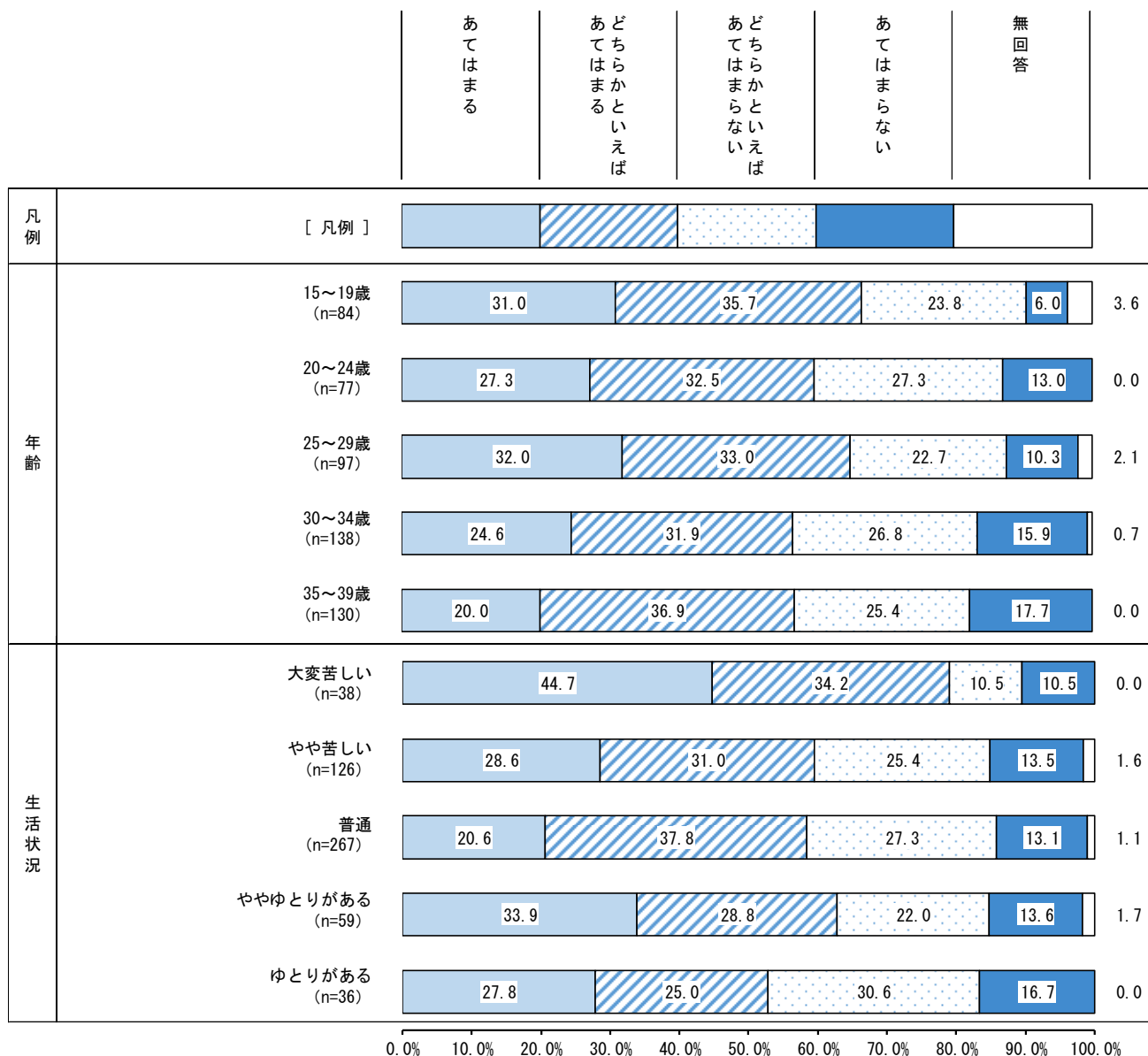
【年齢】

- 「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる人”は 15～19 歳が 66.7%、25～29 歳が 65.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【生活状況】

- “あてはまる人”は大変苦しいが 78.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【他人に迷惑がかからない限り、どんな考えや行動をとろうが、自分の自由だと思う】



問16（9） 今の自分が好きですか。

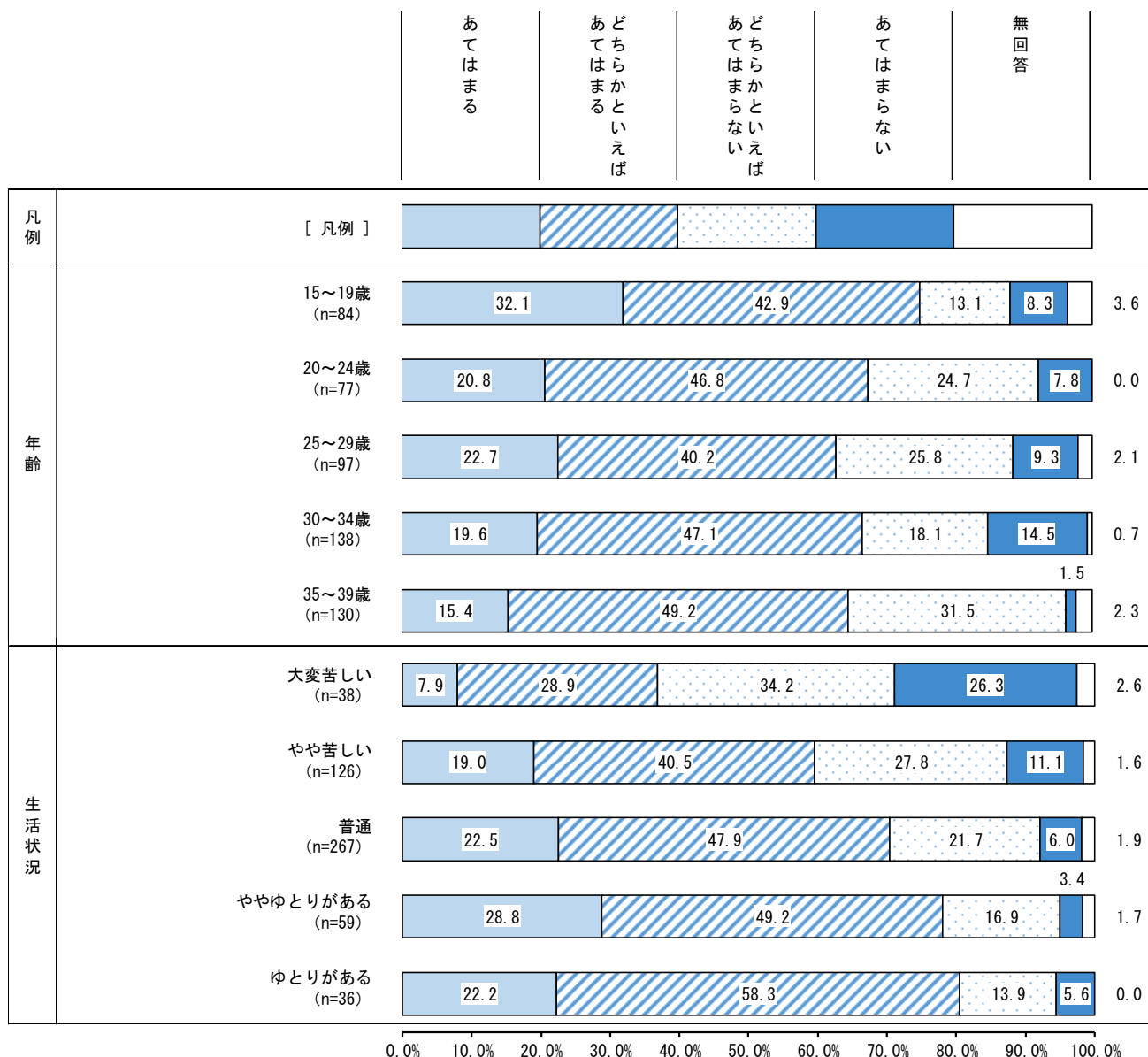
【年齢】

- 「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる人”は15～19歳が75.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【生活状況】

- 「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」を合わせた“あてはまらない人”は大変苦しいが60.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【今の自分が好き】



問16 (10) 自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心しますか。

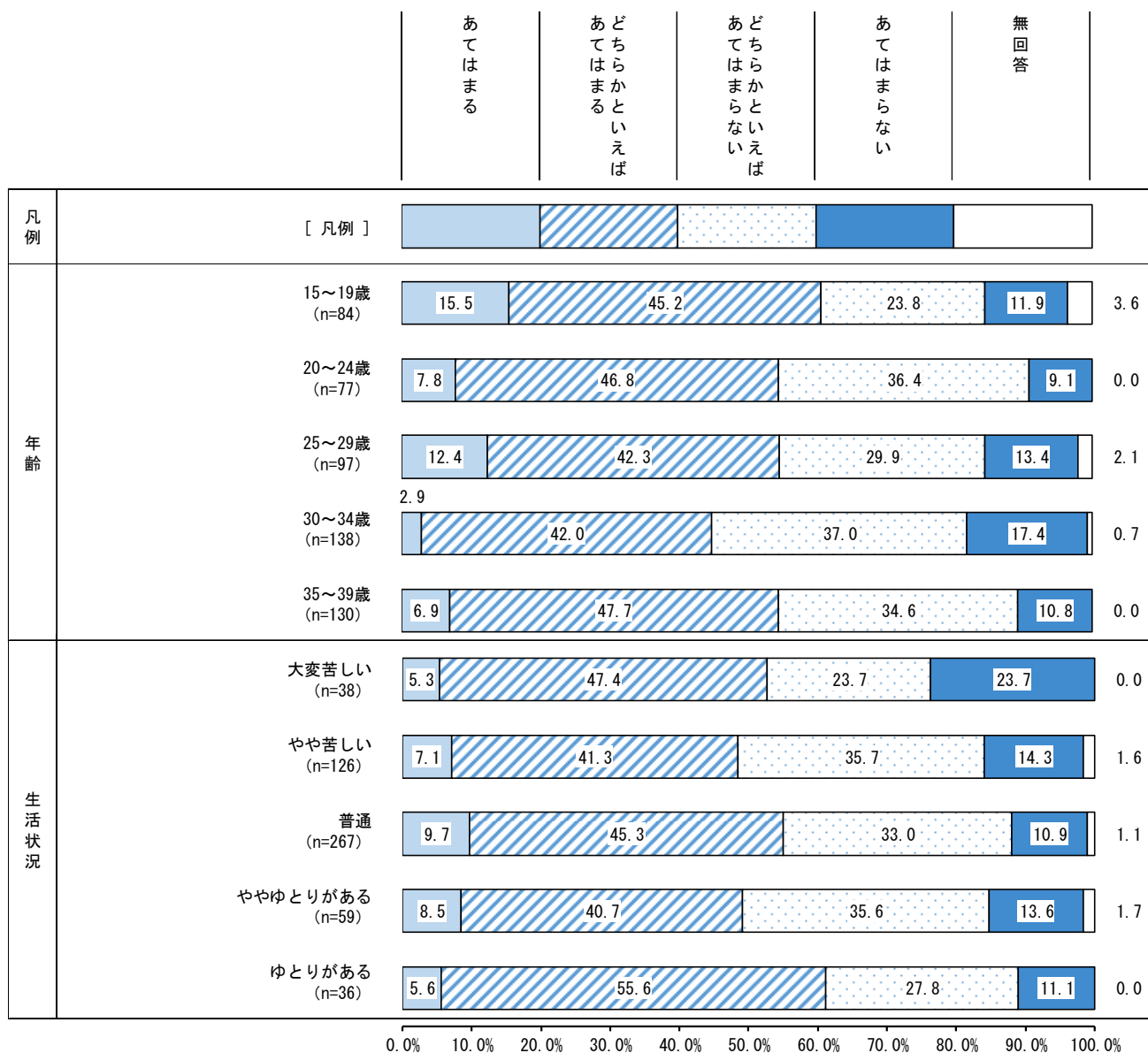
【年齢】

- 「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」を合わせた“あてはまらない人”は 30～34 歳が 54.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【生活状況】

- 「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる人”はゆとりがあるが 61.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心】



問16 (11) 自分の親（保護者）から愛されていると思いますか。

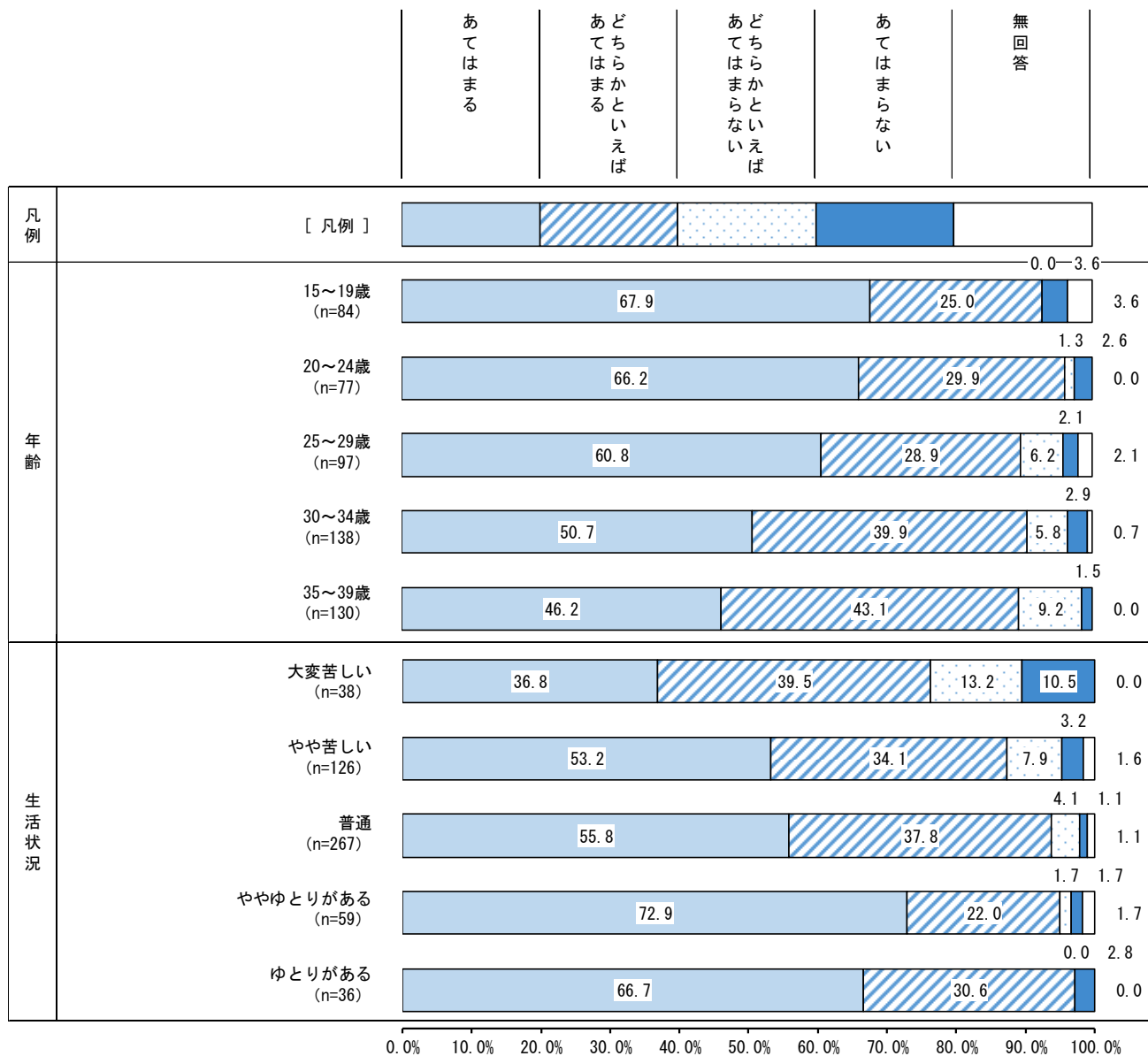
【年齢】

- 年齢が低いほど「あてはまる」が多くなる傾向がみられます。

【生活状況】

- 「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」を合わせた“あてはまらない人”は大変苦しいが23.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【自分の親（保護者）から愛されていると思う】



問16 (12) うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組んでいますか。

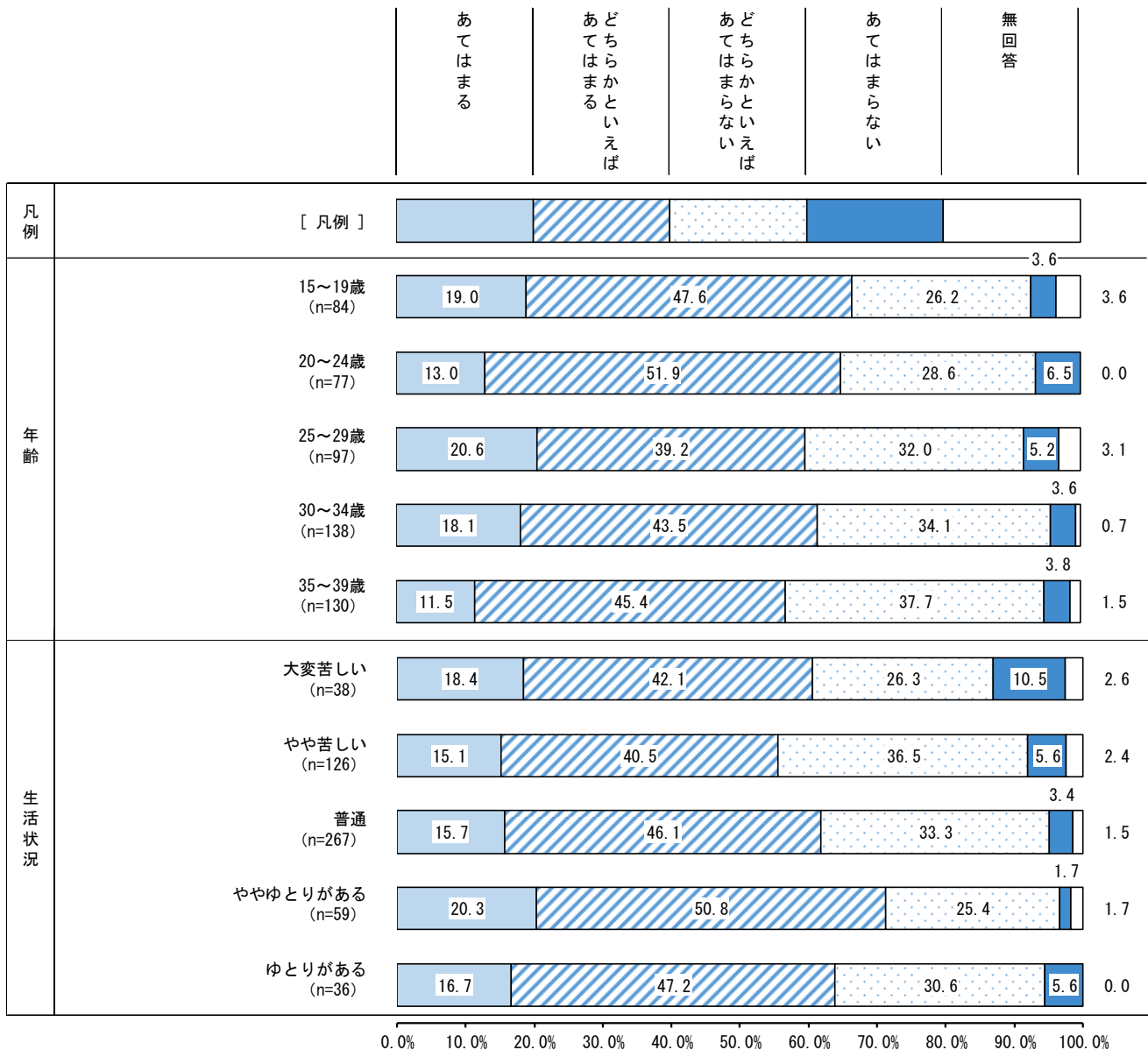
【年齢】

- 「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる人”は 15～19 歳が 66.6%、20～24 歳が 64.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【生活状況】

- “あてはまる人”はややゆとりがあるが 71.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む】



問16 (13) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができますか。

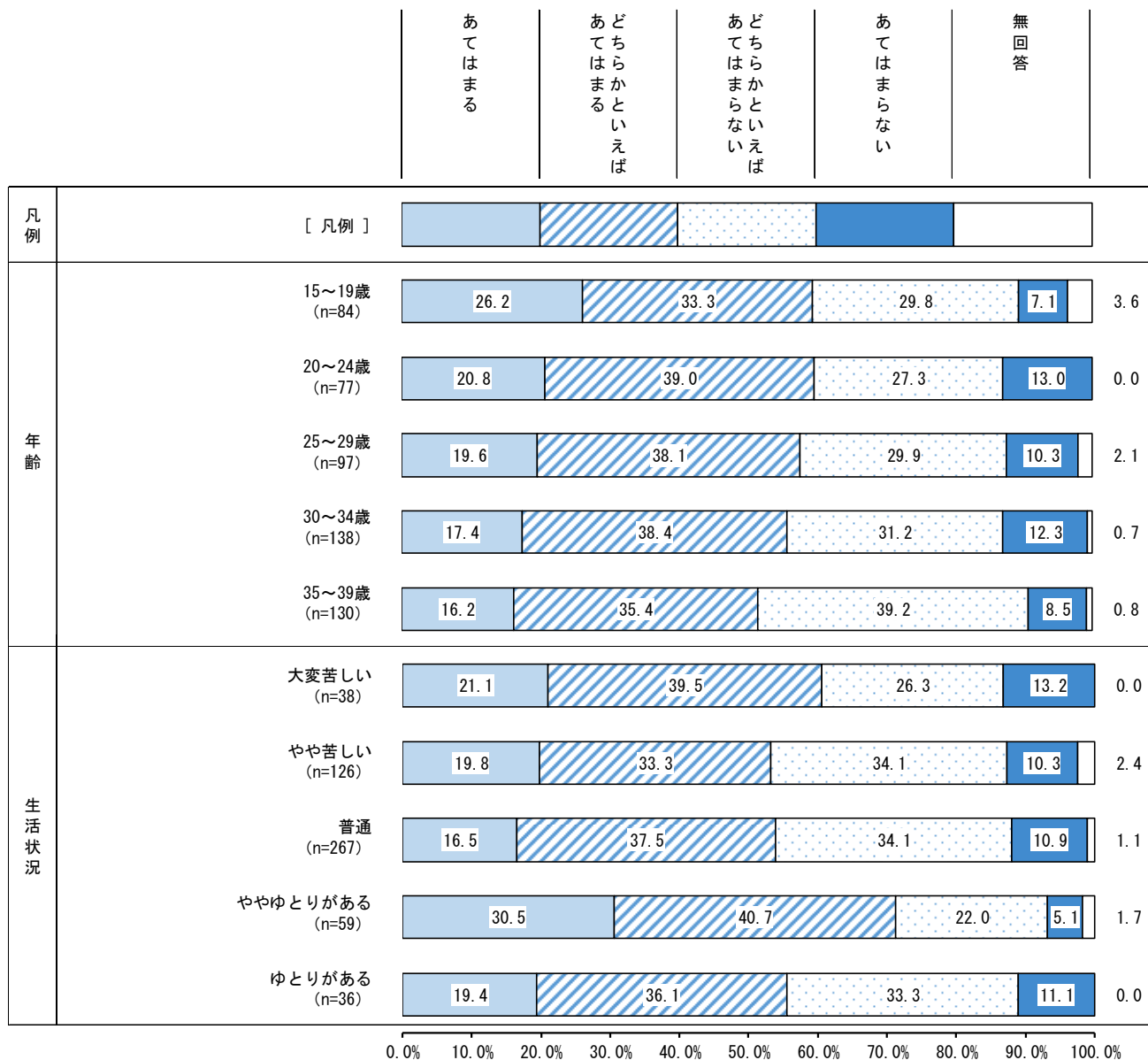
【年齢】

- 年齢が低いほど「あてはまる」が多くなる傾向がみられます。

【生活状況】

- 「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる人”はややゆとりがあるが71.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【自分の考えをはっきり相手に伝えることができる】



問16 (14) 自分自身に満足していますか。

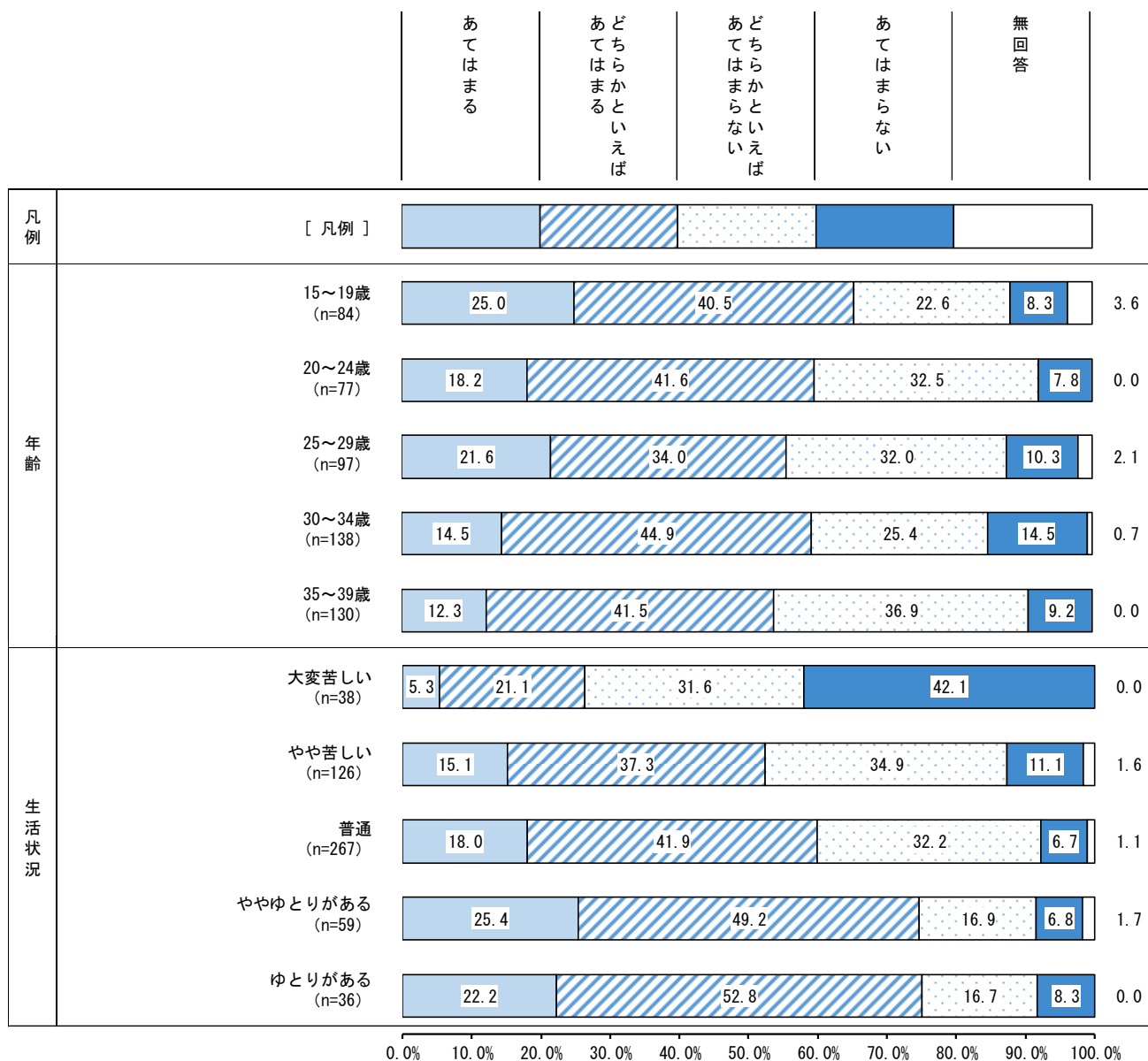
【年齢】

- 「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる人”は15～19歳が65.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【生活状況】

- 「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」を合わせた“あてはまらない人”は大変苦しいが73.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【自分自身に満足している】



問16(15) 自分は周りの人の役に立っていると思いますか。

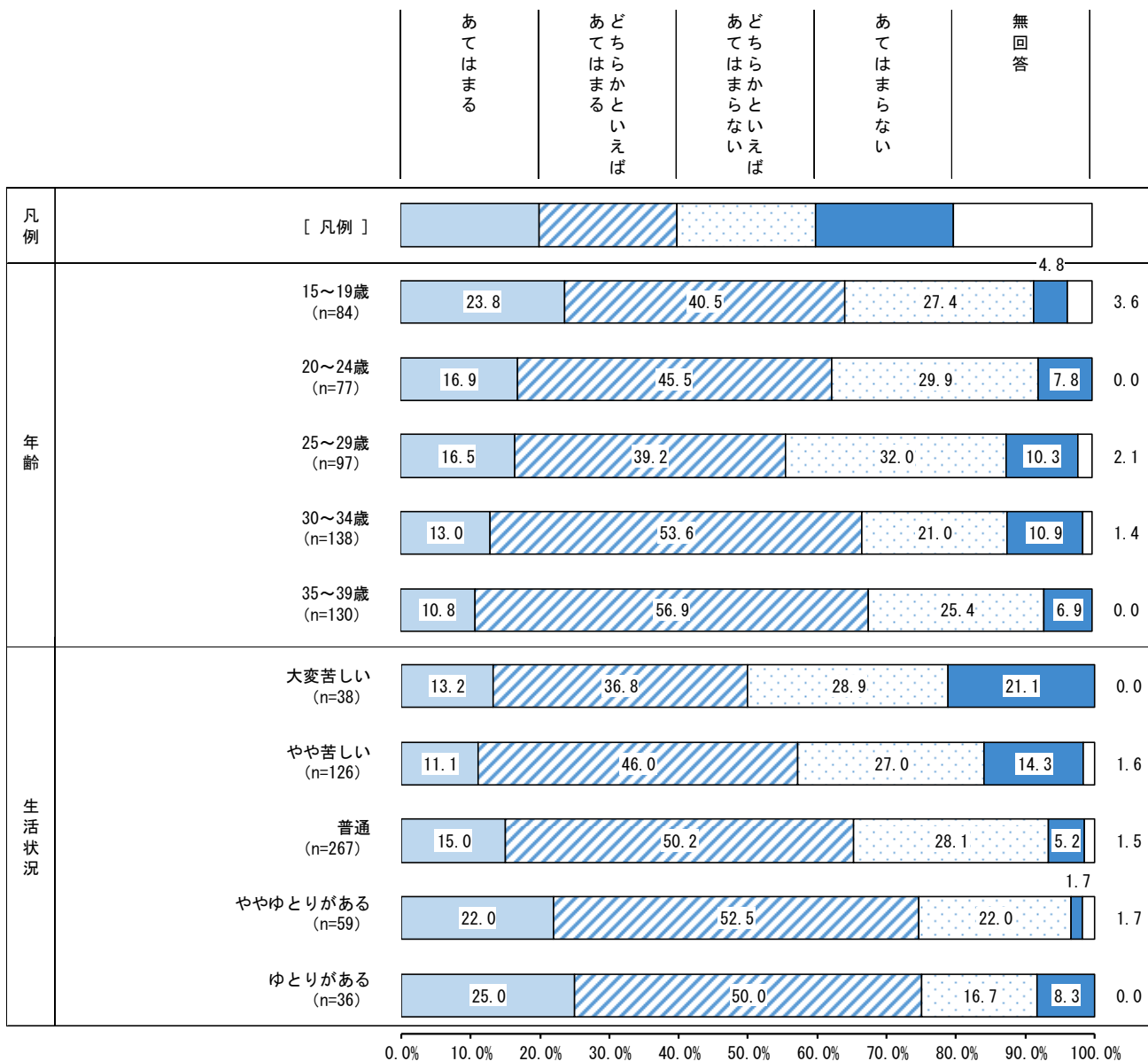
【年齢】

- 「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」を合わせた“あてはまらない人”は 20～24 歳が 37.7%、25～29 歳が 42.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【生活状況】

- “あてはまる人”はややゆとりがあるが 74.5%、ゆとりがあるが 75.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- “あてはまらない人”は大変苦しいが 50.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【自分は周りの人の役に立っていると思う】



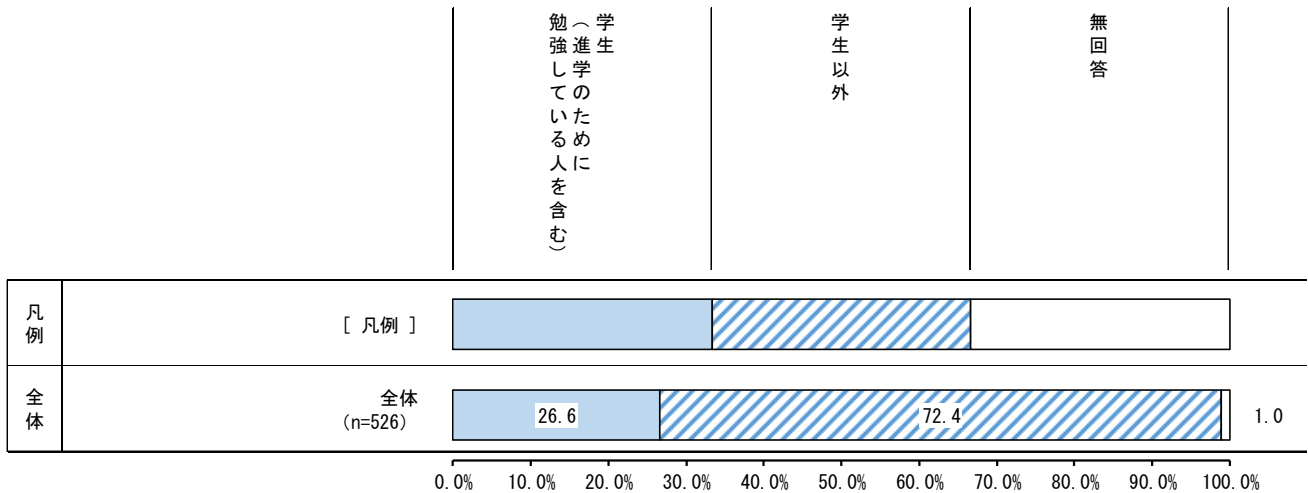
4. 就学・就労状況

問17 あなたにあてはまるものを選んでください。

【全体】

- 就学状況について、「学生（進学のために勉強している人を含む）」が 26.6%、「学生以外」が 72.4%となっています。

【就学状況】

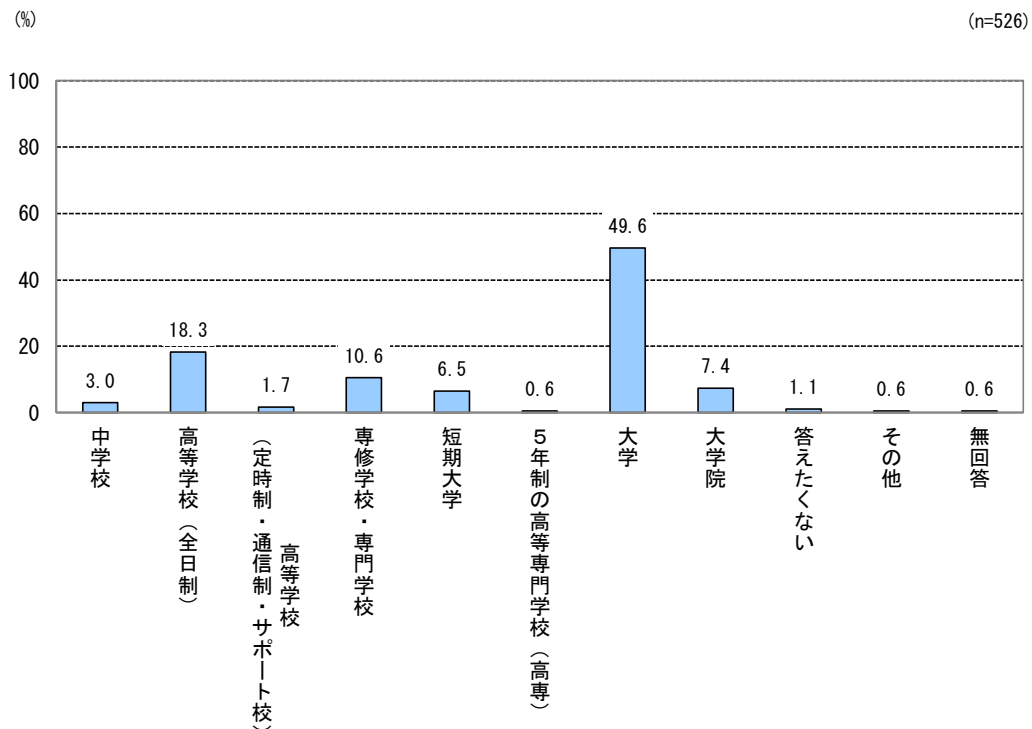


問18 あなたが最後に卒業（中退を含む。）した学校はどこですか。在学中の方は、在学している学校をお答えください。

【全体】

- 最終学歴について、「大学」が 49.6%で最も多く、次いで「高等学校（全日制）」が 18.3%、「専修学校・専門学校」が 10.6%となっています。

【最終学歴】

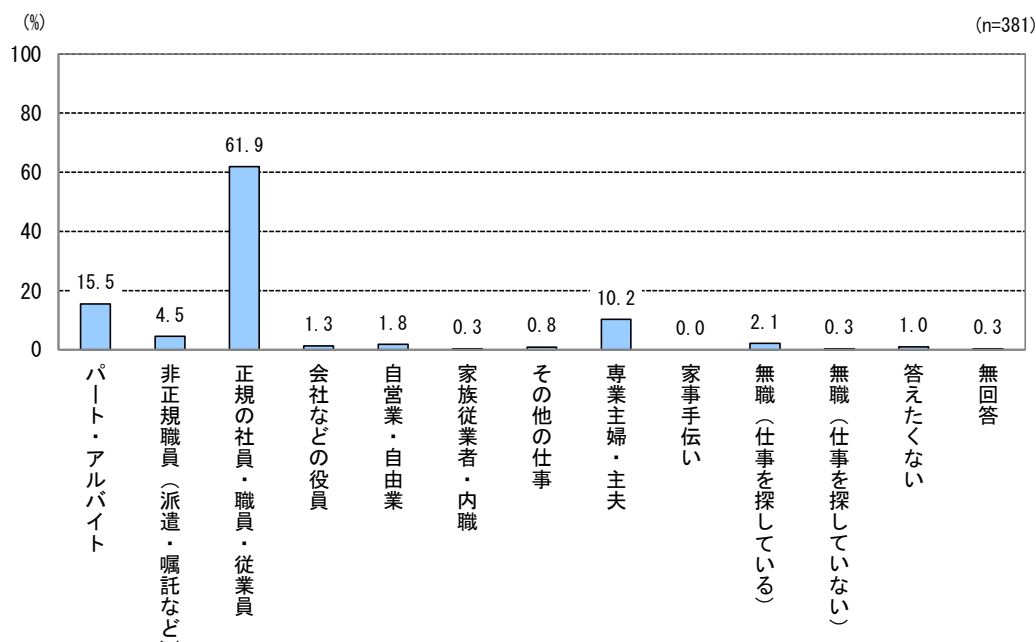


問19 あなたの現在の仕事を教えてください。(問17で「2. 学生以外」を選んだ方)

【全体】

- 現在の仕事について、「正規の社員・職員・従業員」が 61.9%で最も多く、次いで「パート・アルバイト」が 15.5%、「専業主婦・主夫」が 10.2%となっています。
- その他の内訳として、育児休業中などが挙がっています。

【現在の仕事】

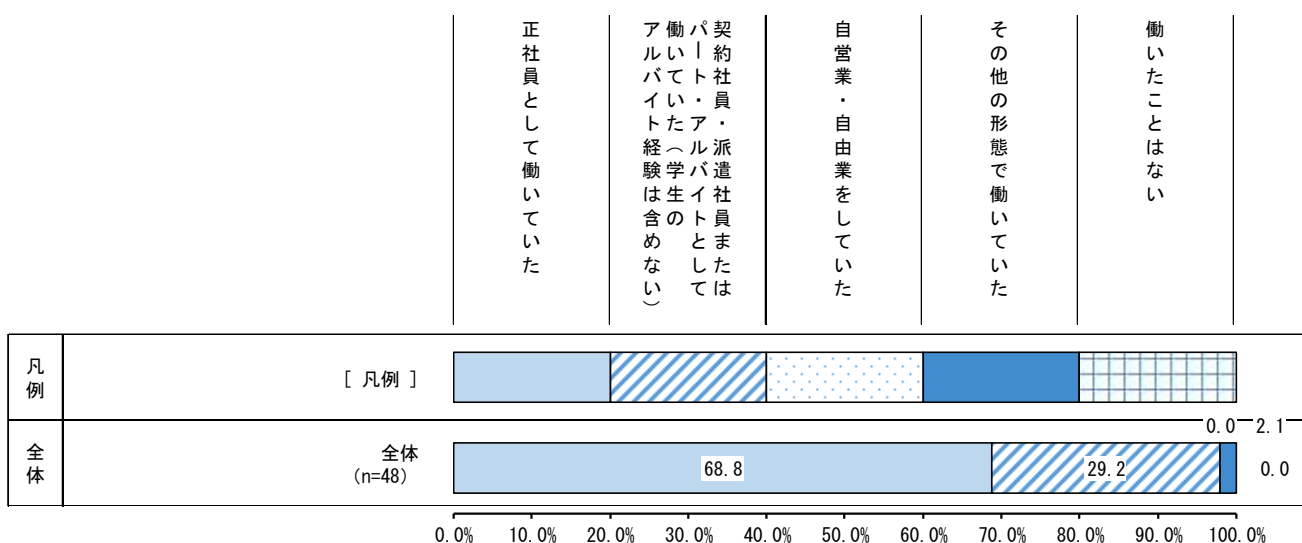


問20 あなたは今までに働いていたことはありますか。(問19で「8. 専業主婦・主夫」から「11. 無職 (仕事を探していない)」を選んだ方)

【全体】

- 今までの就労状況について、「正社員として働いていた」が 68.8%で最も多く、次いで「契約社員・派遣社員またはパート・アルバイトとして働いていた (学生のアルバイト経験は含めない)」が 29.2%、「その他の形態で働いていた」が 2.1%となっています。

【今までの就労状況】



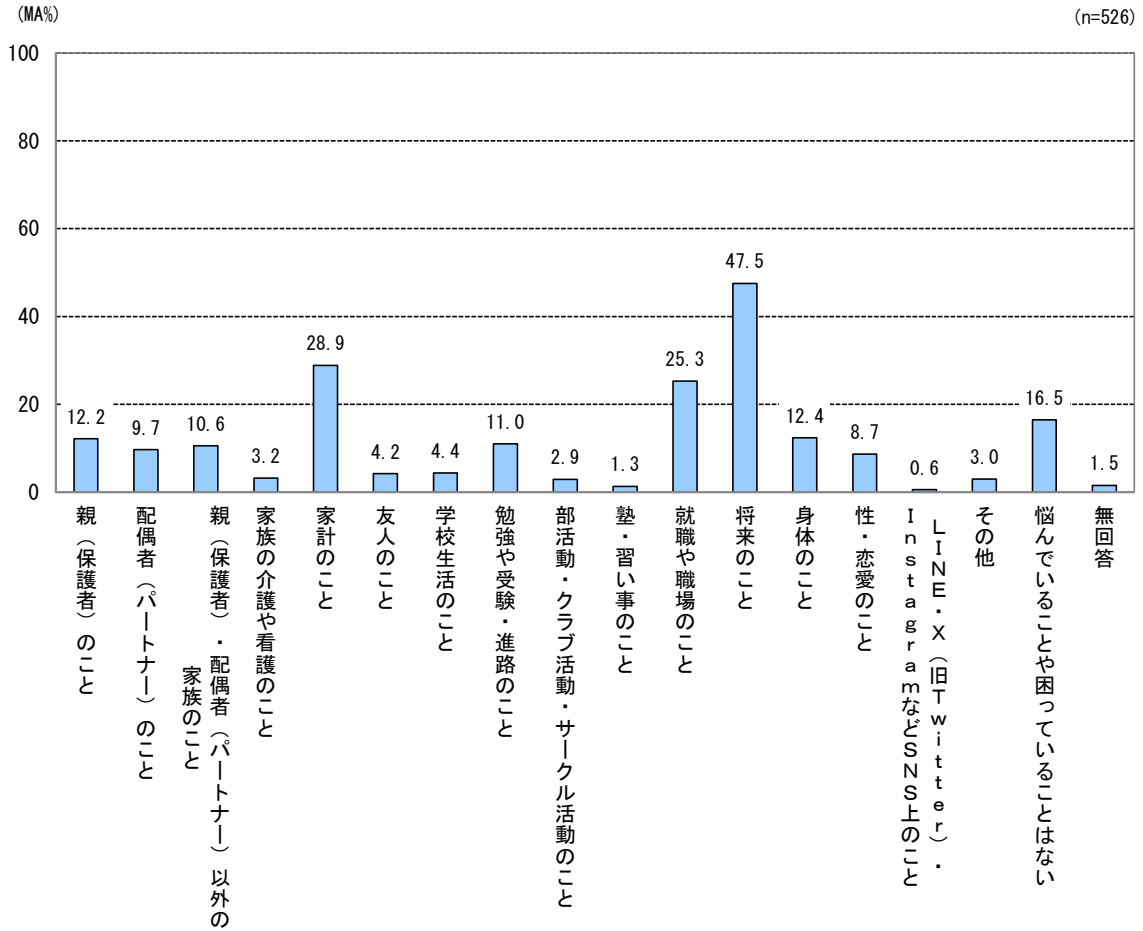
5. 悩み・相談先

問21 あなたは、今、自分自身について悩んでいることや困っていることはありますか。(MA)

【全体】

- 悩んでいることや困っていることはあるかについて、「将来のこと」が 47.5%で最も多く、次いで「家計のこと」が 28.9%、「就職や職場のこと」が 25.3%となっています。
- その他の内訳として、恋愛や結婚、子ども、地域の環境整備などが挙がっています。

【悩んでいることや困っていることはあるか(MA)】



問22（１） あなたには、困ったときに相談したり、悩みを話せる人がいますか。

【全体】

- 相談したり、悩みを話せる人の有無について、「いる」が 87.5%、「いない」が 12.2%となっています。

【性別】

- 「いる」は女が 91.3%と他の区分に比べて多くなっています。

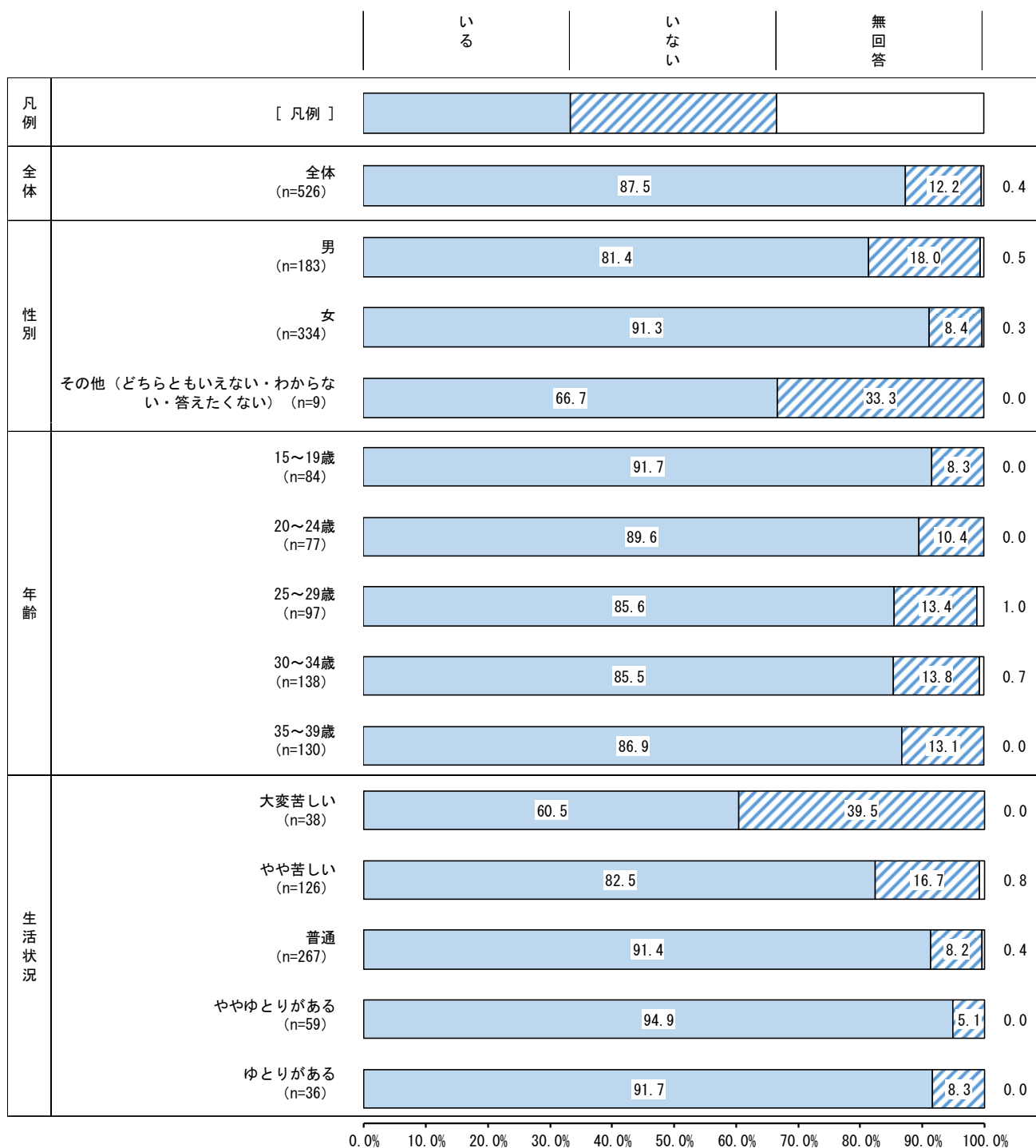
【年齢】

- 「いる」は 15～19 歳が 91.7%、20～24 歳が 89.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【生活状況】

- 「いない」は大変苦しいが 39.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【相談したり、悩みを話せる人の有無】



問22（２） あなたには、困ったときに助けてくれる人はいますか。

【全体】

○ 助けてくれる人の有無について、「いる」が86.5%、「いない」が13.1%となっています。

【性別】

○ 「いる」は女が92.2%と他の区分に比べて多くなっています。

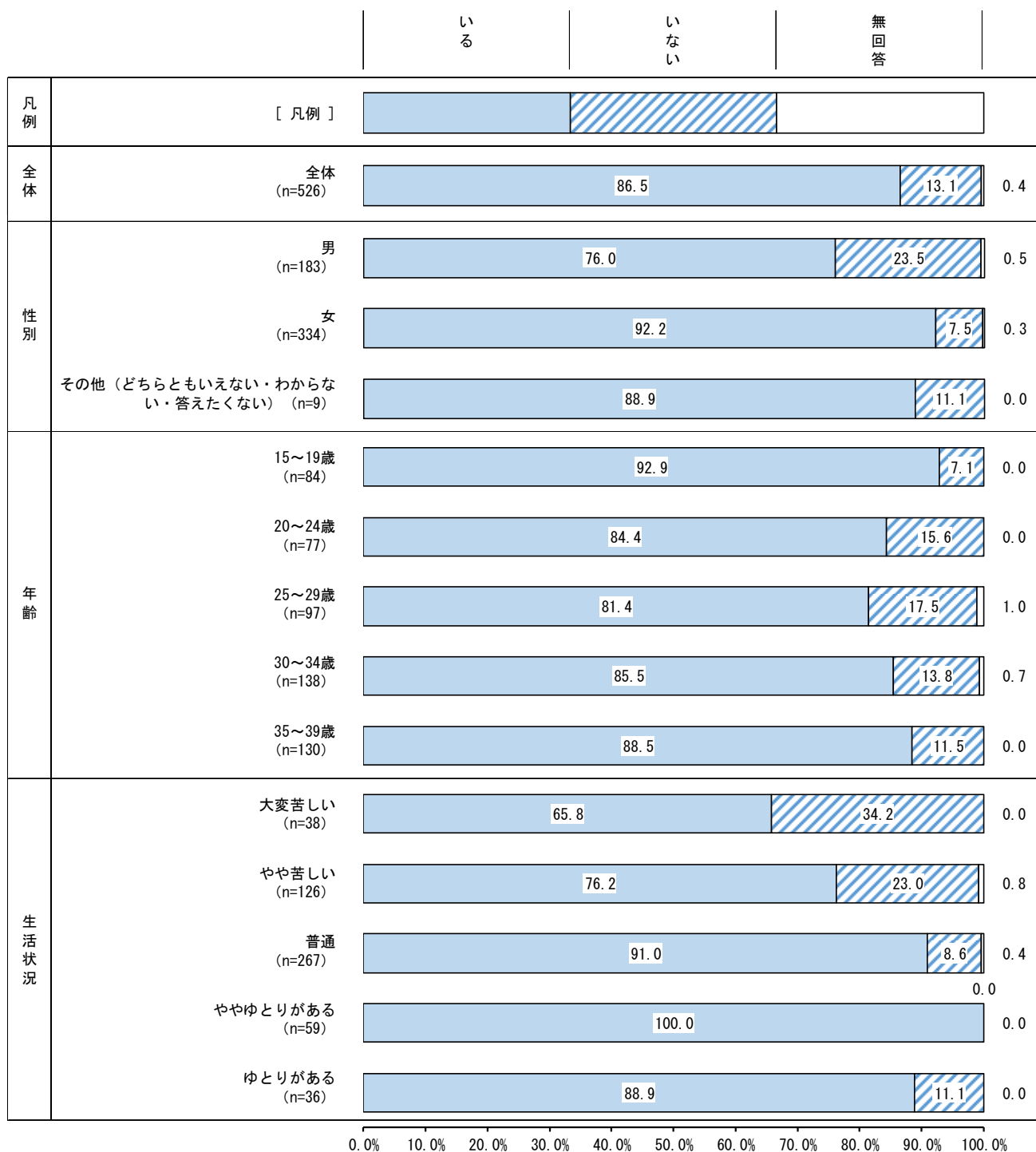
【年齢】

○ 「いる」は15～19歳が92.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【生活状況】

○ 「いない」は大変苦しいが34.2%、やや苦しいが23.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【助けてくれる人の有無】

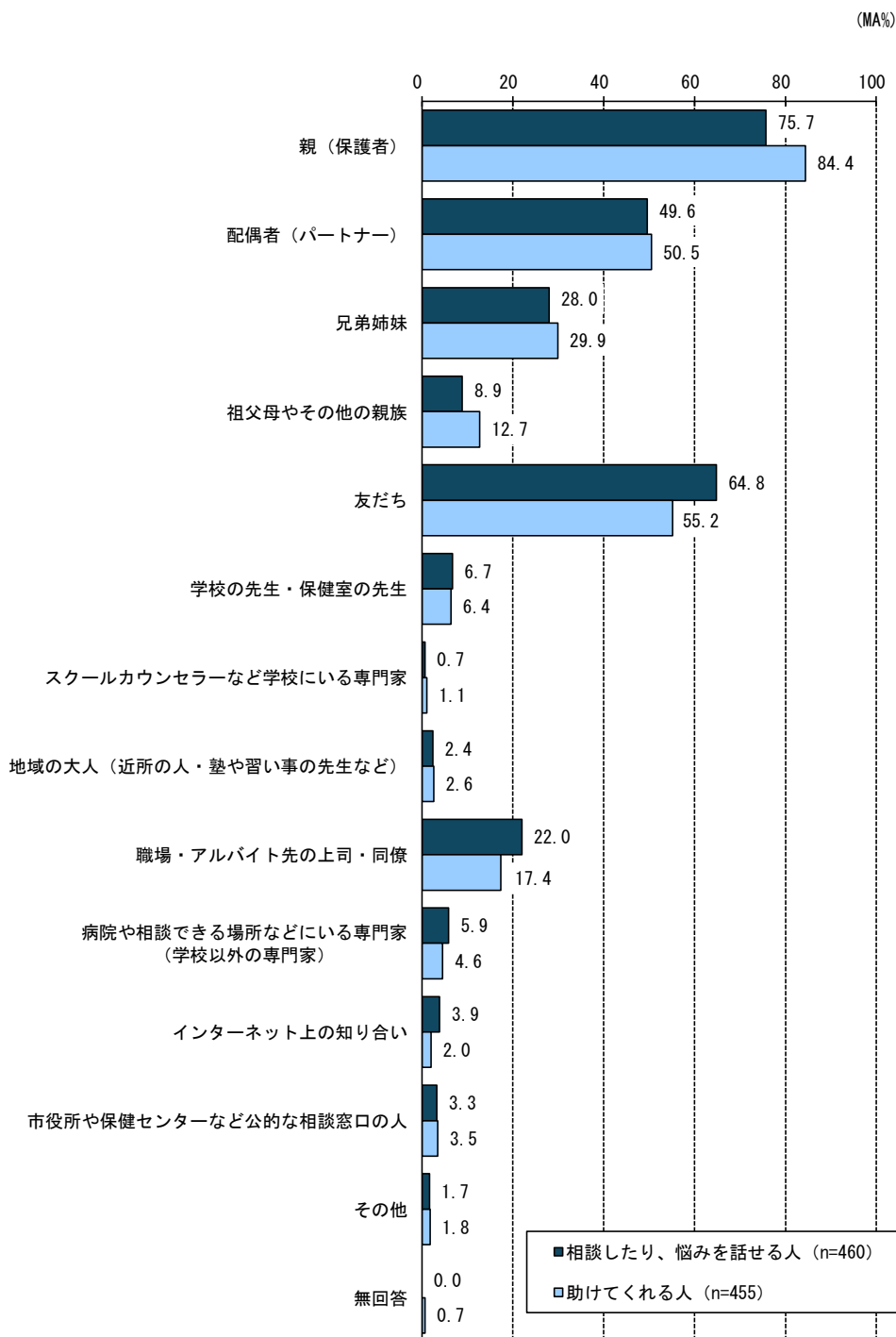


問23 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となった場合に、どういった人に相談しますか。または、相談しましたか。また、どういった人に助けてもらいますか。または、助けてもらいましたか。(問22 (1) (2) のどちらかもしくはどちらともで「1. いる」を選んだ方)

【全体】

- 相談したり、悩みを話せる人について、「親（保護者）」が75.7%で最も多く、次いで「友だち」が64.8%、「配偶者（パートナー）」が49.6%となっています。
- 助けてくれる人について、「親（保護者）」が84.4%で最も多く、次いで「友だち」が55.2%、「配偶者（パートナー）」が50.5%となっています。
- その他の内訳として、助産師、弁護士、民生委員などが挙がっています。

【相談相手・助けてくれる人(MA)】

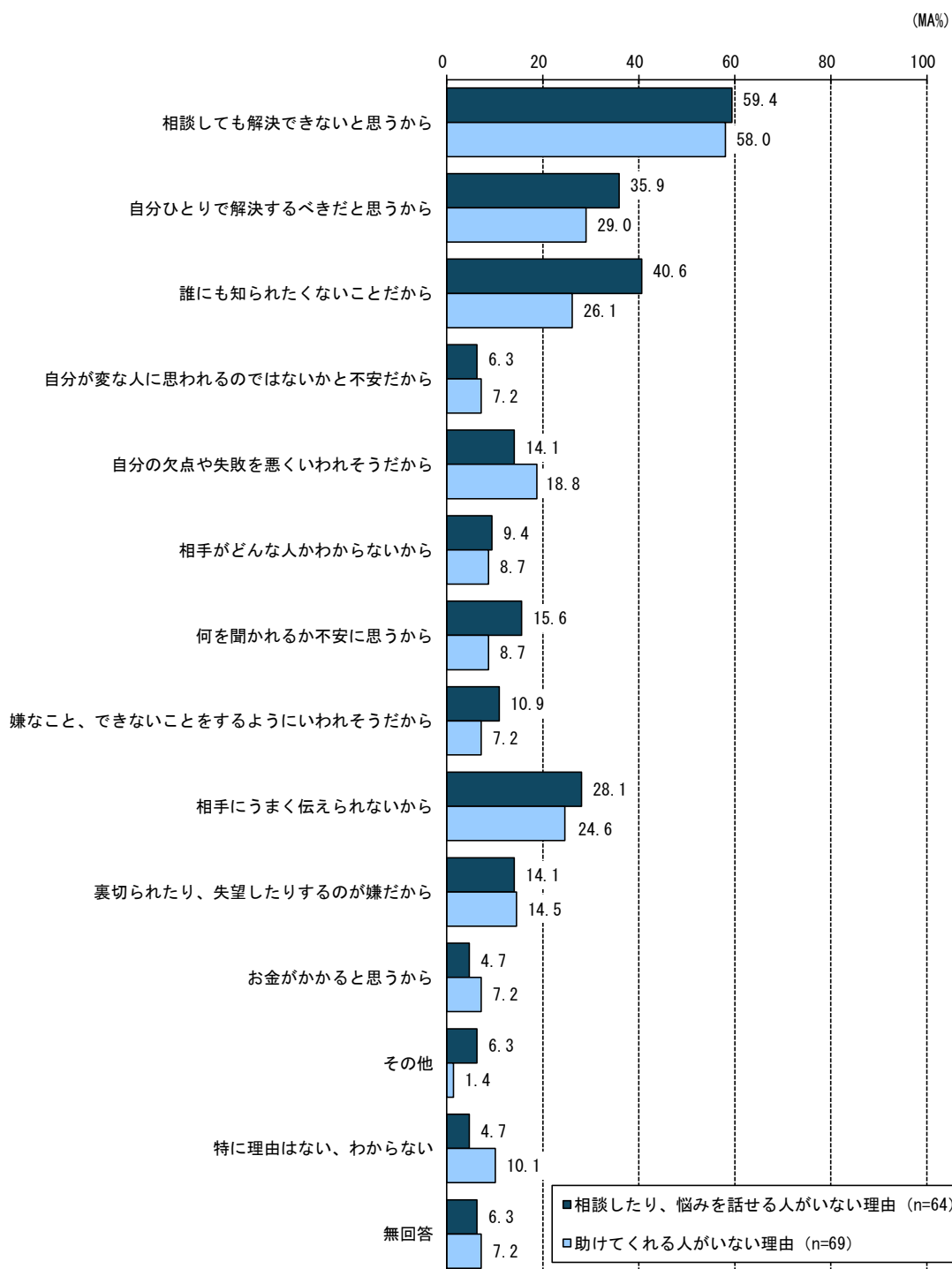


問24 相談したり、悩みを話せる人がいない理由、また、助けてくれる人がいない理由は何ですか。(問22 (1) (2) のどちらかもしくはどちらともで「2. いない」を選んだ方)

【全体】

- 相談したり、悩みを話せる人がいない理由について、「相談しても解決できないと思うから」が 59.4%で最も多く、次いで「誰にも知られたくないことだから」が 40.6%、「自分ひとりで解決すべきだと思うから」が 35.9%となっています。
- 助けてくれる人がいない理由について、「相談しても解決できないと思うから」が 58.0%で最も多く、次いで「自分ひとりで解決すべきだと思うから」が 29.0%、「誰にも知られたくないことだから」が 26.1%となっています。
- その他の内訳として、中立の立場に立つ人間がいない、当事者以外と繋がりが無い、理解できるかどうかという点が不透明であるなどが挙がっています。

【相談相手・助けてくれる人がいない理由 (MA)】



問25 京田辺市や京都府には、子ども・若者が悩みや困りごとを相談できる窓口がたくさんあります。以下の「子ども・若者の相談窓口」の中で、あなたが知っているものはありますか。(MA)

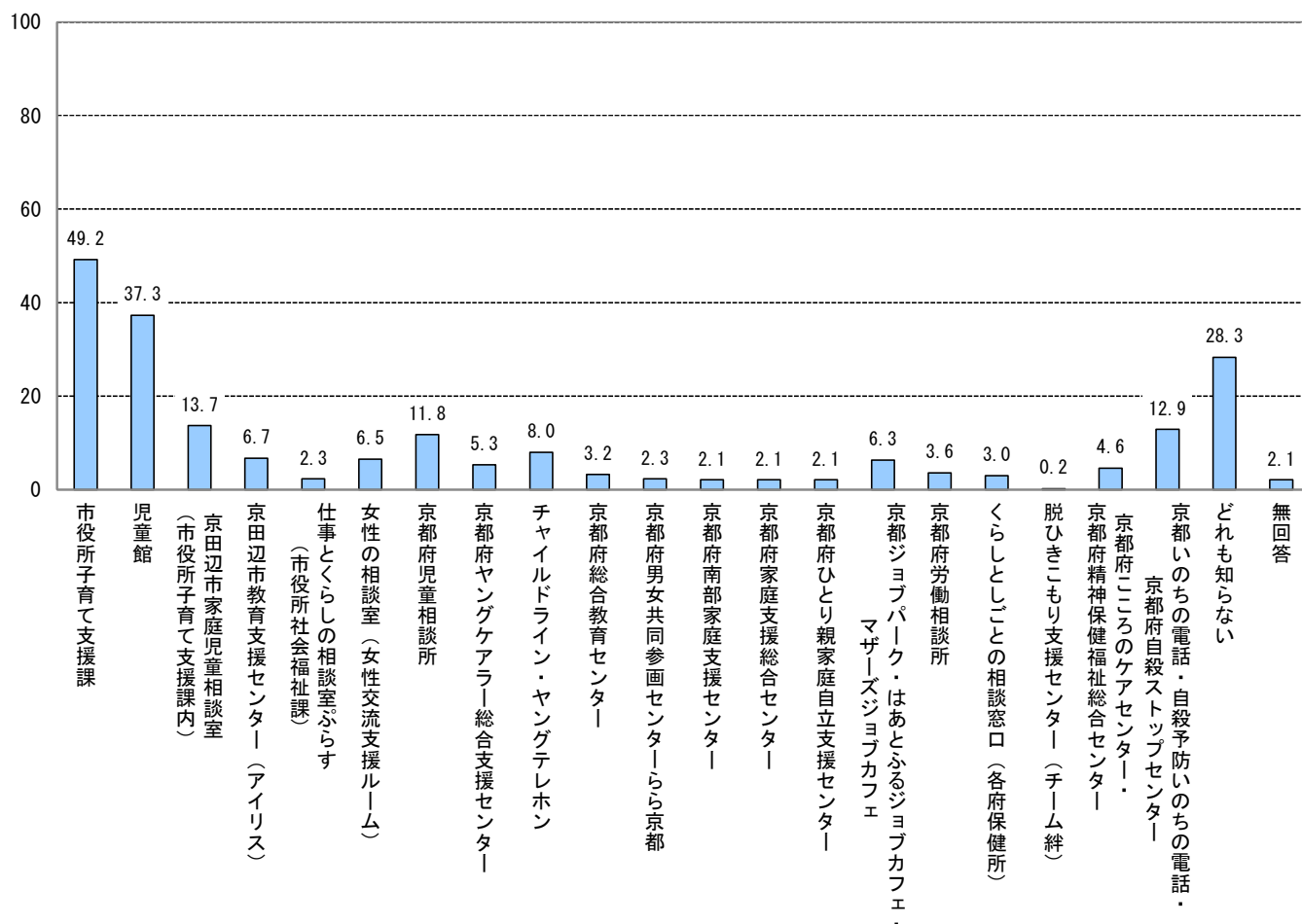
【全体】

- 「子ども・若者の相談窓口」の認知について、「市役所子育て支援課」が49.2%で最も多く、次いで「児童館」が37.3%、「どれも知らない」が28.3%となっています。

【「子ども・若者の相談窓口」の認知(MA)】

(MA%)

(n=526)



問26 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、子ども・若者の悩みや困りごとを相談できる窓口を利用したいと思いますか。

【全体】

- 子ども・若者の悩みや困りごとを相談できる窓口を利用したいと思うかについて、「どちらかといえば利用したいと思う」が38.4%で最も多く、次いで「どちらかといえば利用したいと思わない」が27.4%、「利用したいと思わない」が18.4%となっています。
- 「利用したいと思う」「どちらかといえば利用したいと思う」を合わせた“利用したい人”は53.0%となっています。
- 「どちらかといえば利用したいと思わない」「利用したいと思わない」を合わせた“利用したくない人”は45.8%となっています。

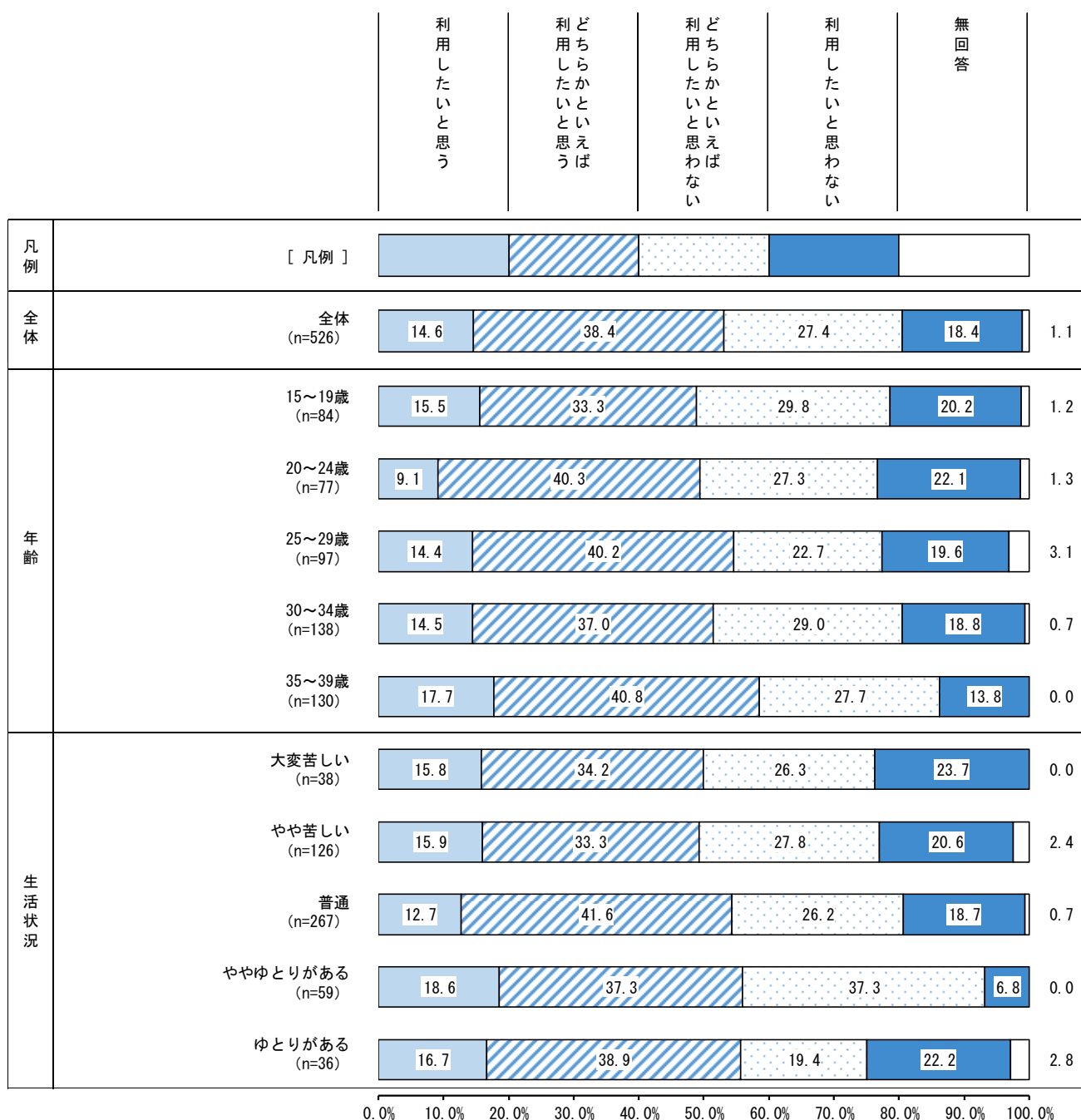
【年齢】

- “利用したい人”は35～39歳が58.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【生活状況】

- “利用したくない人”は大変苦しいが50.0%、やや苦しいが48.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【子ども・若者の悩みや困りごとを相談できる窓口を利用したいと思うか】

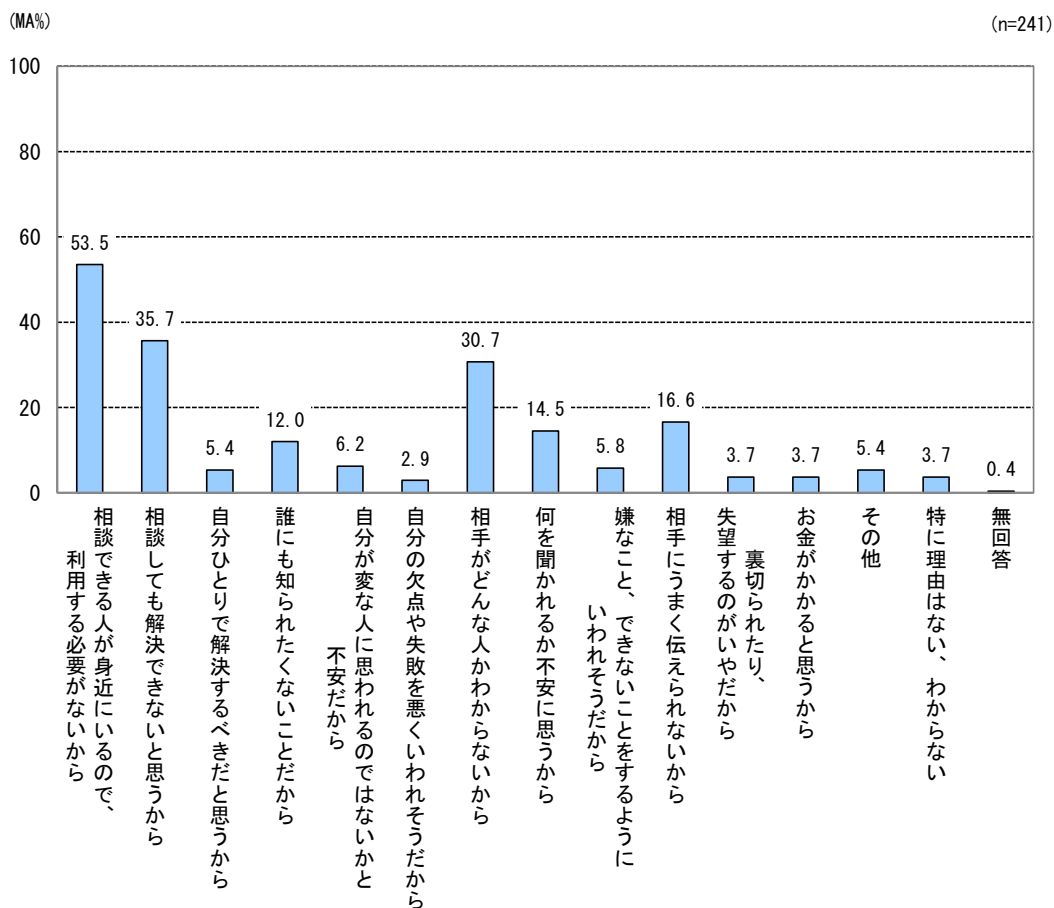


問27 あなたが、子ども・若者の悩みや困りごとを相談できる窓口を利用したいと思わない理由は何ですか。(MA) (問26で「3. どちらかといえば利用したいと思わない」「4. 利用したいと思わない」を選んだ方)

【全体】

- 子ども・若者の悩みや困りごとを相談できる窓口を利用したいと思わない理由について、「相談できる人が身近にいないので、利用する必要がないから」が 53.5%で最も多く、次いで「相談しても解決できないと思うから」が 35.7%、「相手がどんな人かわからないから」が 30.7%となっています。
- その他の内訳として、時間がかかる、相談窓口が空いている時間に間に合わない、面倒、抵抗感があるなどが挙がっています。

【子ども・若者の悩みや困りごとを相談できる窓口を利用したいと思わない理由 (MA)】

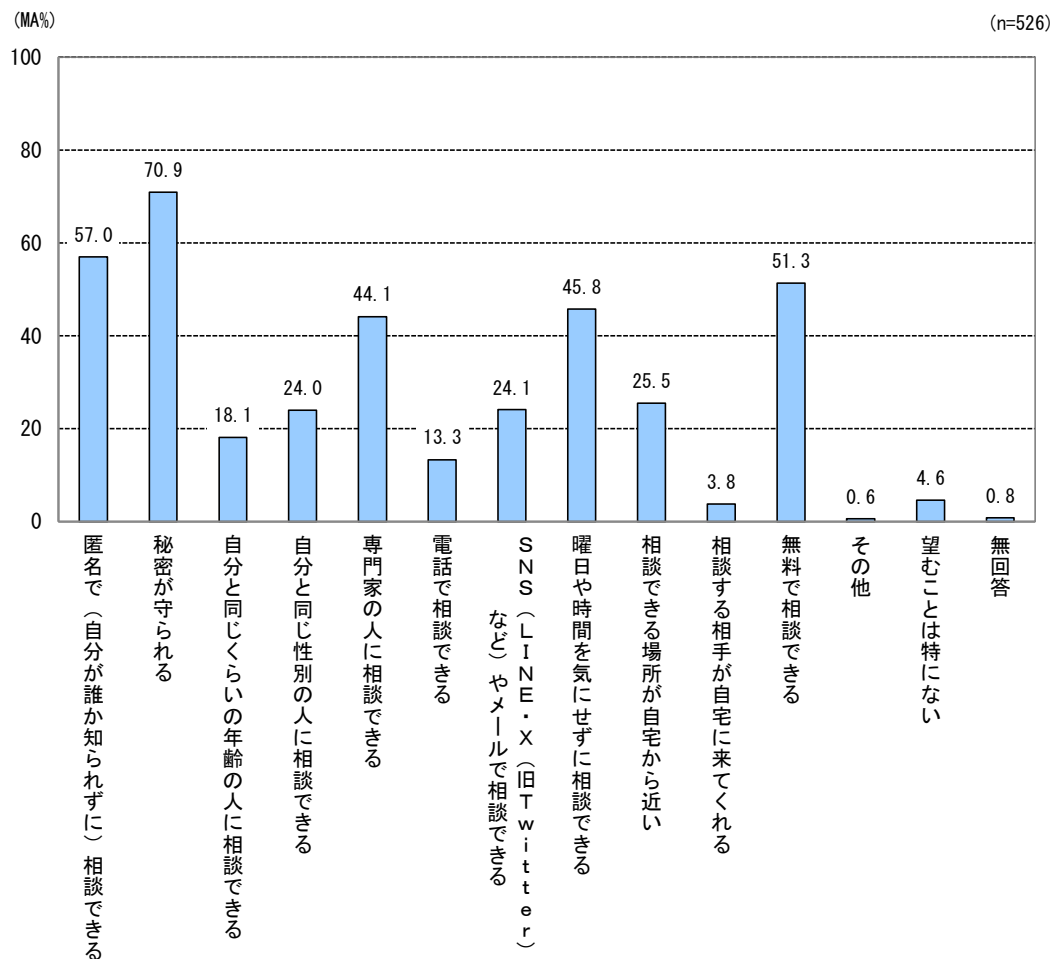


問28 あなたは、相談するとしたら、相談先にどのようなことを望みますか。(MA)

【全体】

- 相談する場合、相談先にどのようなことを望むかについて、「秘密が守られる」が 70.9%で最も多く、次いで「匿名で（自分が誰か知られずに）相談できる」が 57.0%、「無料で相談できる」が 51.3%となっています。

【相談する場合、相談先にどのようなことを望むか(MA)】



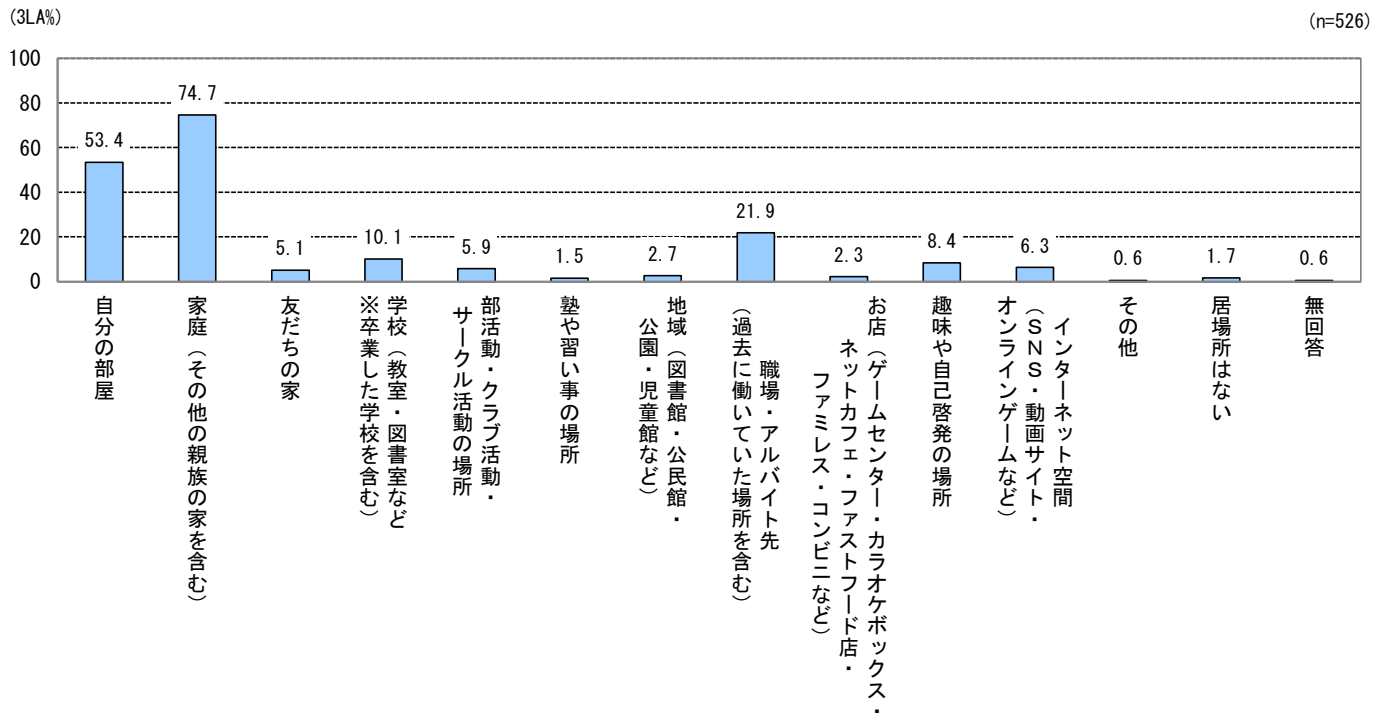
6. 求める居場所

問29 あなたにとっての「居場所」は、次のうちどこですか。(3LA)

【全体】

- あなたにとっての「居場所」について、「家庭（その他の親族の家を含む）」が74.7%で最も多く、次いで「自分の部屋」が53.4%、「職場・アルバイト先（過去に働いていた場所を含む）」が21.9%となっています。

【あなたにとっての「居場所」(3LA)】

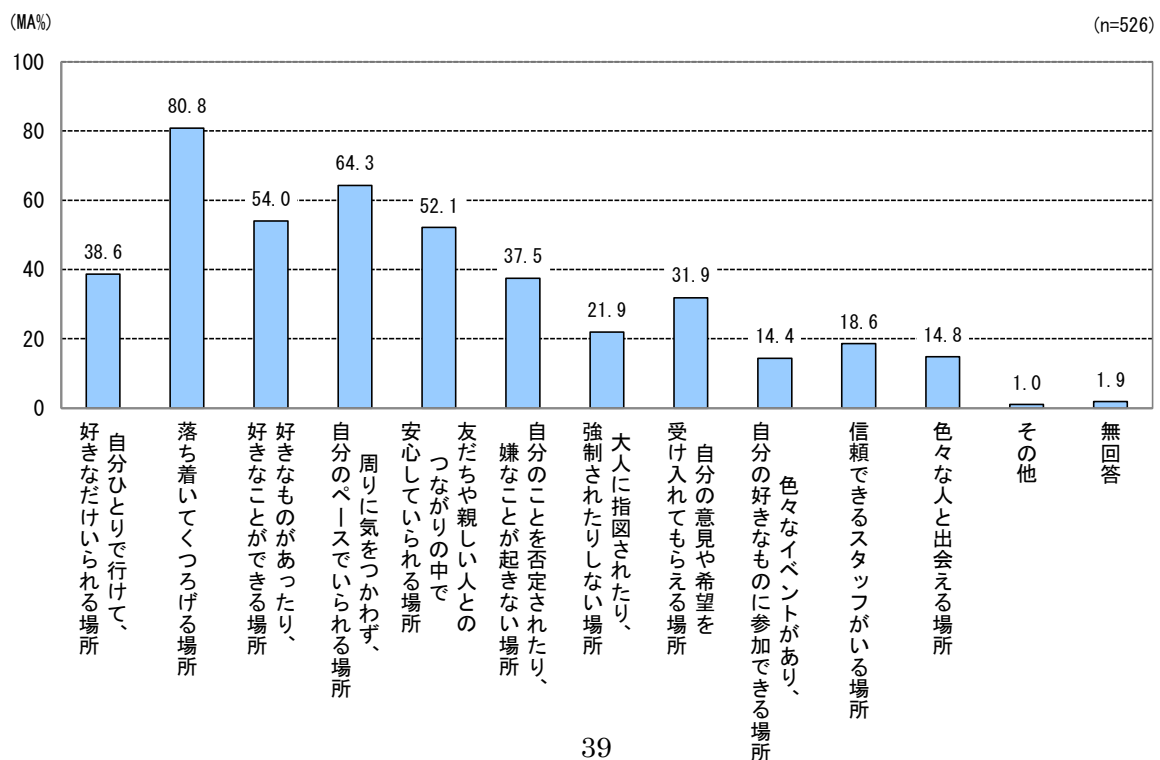


問30 あなたは、子どもや若者にとっての「居場所」とは、どんなところだと思いますか。(MA)

【全体】

- 子どもや若者にとっての「居場所」は、どんなところだと思うかについて、「落ち着いてくつろげる場所」が80.8%で最も多く、次いで「周りに気をつかわず、自分のペースでいられる場所」が64.3%、「好きなものがあったり、好きなことができる場所」が54.0%となっています。

【子どもや若者にとっての「居場所」は、どんなところだと思うか(MA)】



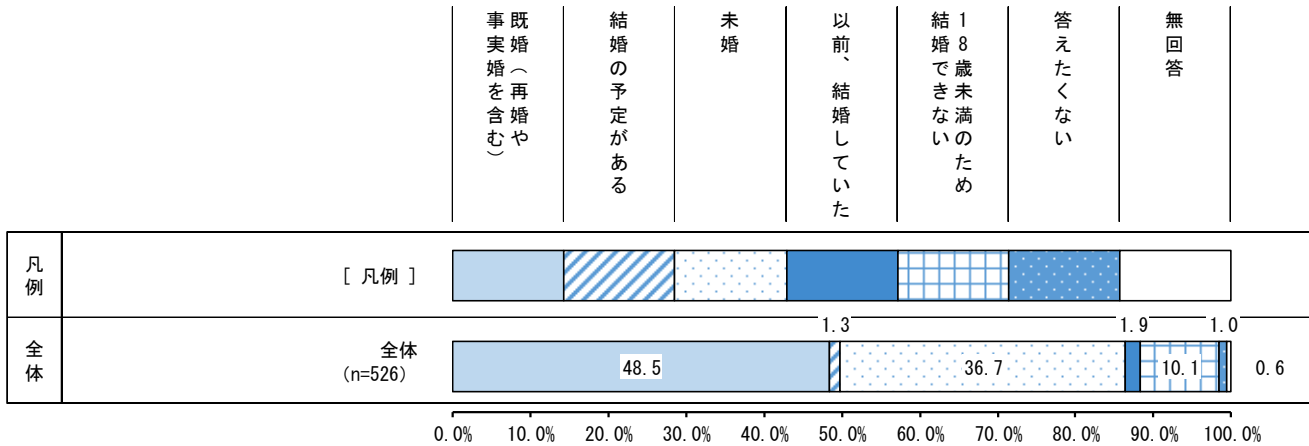
7. 結婚・出産

問31 あなたは結婚していますか。

【全体】

- 結婚しているかについて、「既婚（再婚や事実婚を含む）」が48.5%で最も多く、次いで「未婚」が36.7%、「18歳未満のため結婚できない」が10.1%となっています。

【結婚しているか】

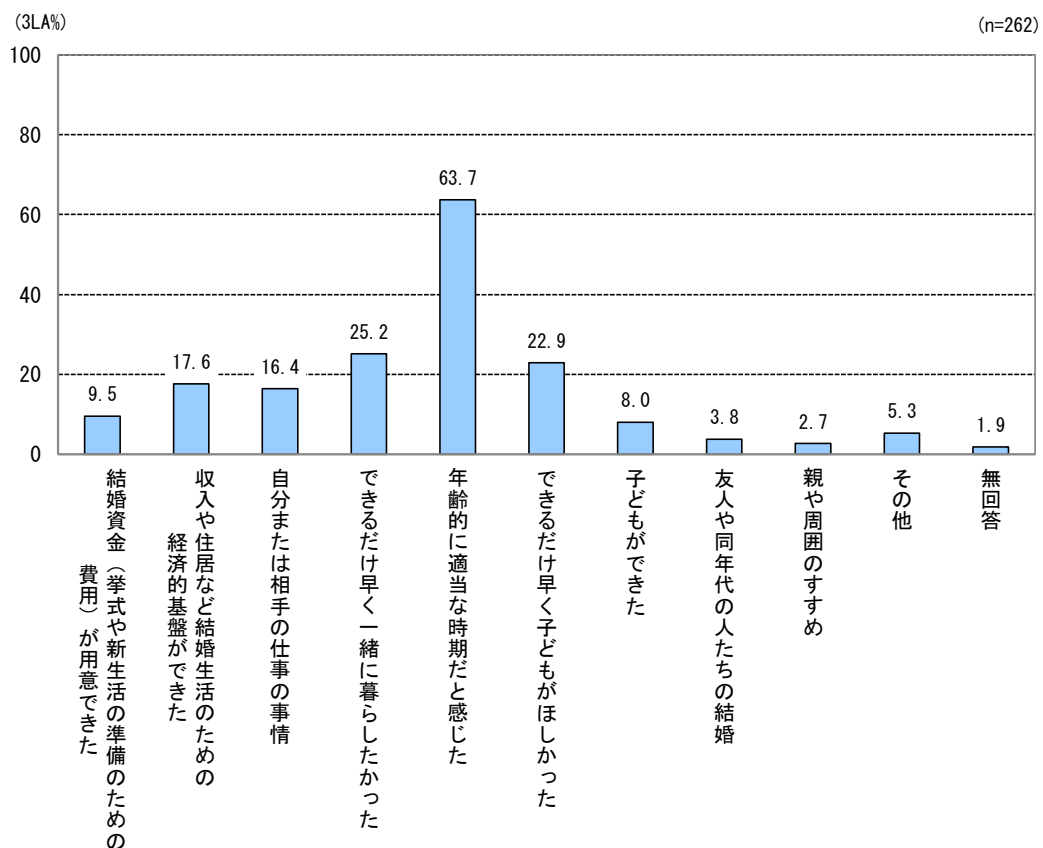


問32 あなたと配偶者の方が、最終的に結婚を決めたときの直接のきっかけは何ですか。（3LA）
（問31で「1. 既婚」「2. 結婚の予定がある」を選んだ方）

【全体】

- 結婚を決めたときの直接のきっかけは何かについて、「年齢的に適当な時期だと感じた」が63.7%で最も多く、次いで「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」が25.2%、「できるだけ早く子どもがほしかった」が22.9%となっています。
- その他の内訳として、一緒に過ごしたいと感じたなどが挙がっています。

【結婚を決めたときの直接のきっかけは何か（3LA）】

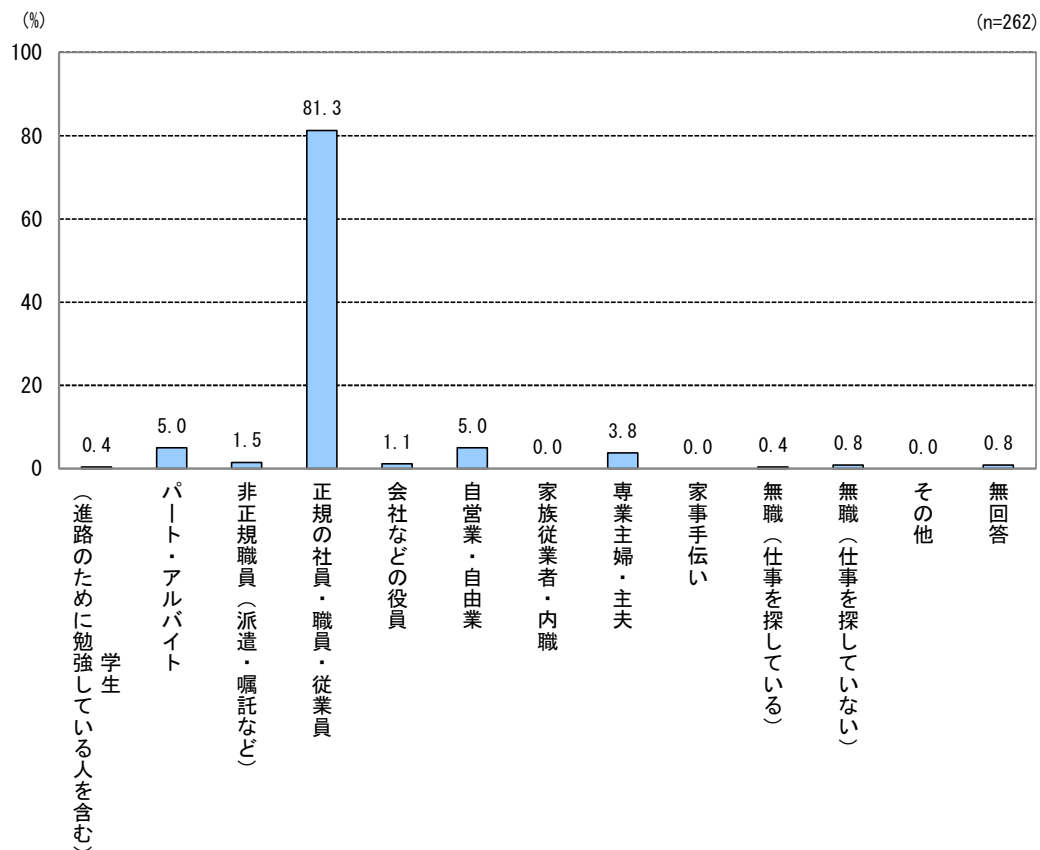


問33 配偶者の方の就業状況をお答えください。(問31で「1. 既婚」「2. 結婚の予定がある」を選んだ方)

【全体】

- 配偶者の方の就業状況について、「正規の社員・職員・従業員」が 81.3%で最も多く、次いで「パート・アルバイト」「自営業・自由業」が 5.0%、「専業主婦・主夫」が 3.8%となっています。

【配偶者の方の就業状況】

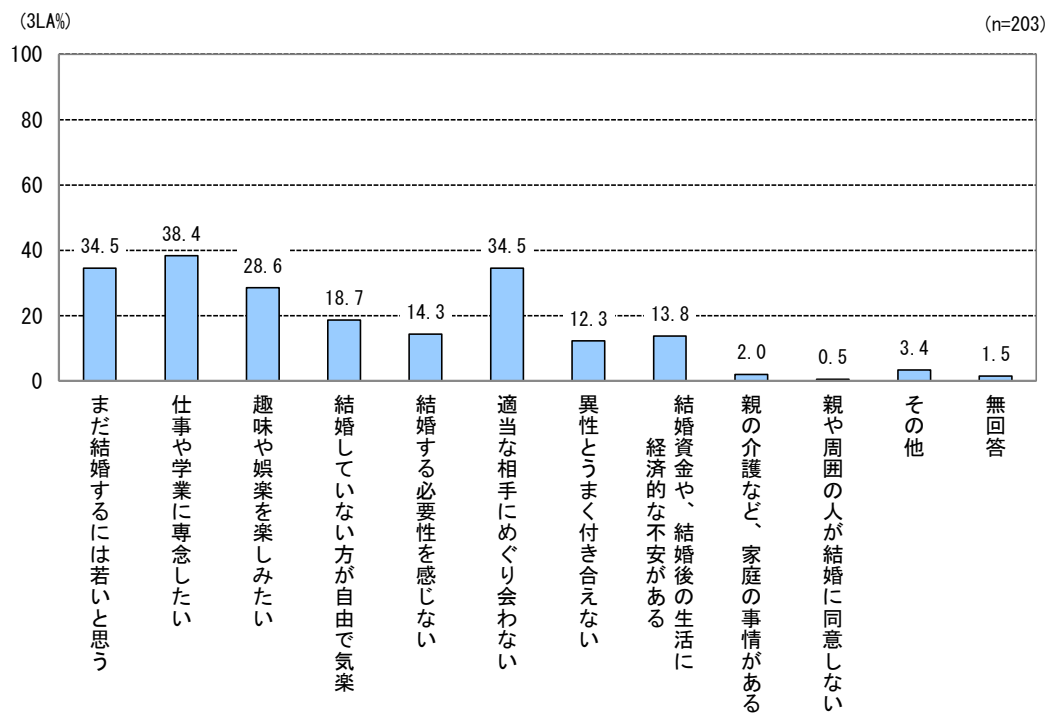


問34 あなたが現在、未婚または独身でいる理由をお答えください。(3LA) (問31で「3. 未婚」「4. 以前結婚していた」を選んだ方)

【全体】

- 未婚または独身でいる理由について、「仕事や学業に専念したい」が 38.4%で最も多く、次いで「まだ結婚するには若いと思う」「適当な相手にめぐり会わない」が 34.5%、「趣味や娯楽を楽しみたい」が 28.6%となっています。

【未婚または独身でいる理由(3LA)】

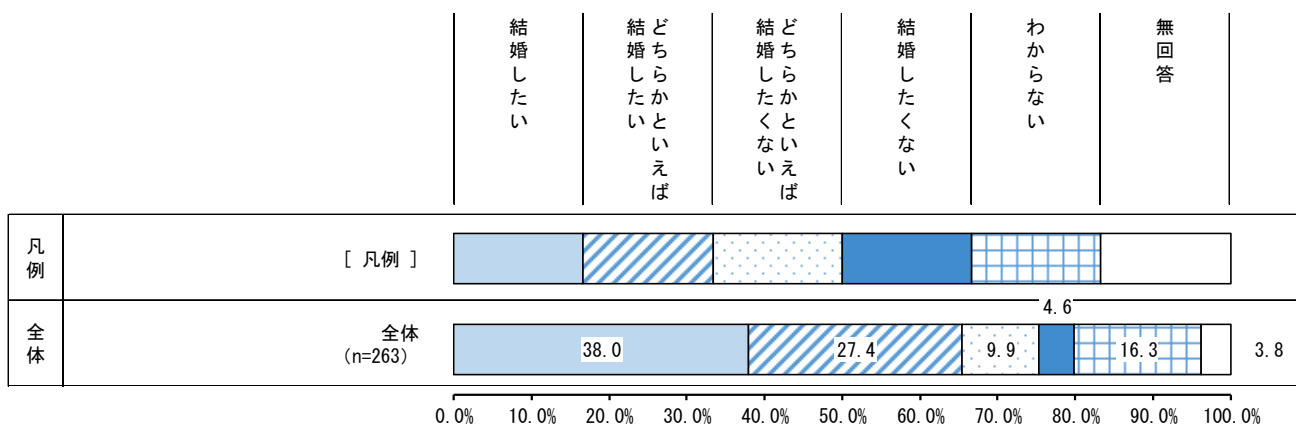


問35 あなたは今後、結婚したいと思っていますか。(18歳未満の方も含め、現在結婚していない方のみ)

【全体】

- 今後、結婚したいと思っているかについて、「結婚したい」が 38.0%で最も多く、次いで「どちらかといえば結婚したい」が 27.4%、「わからない」が 16.3%となっています。「結婚したい」「どちらかといえば結婚したい」を合わせた“結婚したい人”は 65.4%となっています。

【今後、結婚したいと思っているか】

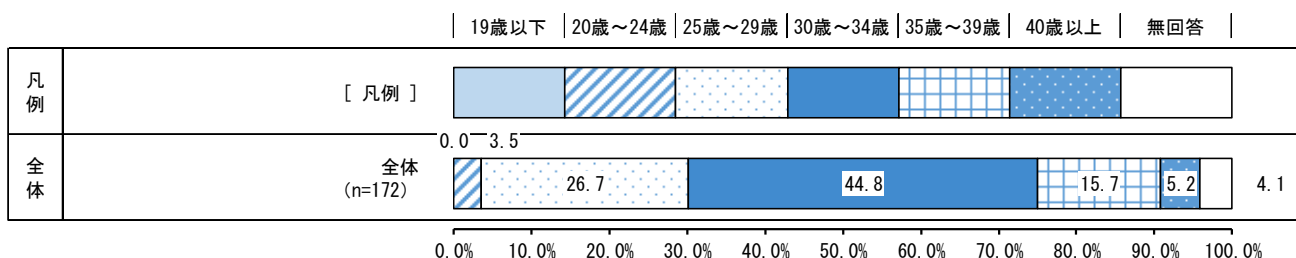


問36 あなたは、何歳くらいまでに結婚したいと思っていますか。(問35で「1. 結婚したい」「2. どちらかといえば結婚したい」を選んだ方)

【全体】

- 結婚したい年齢について、「30 歳～34 歳」が 44.8%で最も多く、次いで「25 歳～29 歳」が 26.7%、「35 歳～39 歳」が 15.7%となっています。

【結婚したい年齢】



問37 あなたが理想とする（可能なら持ちたいと思う）お子さんの数は、今いるお子さんも含め、全部で何人ですか。

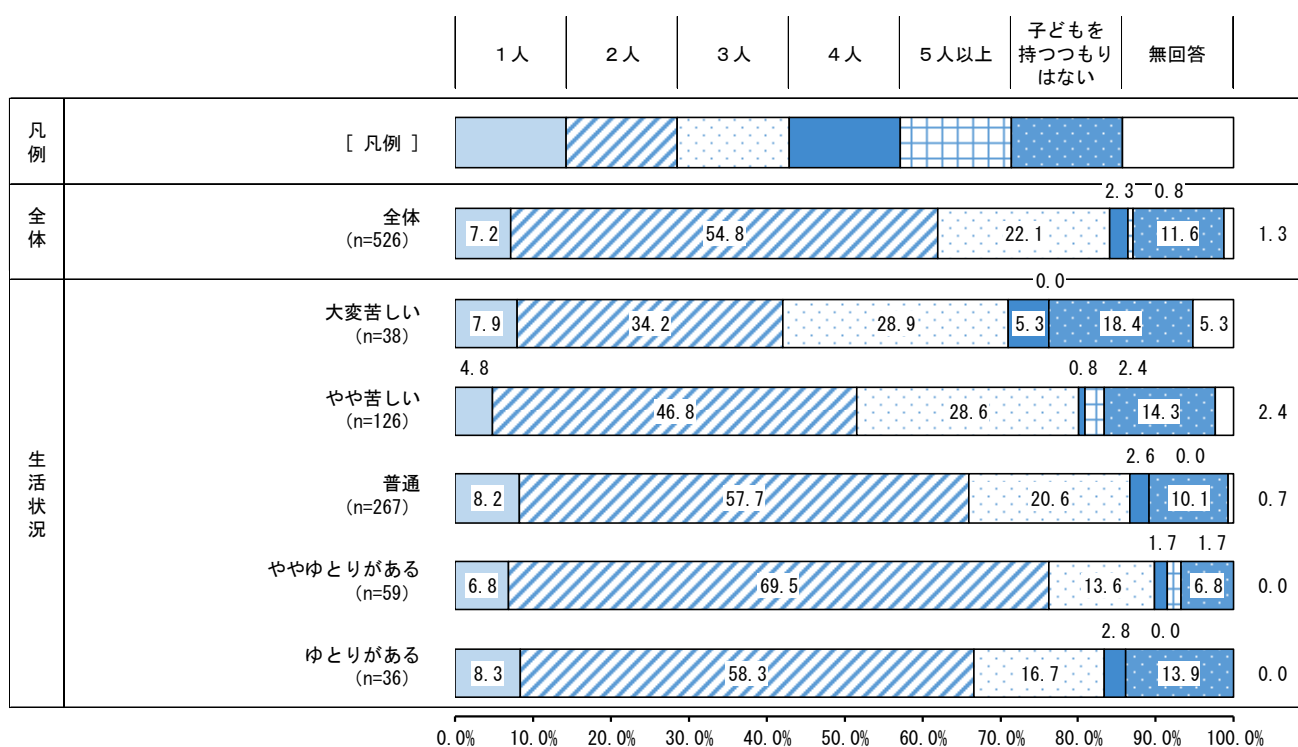
【全体】

- 理想とする（可能なら持ちたいと思う）子どもの人数について、「2人」が54.8%で最も多く、次いで「3人」が22.1%、「子どもを持つつもりはない」が11.6%となっています。

【生活状況】

- 「子どもを持つつもりはない」は大変苦しいが18.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【理想とする（可能なら持ちたいと思う）子どもの人数】



問38 あなたは今後、理想とする数のお子さんを持てると思いますか。

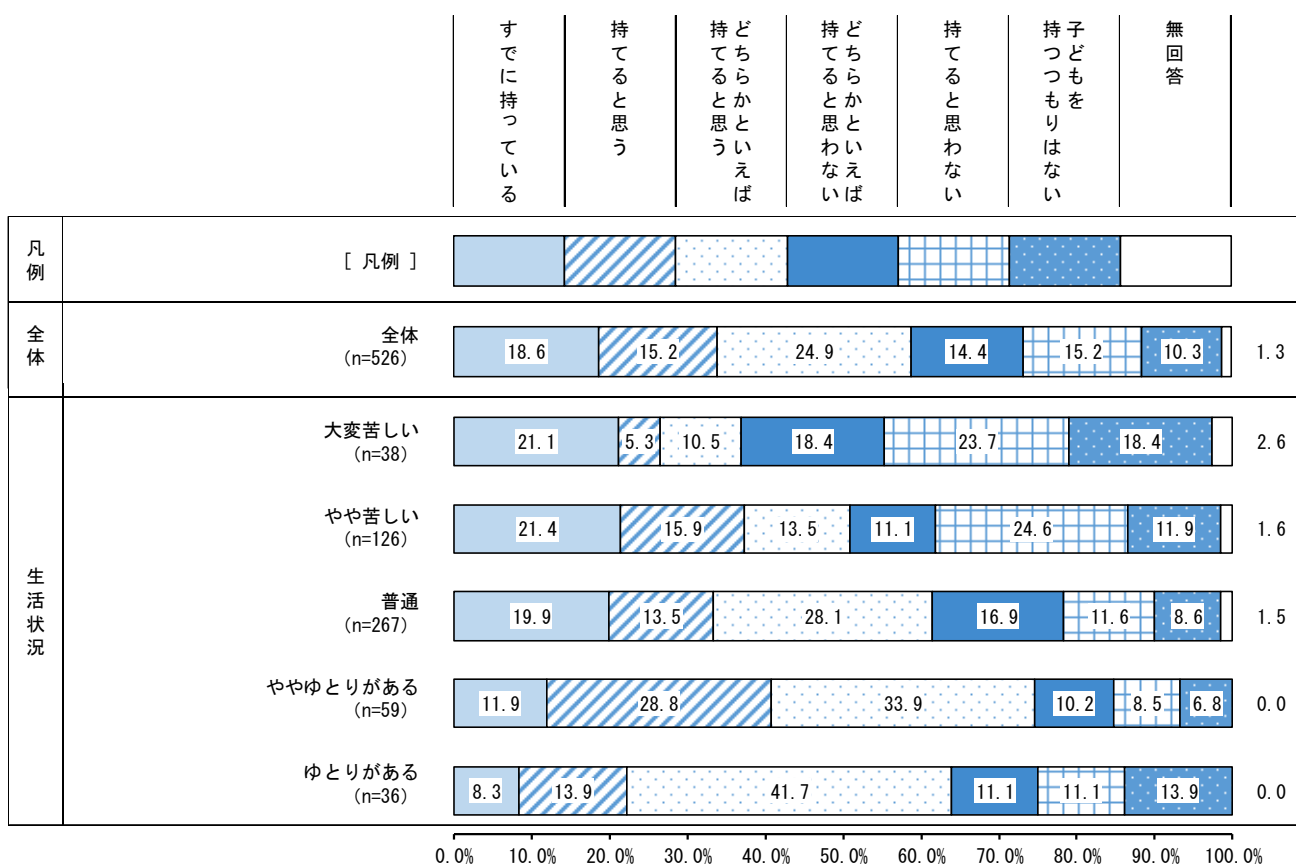
【全体】

- 理想とする子どもの人数を持てると思うかについて、「どちらかといえば持てると思う」が 24.9%で最も多く、次いで「すでに持っている」が 18.6%、「持てると思う」「持てると思わない」が 15.2%となっています。

【生活状況】

- 「すでに持っている」はややゆとりがあるが 11.9%、ゆとりがあるが 8.3%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「子どもを持つつもりはない」は大変苦しいが 18.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【理想とする子どもの人数を持てると思うか】

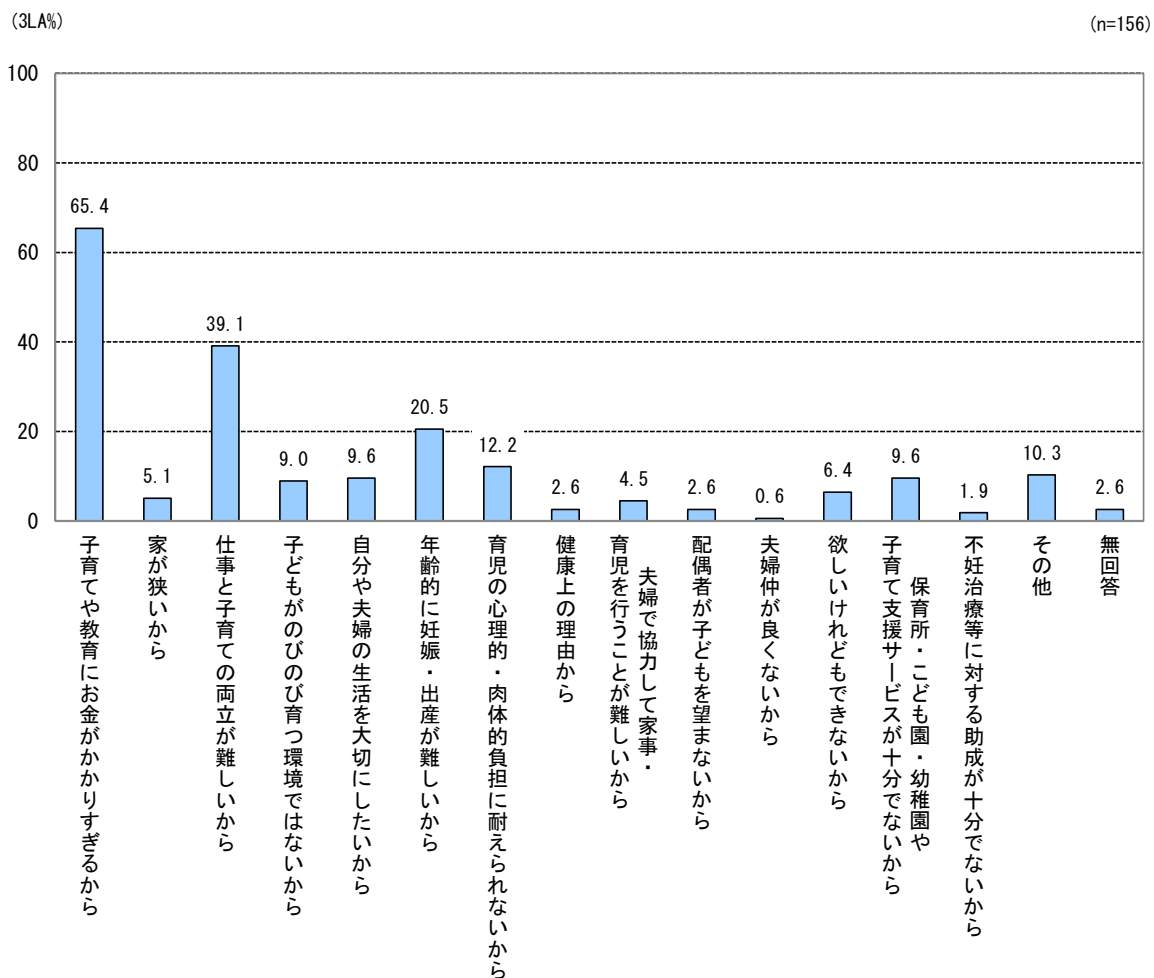


問39 理想とする数のお子さんを持てそうにないと思う理由をお答えください。(3LA) (問38で「4. どちらかといえば持てると思わない」「5. 持てると思わない」を選んだ方)

【全体】

- 理想とする子どもの人数を持てそうにないと思う理由について、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 65.4%で最も多く、次いで「仕事と子育ての両立が難しいから」が 39.1%、「年齢的に妊娠・出産が難しいから」が 20.5%となっています。
- その他の内訳として、子どもを育てる自信がないことや、出産への不安などが挙がっています。

【理想とする子どもの人数を持てそうにないと思う理由(3LA)】

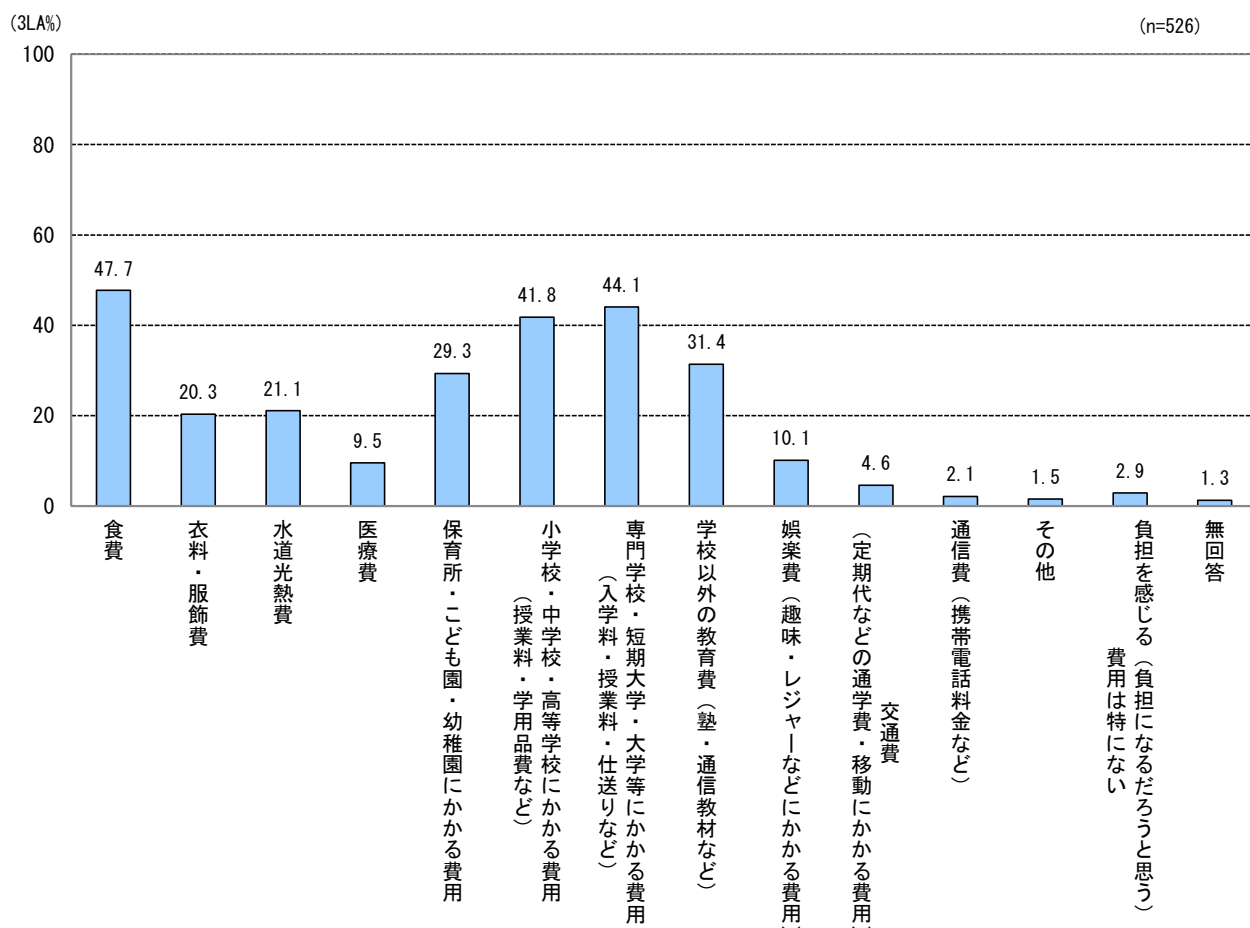


問40 子育てにかかる費用の中で、あなたが負担を感じている（または負担になるだろうと思う）費用は何ですか。（3LA）

【全体】

- あなたが負担を感じている（または負担になるだろうと思う）子育てにかかる費用について、「食費」が47.7%で最も多く、次いで「専門学校・短期大学・大学等にかかる費用（入学料・授業料・仕送りなど）」が44.1%、「小学校・中学校・高等学校にかかる費用（授業料・学用品費など）」が41.8%となっています。
- その他の内訳として、乳幼児用品や、保育料などが挙がっています。

【あなたが負担を感じている（または負担になるだろうと思う）子育てにかかる費用（3LA）】

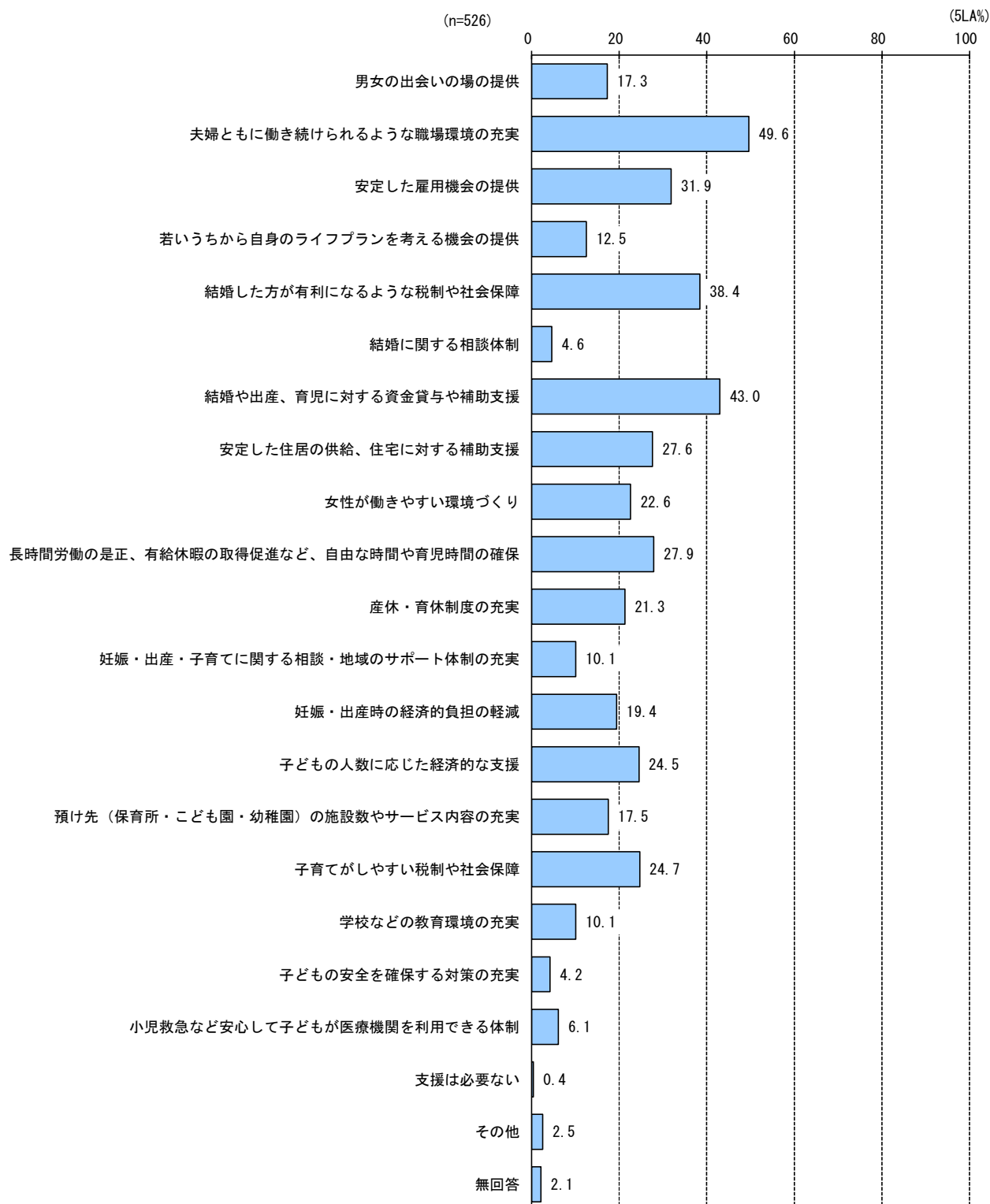


問41 結婚や出産、子育てしやすいと思える環境をつくるには、どのようなサポートがあれば良いと考えますか。(5LA)

【全体】

- 結婚や出産、子育てしやすいと思える環境をつくるために必要だと思うサポートについて、「夫婦ともに働き続けられるような職場環境の充実」が49.6%で最も多く、次いで「結婚や出産、育児に対する資金貸与や補助支援」が43.0%、「結婚した方が有利になるような税制や社会保障」が38.4%となっています。
- その他の内訳として、学校行事の軽減や、男性の意識変化（働き方改革）などが挙がっています。

【結婚や出産、子育てしやすいと思える環境をつくるために必要だと思うサポート(5LA)】



8. 行政に求める施策

問42 あなたは、子どもが意見を表明する権利について知っていますか。

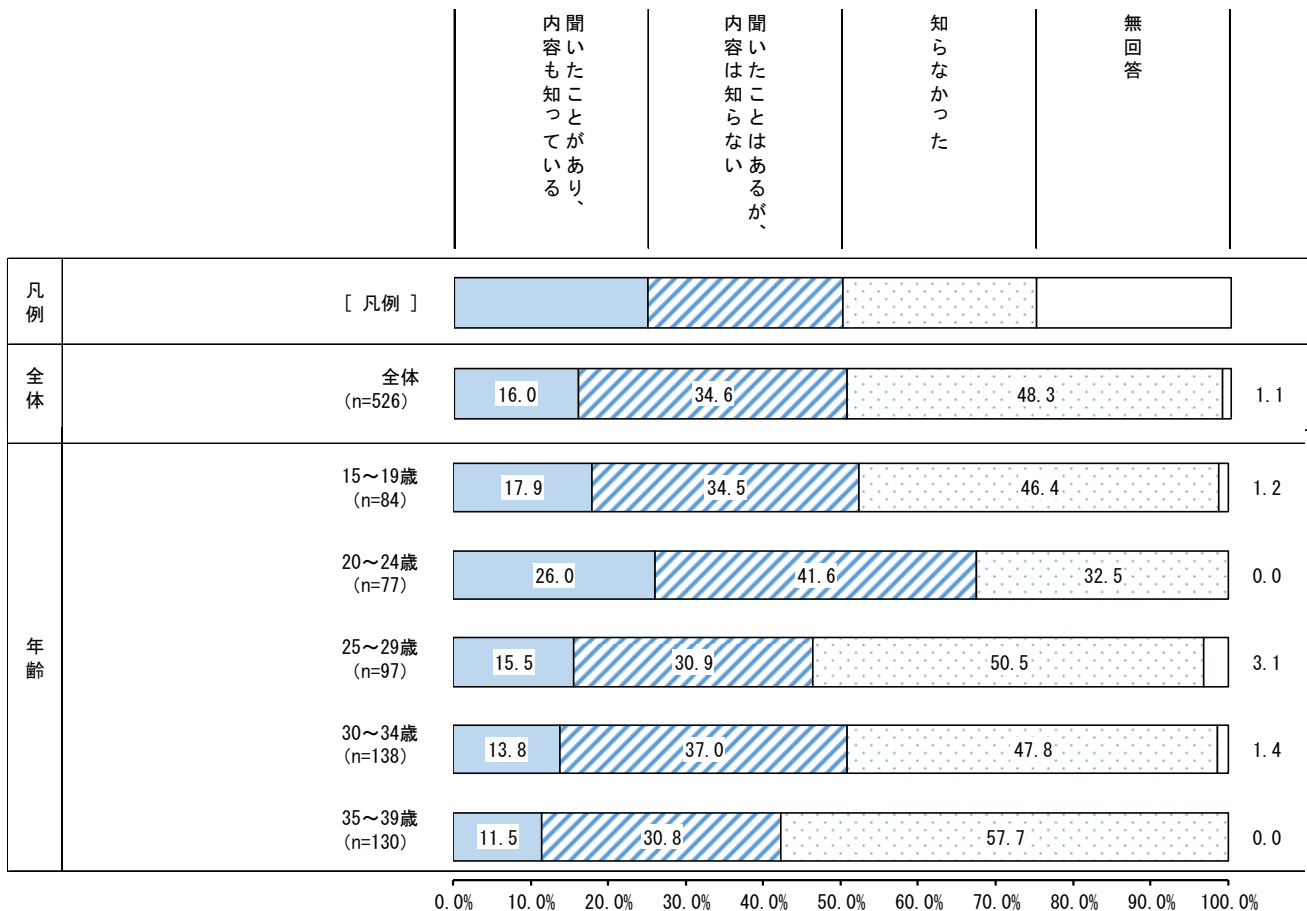
【全体】

- 子どもが意見を表明する権利の認知について、「知らなかった」が 48.3%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が 34.6%、「聞いたことがあり、内容も知っている」が 16.0%となっています。

【年齢】

- 「聞いたことがあり、内容も知っている」は 20～24 歳が 26.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【子どもが意見を表明する権利の認知】

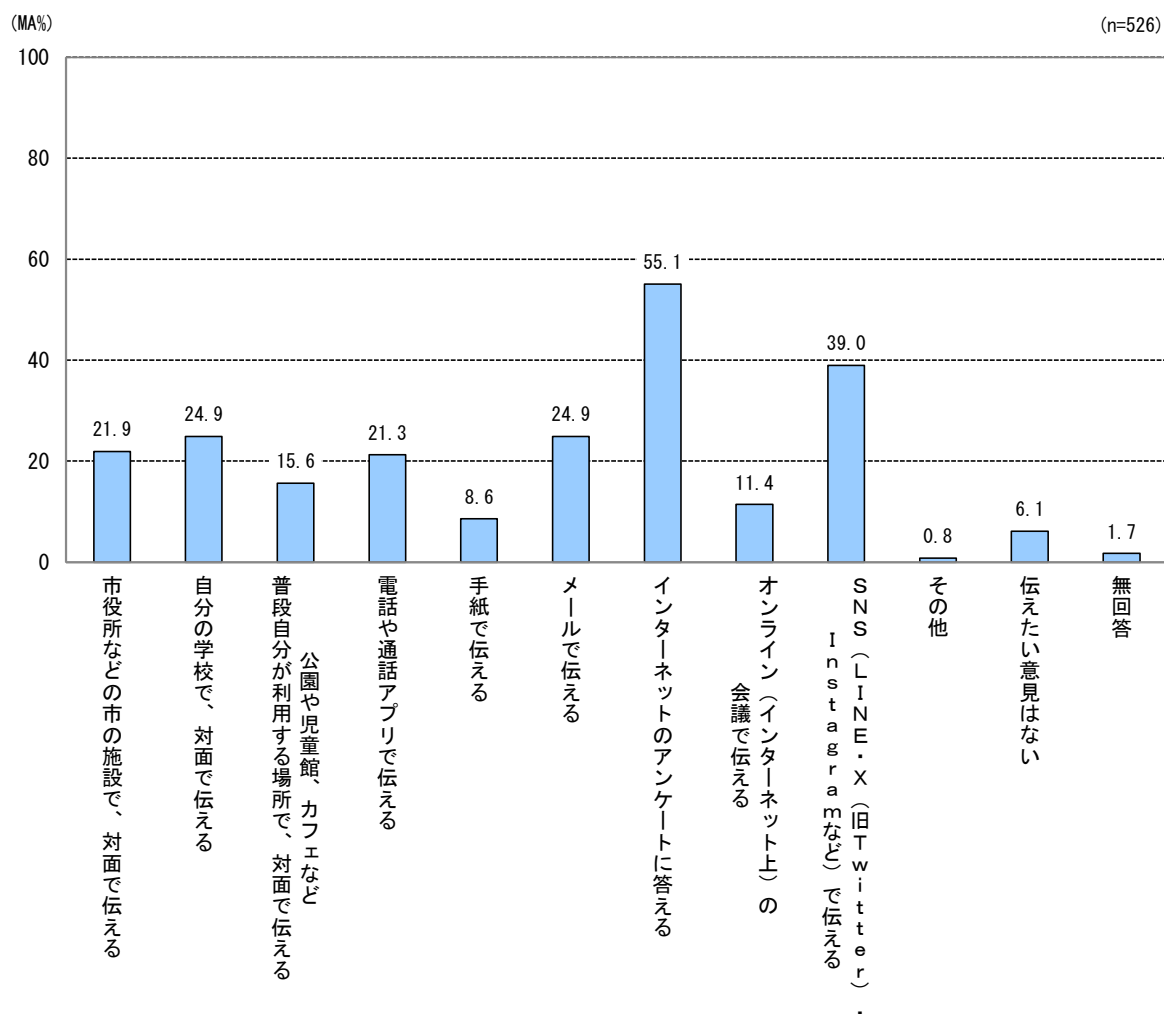


問43 私たち京田辺市（市役所）は、子ども・若者のみなさんが自分の意見を伝えやすい環境をつくりたいと考えています。あなたは、どんな方法や手段があれば、京田辺市（市役所）に対して、自分の意見を伝えやすいと思いますか。（MA）

【全体】

- どんな方法や手段があれば、京田辺市（市役所）に対して、自分の意見を伝えやすいかについて、「インターネットのアンケートに答える」が 55.1%で最も多く、次いで「SNS（LINE・X（旧Twitter）・Instagram など）で伝える」が 39.0%、「自分の学校で、対面で伝える」「メールで伝える」が 24.9%となっています。
- その他の内訳として、非対面や、匿名、新聞投書などが挙がっています。

【どんな方法や手段があれば、京田辺市（市役所）に対して、
自分の意見を伝えやすいか(MA)】

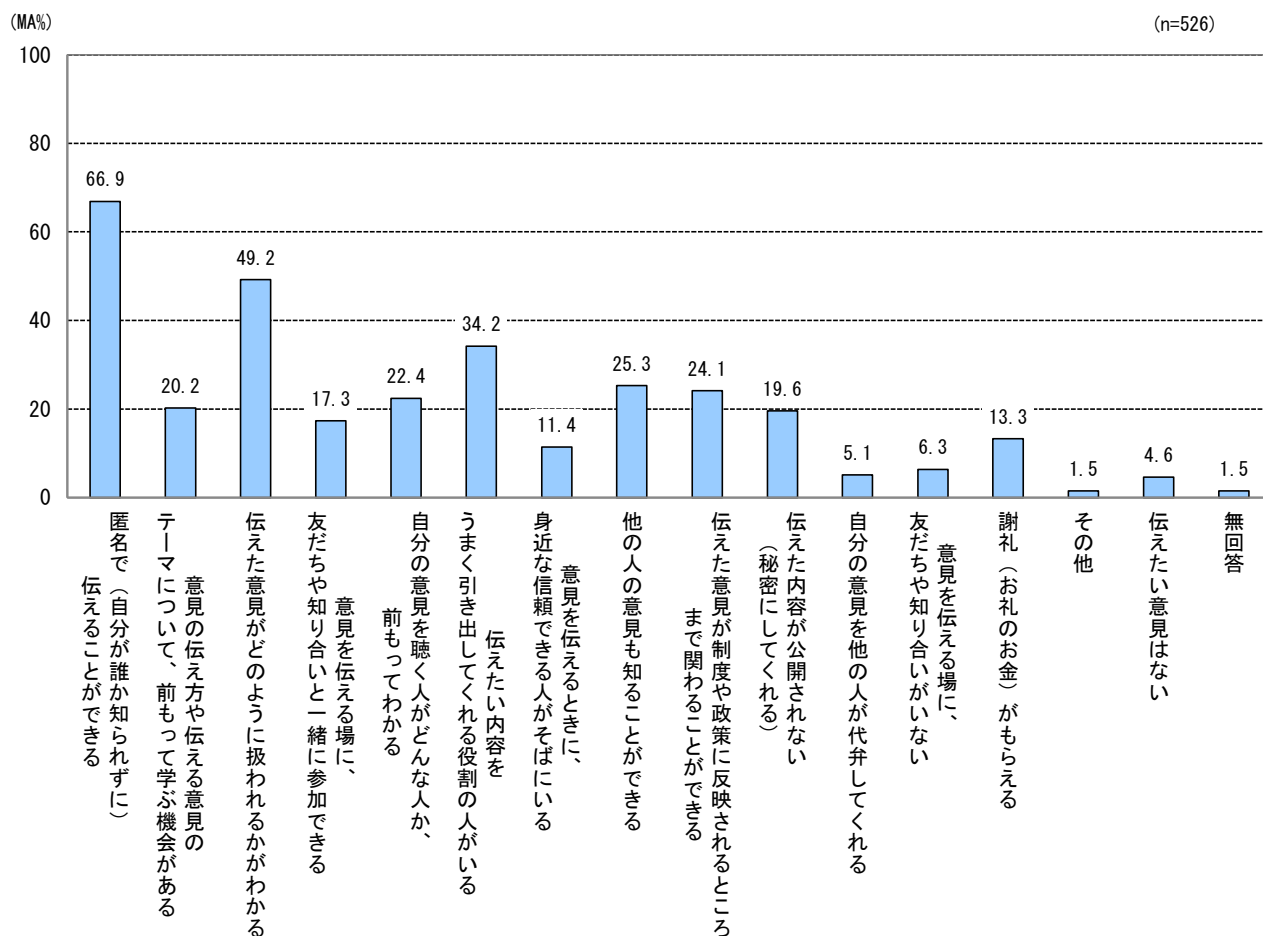


問44 あなたは、どんな工夫やルールがあれば、京田辺市（市役所）に対して、自分の意見を伝えやすいと思いますか。（MA）

【全体】

- どんな工夫やルールがあれば、京田辺市（市役所）に対して、自分の意見を伝えやすいかについて、「匿名で（自分が誰か知られずに）伝えることができる」が 66.9%で最も多く、次いで「伝えた意見がどのように扱われるかがわかる」が 49.2%、「伝えたい内容をうまく引き出してくれる役割の人がいる」が 34.2%となっています。
- その他の内訳として、行政での対応の見える化や、専門部署の設立などが挙がっています。

【どんな工夫やルールがあれば、京田辺市（市役所）に対して、
自分の意見を伝えやすいか(MA)】

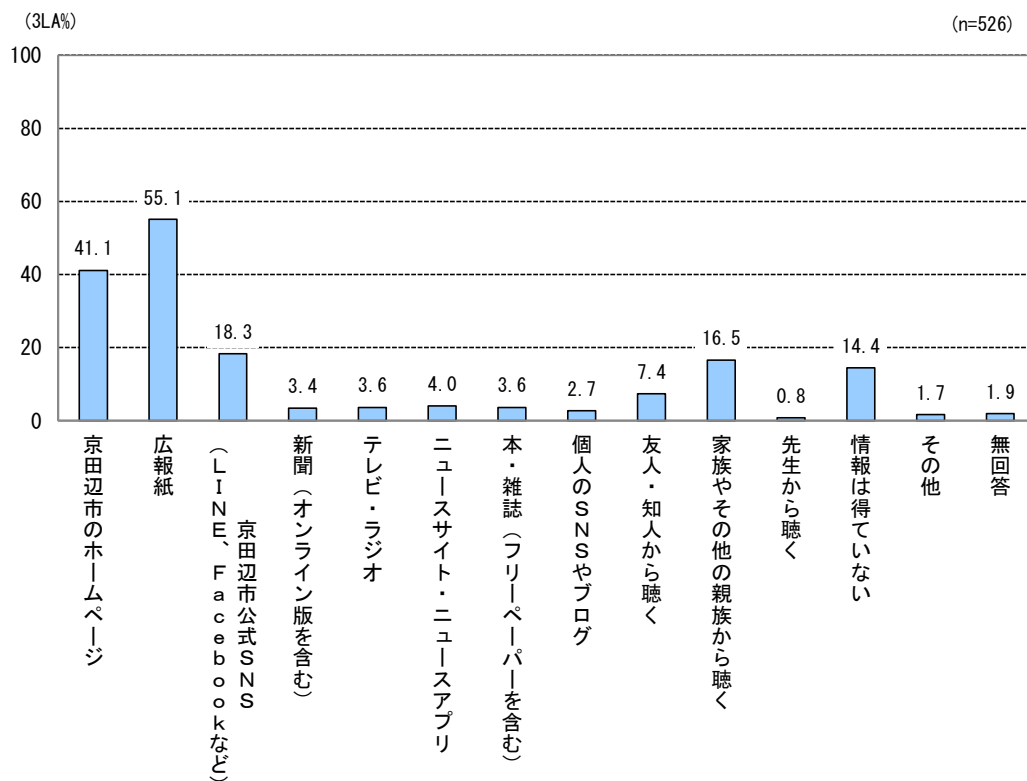


問45 あなたは、京田辺市（市役所）の制度や政策について、どのように情報を得ていますか。
（3LA）

【全体】

- 京田辺市（市役所）の制度や政策についての情報の入手方法について、「広報紙」が 55.1%で最も多く、次いで「京田辺市のホームページ」が 41.1%、「京田辺市公式 SNS（LINE、Facebook など）」が 18.3%となっています。

【京田辺市（市役所）の制度や政策についての情報の入手方法（3LA）】

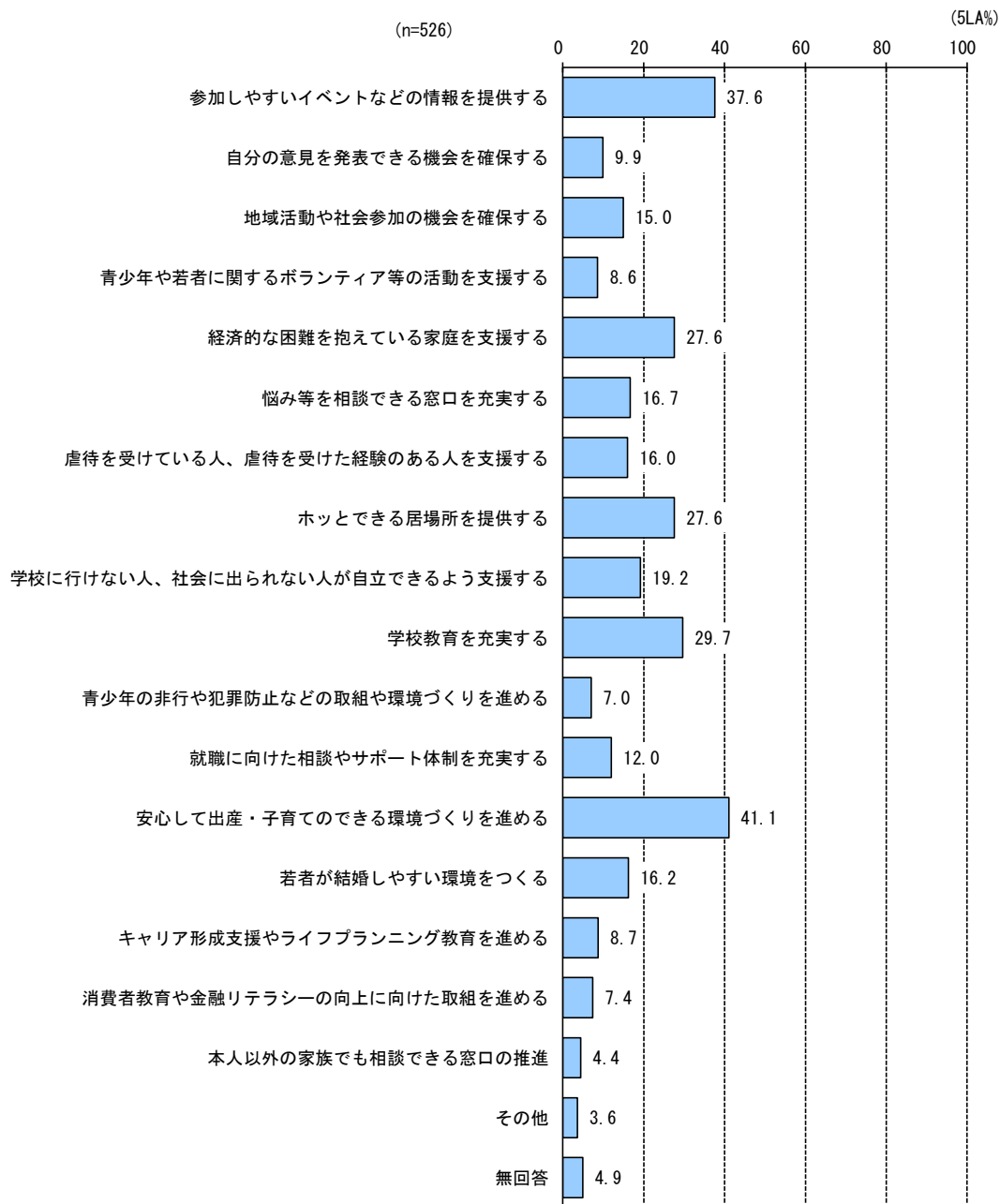


問46 あなたは、京田辺市（市役所）が取り組む若者の施策にどんなことを望みますか。（5LA）

【全体】

- 京田辺市（市役所）が取り組む若者の施策に望むことについて、「安心して出産・子育てのできる環境づくりを進める」が 41.1%で最も多く、次いで「参加しやすいイベントなどの情報を提供する」が 37.6%、「学校教育を充実する」が 29.7%となっています。
- その他の内訳として、就業環境の整備や、学校環境の整備（マンモス化対策を含む）、保育環境の整備などが挙がっています。

【京田辺市（市役所）が取り組む若者の施策に望むこと（5LA）】



問47 子ども・若者に対する支援や少子化対策について、京田辺市（市役所）に取り組んでほしいことや、お困りのことがあれば、ご自由にお書きください。

【全体】

- ご意見の分類について、経済的・物的・子育て支援（28 件）、保育環境の充実・保育者の環境整備（18 件）、教育環境の充実・支援（14 件）、学童保育（14 件）、妊娠・出産への支援（9 件）、市内の環境整備（9 件）、保育・教育費等の無償化（9 件）、学校のマンモス化や人口増加への対応（7 件）、子どもの遊び場の整備（7 件）、意識改革（7 件）、地域や同じ悩みを持つ人との交流の場や居場所の整備（6 件）、義務教育後・学生への支援（6 件）、行政の対応・サービス（5 件）、公共施設の充実（4 件）、就業環境の整備（4 件）、情報の周知方法（4 件）、地域の活性化（3 件）、交通機関の充実（2 件）、税金（2 件）となっています。
- その他、リユースの場の提供や、子どもの送迎、自転車通学、子ども食堂の利用方法、結婚への支援、病院の充実などが挙がっています。

Ⅲ 調査結果からの分析

1. 生活習慣

現在、約8割の人が平日に仕事や学校、買い物などで毎日外出しています。外出頻度が変化する一番大きな理由は、妊娠・出産となっています。

また、自宅にいるときはインターネットやメール・SNSの利用が多くなっています。

2. あなた自身の現状・将来

全体として、社会生活や日常生活を円滑に送れている人が多く、約6割以上が困難を感じたことがないと答えています。約2割が過去に困難を感じたことがあったと回答しています。

幸福感について、自分は幸せだと感じている人が約9割を占めていますが、年齢別にみると、25～34歳において、そう思わないと答える割合が他の年齢層に比べて多く、また、生活が苦しいと感じている人ほど、幸せではないと回答する割合が高くなっています。

将来に対する希望についても、生活が苦しいと感じている人ほど明るい希望がないと答えた割合が高く、その中でも「大変苦しい」と感じる人の約6割は、将来に明るい希望が持てないと答えています。

自己認識や自己肯定感に関しては、自分の親（保護者）から愛されていると感じている人が約9割と高い割合を占めています。生活が苦しい人は、自分が欲しいものをがまんすることが苦手と感じていたり、今の自分を変えたいと感じている割合が非常に多くなっています。また、若い世代ほど努力すれば希望の職につけると感じる人が多いことがうかがえます。

3. 就学・就労状況

調査への回答者は、学生以外の人が7割を超えており、最終学歴では大学卒が約半数います。また、現在働いている人のうち、約6割が正社員で、過去の就労経験でも約7割が正社員として働いた経験があります。

一方で、約2割が非正規雇用やパート・アルバイトで仕事をしています。

4. 悩み・相談先

悩んでいること、困っていることは、将来のこと、家計のこと、就職や職場のことの順に多くなっています。ほとんどの人が相談相手がいると答えています。生活が苦しい人は、約4割が相談相手がいないと答えています。

また、相談先を知らないと答えた人は約3割となっており、安心して相談できる窓口の周知も課題として挙げられます。

5. 求める居場所

約7割が「家庭」を居場所と感じ、次いで「自分の部屋」を挙げています。

また、子どもや若者にとって、落ち着いてくつろげる場所や周りに気をつかわず、自分のペースでいられる場所が必要とされています。

6. 結婚・出産

約5割が既婚者で、結婚の主な理由は「年齢的に適当な時期だと感じた」からと答えています。

また、理想とする子どもの人数は多くの人が「2人」を望んでいますが、経済的な負担や子育てとの両立の難しさが課題となっています。特に、子育て支援や夫婦共働きができる職場環境の整備が求められます。

7. 行政に求める施策

子どもの意見表明権の認知度は低く、約半数が知らないと回答しています。

また、市役所に意見を伝える手段としては、インターネットのアンケートが利用しやすいと考えられています。ただし、意見を伝えやすくするためには、匿名性の確保や、意見がどのように扱われるかをわかるようにすること、伝えたい内容をうまく引き出してくれる人がいること、などが求められています。